デジタル一眼レフカメラ

# D40x

使用説明書

# この使用説明書について

この使用説明書では、以下のような方法で、知りたいことを簡単に探し出すことができます。

## 目次 から

P.ii～

撮影、再生、メニューなど、項目別に探すことができます。

## 目的別かんたん検索 から

P.iv～

やりたいことや知りたいことを、かんたんに探すことができます。
機能名がわからなくても大丈夫です。

## 索引 から

P.190～

さまざまな項目が五十音順に一覧にまとめられているので、機能名や用語がわかっているときに便利です。

## 警告メッセージ から

P.170～

ファインダーや液晶モニターに表示されている主な警告メッセージを説明しています。

## 故障かな？と思ったら から

P.165～

カメラの動作がおかしいときに、原因を調べるのに役立ちます。

**ヒント　ヘルプ機能について**

このカメラにはヘルプ機能が付いています。メニュー操作時などに、液晶モニターでその項目の意味などを調べることができます。詳しくはP.5をご覧ください。

**「見て聞くマニュアル」デジチューター**

デジチューターでは、インターネット上でD40xの基本的な操作方法を、動画や作例写真を交えながら説明しています。下記アドレスのホームページをご覧ください。

http://www.nikondigitutor.com/

# 目次


目的別かんたん検索 ... iv
安全上のご注意 ... viii

## はじめに 1

お使いになる前に ... 1
各部の名称 ... 3
　カメラ本体 ... 3
　撮影モードダイヤル ... 6
　ファインダー ... 7
　情報画面 ... 8
　付属品について ... 9
撮影の準備 ... 10
　レンズを取り付ける ... 10
　バッテリーを充電してカメラに入れる ... 12
　日付と時刻を設定する ... 14
　SDメモリーカード（別売）をカメラに入れる ... 17
　ファインダー内の見え方を調節する ... 20

## 【初級編】かんたんな撮影と再生 21

AUTO（オート）で撮影する—カメラまかせの簡単撮影 ... 21
　ステップ1：電源をONにする ... 21
　ステップ2：撮影モードをAUTO（オート）にする ... 22
　ステップ3：カメラを構える ... 23
　ステップ4：ピントを合わせて撮影する ... 24
シーンに合わせて撮影する—簡単操作でより美しく ... 26
　撮影の手順 ... 26
　各撮影モードの特徴 ... 27
撮影した画像を確認する ... 29
　画像を削除する ... 29

## 【中級編】撮影機能を使いこなそう 30

撮影機能の設定をする ... 31
　現在の設定を確認する（情報画面） ... 31
　撮影機能を設定する（撮影設定変更画面） ... 31
オートフォーカスで撮影する ... 33
　ピントの合わせ方を選ぶ ... 33
　AFエリアモードを変更する ... 34
　フォーカスエリアを自分で選ぶ ... 35
　ピントを固定して撮影する（フォーカスロック撮影） ... 36
ピントを手動（マニュアル）で合わせる ... 38
画質や画像のサイズを変更する ... 39
　画質モード ... 40
　画像サイズ ... 40
動作モード：連写、セルフタイマー撮影、リモコン撮影する ... 42
　セルフタイマーやリモコンを使って撮影する ... 43
内蔵フラッシュを活用する ... 46
　内蔵フラッシュ撮影の手順 ... 46
　各撮影モードで設定できるフラッシュモード ... 47
　内蔵フラッシュの収納 ... 48
ISO感度を設定する ... 49
最初の設定に戻す（ツーボタンリセット） ... 50

## 【上級編】PSAMモードで撮影する 51

撮影モード **PSAM** について ... 52
　撮影モード **PSAM**の違い ... 52
測光モード ... 59
　AEロック撮影 ... 60
露出補正 ... 62
フラッシュ調光補正 ... 63
ホワイトバランス ... 64

## 【再生編】撮影した画像で楽しもう 65

画像を再生する ... 65
　画像を1コマずつ再生する（1コマ表示モード） ... 65
　複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード） ... 69
　拡大表示 ... 70
画像を保護する—プロテクト ... 71
画像を削除する ... 72

## 【接続編】パソコンやプリンター、テレビに接続しよう 73

画像をパソコンに転送する ... 73
　カメラとパソコンを接続する前に ... 73
　カメラとパソコンを接続する ... 74
画像をプリンターで印刷する ... 76
　カメラとプリンターを直接つないでプリントする ... 77
画像をテレビで見る ... 86

## 【設定編】いろいろな設定 88

メニューの操作方法 ... 88
　メニューを表示するには ... 88
　メニュー項目の設定 ... 89
再生についての設定 — 再生メニュー ... 92
　削除 ... 93
　再生フォルダー設定 ... 93
　縦位置自動回転 ... 93

スライドショー ........................................ 94
プリント指定（DPOF）................................ 95
撮影についての設定 — 撮影メニュー ............ 96
仕上がり設定 ............................................ 97
画質モード ................................................ 99
画像サイズ ................................................ 99
ホワイトバランス..................................... 100
ISO感度 .................................................. 105
ノイズ低減 .............................................. 105
さらに細かい設定 — カスタムメニュー ..... 106
R：カスタムのリセット........................... 107
1：電子音設定 ......................................... 107
2：フォーカスモード............................... 108
3：AFエリアモード................................. 108
4：動作モード ......................................... 108
5：測光モード ......................................... 108
6：カード無し時レリーズ ........................ 109
7：撮影直後の画像確認........................... 109
8：フラッシュ調光補正........................... 109
9：内蔵AF補助光の照射 ......................... 110
10：感度自動制御...................................... 110
11：⏲/Fn ボタンの機能 ......................... 112
12：AE-L/AF-L ボタンの機能 .............. 112
13：半押しAEロック .............................. 113
14：内蔵フラッシュ発光.......................... 113
15：パワーオフ時間.................................. 114
16：セルフタイマー時間.......................... 115
17：リモコン待機時間.............................. 115
カメラの基本設定
— セットアップメニュー .......... 116
メニュー表示切り換え............................. 117
カードの初期化（フォーマット）............. 118
情報画面デザイン..................................... 119
情報画面の自動表示................................. 121
ワールドタイム ........................................ 121
液晶モニターの明るさ ............................. 122
ビデオ出力 ............................................... 122
言語（LANG）........................................... 122
画像コメント ............................................ 123
USB設定 .................................................. 124
記録フォルダー設定................................. 125
連番モード ............................................... 127
クリーニングミラーアップ ...................... 128
ファームウェアバージョン ...................... 128
イメージダストオフデータ取得 .............. 128
縦横位置情報の記録................................. 130
撮影した画像を編集する
— 画像編集メニュー ............. 131
画像編集メニューの操作手順 .................. 132
D-ライティング ....................................... 134
赤目補正 ................................................... 135
トリミング ............................................... 136
モノトーン ............................................... 137
フィルター効果 ........................................ 138
スモールピクチャー................................. 139
画像合成 ................................................... 141

## 付録 144

使用できるアクセサリー ............................. 144
装着できるレンズ..................................... 145
装着できるスピードライト
（外付けフラッシュ）.............. 149
その他の使用できるアクセサリー ........... 155
推奨SDカード.......................................... 156
D40x用別売アクセサリー .......................... 157
カメラとレンズのお手入れ ......................... 159
保管について ............................................ 159
クリーニングについて ............................. 159
ローパスフィルターのお手入れ .............. 160
カメラと付属品の取り扱い上のご注意........ 162
故障かな？と思ったら................................. 165
警告メッセージ ........................................... 170
資料集.......................................................... 173
主な仕様 ...................................................... 183
索引............................................................. 190
アフターサービスのご案内 ......................... 195

# 目的別かんたん検索

使いたい機能や知りたい機能から、説明が記載されているページをかんたんに調べることができます。

## カメラの○○について知りたい

| 使いたい機能・知りたい機能 | キーワード | ページ |
|---|---|---|
| メニューの意味を知りたい | ヘルプ機能 | 5 |
| メニューの操作方法がわからない | メニューの操作方法 | 88 |
| 液晶モニターやファインダーの表示の意味を知りたい | ファインダー、情報画面 | 7、8 |
| 液晶モニターやファインダーの警告表示の意味を知りたい | 警告メッセージ | 170 |
| 使用中のSDカードであと何コマ撮影できるのか知りたい | SDカードの残量を確認する | 22 |
| バッテリーの残量を確認したい | バッテリー残量の表示 | 21 |
| 露出について知りたい | 露出とは | 53 |
| 付属品のアイピースキャップの用途を知りたい | セルフタイマー、リモコン | 9、43 |
| どんなスピードライト（フラッシュ）が使えるの？ | 装着できるスピードライト | 149 |
| どんなレンズが使えるの？ | 装着できるレンズ | 145 |
| D40xで使えるアクセサリー（リモコン、ACアダプターなど）を買いたい | D40x用別売アクセサリー | 157 |
| SDカードを買いたい | 推奨SDカード | 156 |
| どんなパソコン用ソフトウェアがあるの？ | D40x用別売アクセサリー | 157 |
| カメラを点検や修理に出したい | アフターサービスのご案内 | 195 |
| カメラを掃除したい | カメラとレンズのお手入れ | 159 |

## カメラの設定を○○したい

| 使いたい機能・知りたい機能 | キーワード | ページ |
|---|---|---|
| 再生時に画像の一部がチカチカと点滅するのを直したい | ハイライト表示 | 66、67 |
| ファインダーをはっきりと見えるようにしたい | 視度調節 | 20 |
| 液晶モニターやファインダー内のシャッタースピードと絞り値がすぐに消えないようにしたい | パワーオフ時間 | 114 |
| 内蔵時計の時刻を合わせ直したい | ワールドタイム | 14、121 |
| 海外に行くので、内蔵時計を現地時刻に合わせたい | ワールドタイム | 14、121 |
| 液晶モニターの明るさを調整したい | 液晶モニターの明るさ | 122 |
| 最初の設定に戻したい | ツーボタンリセット | 50 |
| ピント合わせ時に発光する光（AF補助光）を出さないようにしたい | 内蔵AF補助光の照射 | 110 |
| セルフタイマーの時間を変更したい | セルフタイマー時間 | 115 |
| リモコン撮影の受信待機時間を変更したい | リモコン待機時間 | 115 |
| 撮影時にピピッという電子音が鳴らないようにしたい | 電子音設定 | 107 |
| メニューを全部表示させたい | メニュー表示切り換え | 117 |
| メニューに表示される言語を変えたい | 言語 | 122 |
| 画像に付けられる番号（ファイル番号）が、SDカードを換えても続き番号になるようにしたい。ファイル番号をリセットして1から始めたい。画像に付けられる番号（ファイル番号）が、重複しないようにしたい | 連番モード | 127 |

## 撮影するときに○○したい

| 使いたい機能・知りたい機能 | キーワード | ページ |
|---|---|---|
| とにかく簡単に撮影したい | オートモード | 21 |
| 撮影シーンに合わせて簡単に撮影したい | デジタルイメージプログラム | 26 |
| フラッシュを光らせずに撮影したい | 発光禁止オートモード | 27 |
| 背景をぼかして、人物をきれいに撮りたい | ポートレートモード | 27 |
| 風景や街並みを色鮮やかに撮りたい | 風景モード | 27 |
| 子供の表情をいきいきと撮りたい | こどもスナップモード | 27 |
| 動いているものにうまくピントを合わせて撮りたい | スポーツモード | 28 |
| 花や虫に近づいて大きく写したい | クローズアップモード | 28 |
| 夜景や夕焼けを背景に記念写真を撮りたい | 夜景ポートレートモード | 28 |
| 情報画面に表示されているカメラの機能の設定を変えたい | 撮影機能の設定をする | 31 |
| 単写（1コマ撮影）と連写（連続撮影）を切り換えたい | 動作モード | 42 |
| セルフタイマーを使って撮影したい | セルフタイマー | 43 |
| 別売のリモコンを使って撮影したい | リモコン | 43 |
| 露出を自分で決めたい | **P S A M**モード | 52 |
| 動きの速い被写体を写し止めたり、川の流れなどの流動感を出したい | 撮影モード**S**<br>（シャッター優先オート） | 55 |
| 背景をぼかして被写体を浮かび上がらせたい | 撮影モード**A**<br>（絞り優先オート） | 56 |
| 画像を明るく、または暗くしたい | 露出補正 | 62 |
| 花火や天体写真、自動車のライトの流れを撮影したい | 長時間露光 | 58 |
| フラッシュの設定を変更したい | フラッシュモード | 46 |
| 暗い場所でフラッシュが自動的に光るようにしたい | オート（自動発光） | 47 |
| フラッシュが勝手に光らないようにしたい | 発光禁止 | 47 |
| 瞳が赤くならないようにしたい | 赤目軽減発光 | 47 |
| ISO感度を変えたい | ISO感度 | 49 |
| オートフォーカスの設定を変更したい | オートフォーカスで撮影する | 33 |

| 使いたい機能・知りたい機能 | キーワード | ページ |
|---|---|---|
| 大きくプリントするための画像を撮影したい | 画像サイズ、画質モード | 39 |
| 撮影できるコマ数を増やしたい | 画像サイズ、画質モード | 39 |
| 電子メールで送りやすい画像を撮りたい | 画像サイズ、画質モード | 39 |

## 撮影した画像で○○したい

| 使いたい機能・知りたい機能 | キーワード | ページ |
|---|---|---|
| 撮影した画像をカメラで見たい | 画像をカメラで再生する | 65 |
| 撮影した画像の情報を詳しく知りたい | 画像情報の表示 | 66 |
| いらない画像を1コマずつ消したい | 画像を削除する | 29、72、93 |
| いらない画像をまとめて消したい | 削除 | 93 |
| 画像を拡大して、ピントの具合を確認したい | 拡大表示 | 70 |
| 大切な画像なので、誤って削除しないようにしたい | プロテクト | 71 |
| 画像をスライドショーにしてカメラで見たい | スライドショー | 94 |
| 画像をテレビで見たい | 画像をテレビで見る | 86 |
| パソコンに画像を転送したい | 画像をパソコンに転送する | 73 |
| 画像を印刷したい | 画像をプリンターで印刷する | 76 |
| カメラとプリンターを直接接続して印刷したい | ダイレクトプリント | 77 |
| 日付を入れて印刷したい | 日付プリント | 80、85 |
| プリントサービス店にプリントを依頼したい | プリント指定 | 84 |
| 暗くなってしまった部分を明るく修正したい | D-ライティング | 134 |
| フラッシュで瞳が赤くなってしまった画像を修正したい | 赤目補正 | 135 |
| 画像から必要な部分だけを切り抜きたい | トリミング | 136 |
| 撮影した画像をモノクロやセピア色に変えたい | モノトーン | 137 |
| 撮影した画像の色を変えたい | フィルター効果 | 138 |
| 撮影した画像のサイズを小さくしたい | スモールピクチャー | 139 |
| 2コマの画像を1コマに合成したい | 画像合成 | 141 |

# 安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

| | | |
|---|---|---|
| ⚠ | **危険** | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。 |
|  | **警告** | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | **注意** | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

| 絵表示の例 | |
|---|---|
|  | △記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。 |
|  | ⃠記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
|  | ●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。 |

| ⚠ 警告（カメラとレンズについて） | |
|---|---|
|  分解禁止 | **分解したり修理・改造をしないこと**<br>感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。 |
|  接触禁止<br> すぐに修理依頼を | **落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと**<br>感電したり、破損部でケガをする原因となります。<br>バッテリー、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。 |
|  バッテリーを取る<br><br> すぐに修理依頼を | **熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにバッテリーを取り出すこと**<br>そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。<br>バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。<br>バッテリーを抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。 |
|  水かけ禁止 | **水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと**<br>発火したり感電の原因となります。 |
|  使用禁止 | **引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと**<br>プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。 |

| ⚠ 警告（カメラとレンズについて） | |
|---|---|
|  使用禁止 | **レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと**<br>失明や視力障害の原因となります。 |
|  発光禁止 | **車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと**<br>事故の原因となります。 |
|  発光禁止 | **フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと**<br>視力障害の原因となります。<br>特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。 |
|  保管注意 | **幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと**<br>幼児の飲み込みの原因となります。<br>万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。 |
|  警告 | **ストラップが首に巻き付かないようにすること**<br>**特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと**<br>首に巻き付いて窒息の原因となります。 |
|  使用禁止 | **AC アダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと**<br>感電の原因となります。<br>雷が鳴り止むまで機器から離れてください。 |
|  警告 | **指定のバッテリーまたは専用 AC アダプターを使用すること**<br>指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。 |

## ⚠ 注意（カメラとレンズについて）

感電注意

**ぬれた手でさわらないこと**

感電の原因になることがあります。

保管注意

**製品は幼児の手の届かないところに置くこと**

ケガの原因になることがあります。

保管注意

**使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない所に保管すること**

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

**三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと**

転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。

使用注意

**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと**

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

バッテリーを取る

プラグを抜く

**長期間使用しないときは電源（バッテリーやACアダプター）を外すこと**

バッテリーの液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

発光禁止

**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと**

やけどや発火の原因となることがあります。

禁止

**本機器やACアダプターは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと**

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと**

内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

**同梱のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと**

機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

## ⚠ 危険（専用リチウムイオン充電池について）

禁止

**バッテリーを火に入れたり、加熱しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

**バッテリーをショート、分解しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

## ⚠ 危険（専用リチウムイオン充電池について）

危険

**専用の充電器を使用すること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

**ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと**

ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。

持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。

使用禁止

**Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL9は、D40xに対応しています。EN-EL9に対応していない機器には使用しないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

危険

**バッテリーからもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること**

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

## ⚠ 警告（専用リチウムイオン充電池について）

保管注意

**バッテリーは幼児の手の届かない所に置くこと**

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

水かけ禁止

**水につけたり、ぬらさないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

警告

**変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

警告

**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること**

液もれ、発熱の原因となります。

警告

**バッテリーをリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはテープなどで接点部を絶縁すること**

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告

**バッテリーからもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと**

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因になります。

## ⚠ 注意（専用リチウムイオン充電池について）

注意

**バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

## ⚠ 警告（クイックチャージャーについて）

分解禁止

**分解したり修理・改造をしないこと**

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

すぐに修理依頼を

**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと**

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

プラグを抜く

すぐに修理依頼を

**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと**

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

水かけ禁止

**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと**

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

**引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと**

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

警告

**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること**

そのまま使用すると火災の原因になります。

使用禁止

**雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと**

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

禁止

**電源コードを傷つけたり加工したりしないこと**

**また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないこと**

電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

感電注意

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと**

感電の原因になることがあります。

## ⚠ 注意（クイックチャージャーについて）

感電注意

**ぬれた手でさわらないこと**

感電の原因になることがあります。

放置注意

**製品は幼児の手の届かないところに置くこと**

ケガの原因になることがあります。

## ⚠ 注意（クイックチャージャーについて）

禁止

**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと**

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

## ⚠ 危険（リモコン用リチウム電池について）

危険

**電池からもれた液が目に入った時はすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること**

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

## ⚠ 警告（リモコン用リチウム電池について）

禁止

**電池を火に入れたり、加熱しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

**電池をショート、分解しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

**電池に表示された警告・注意を守ること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

**使用説明書に表示された電池を使用すること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

**水につけたり、ぬらさないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

保管注意

**電池は幼児の手の届かない所に置くこと**

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

**電池の「+」と「−」の向きをまちがえないようにすること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

**充電式電池以外は充電しないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

警告

**電池を廃棄する時はテープなどで接点部を絶縁すること**

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

警告

**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと**

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

# お使いになる前に

ニコンデジタル一眼レフカメラD40xをお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、D40xでの撮影を楽しむためにお役立てください。

### 本文中のマークについて

この使用説明書では、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

| | |
|---|---|
|  | カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。 |
|  | 関連情報を記載した参照ページを記載しています。 |

### カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

### 表記について

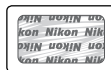
- SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。

### 商標説明

- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTimeは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe ReaderはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴおよびPictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

## ●本製品を安心してお使いいただくために

**本製品は、当社製のアクセサリー（レンズ、スピードライト、バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでお使いください。**

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL9には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

## ●大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

## ●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

## ●あらかじめご承知いただきたいこと

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

## ●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

## ●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

## ●カメラやSDカードを譲渡／廃棄するときのご注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には消去されません。譲渡／廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SDカードを譲渡／廃棄する際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去するか、初期化後にSDカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。なお、プリセットホワイトバランスの画像（P.101）や［壁紙デザイン］で設定した画像（P.120）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡／廃棄してください。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

# 各部の名称

## カメラ本体

ひとつのボタンに複数の役割がある場合は、カッコ内に記載しています。

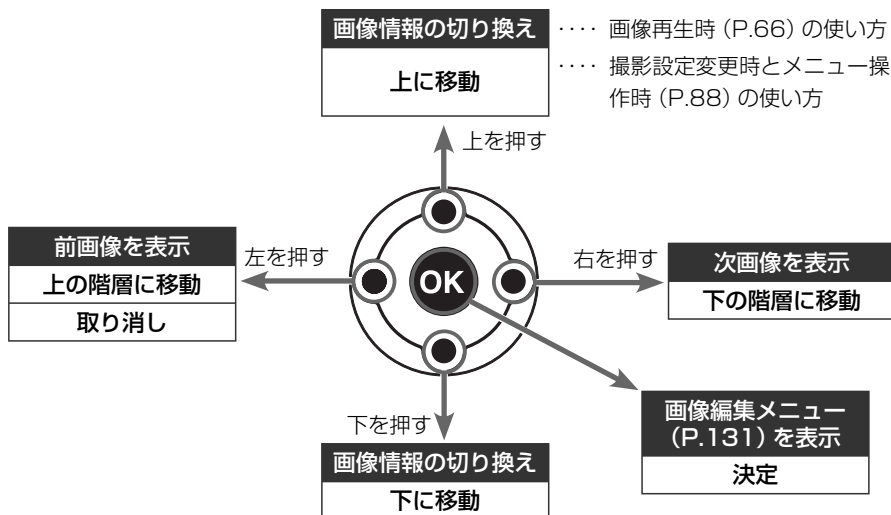
| | | |
|---|---|---|
| 1 | リモコン受光部 | P.44 |
| 2 | 電源スイッチ | P.5 |
| 3 | シャッターボタン | P.24 |
| 4 | 露出補正ボタン | P.62 |
| | （絞り変更 | P.57） |
| | （調光補正 | P.63） |
| 5 | 情報表示ボタン | P.8、31 |
| | （設定リセット | P.50） |
| 6 | AF補助光ランプ | P.33 |
| | （セルフタイマー | P.44） |
| | （赤目軽減 | P.47） |
| 7 | 距離基準マーク | P.38 |
| 8 | 撮影モードダイヤル | P.6 |
| 9 | 内蔵フラッシュ | P.46 |
| 10 | アクセサリーシューカバー | P.149 |
| 11 | フラッシュ取り付け部（アクセサリーシュー） | P.149 |
| 12 | フラッシュボタン | P.46 |
| | （調光補正 | P.63） |
| 13 | ストラップ取り付け部（吊り環） | P.9 |
| 14 | 端子カバー | P.74、78、86 |
| 15 | ビデオ出力端子 | P.86 |
| 16 | リセットスイッチ | P.165 |
| 17 | USB端子 | P.74、78 |
| 18 | セルフタイマーボタン | P.43 |
| | （Fn ファンクション | P.112） |
| 19 | レンズ取り外しボタン | P.11 |
| 20 | レンズ着脱指標 | P.10 |

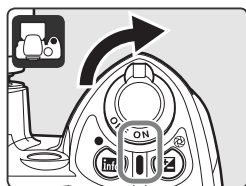
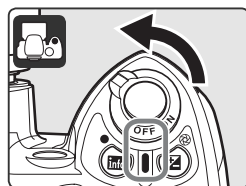
## カメラ本体（つづき）

| | |
|---|---|
| 1 | 接眼目当てDK-16....................................P.9 |
| 2 | ファインダー接眼窓.........................P.7、20 |
| 3 | 視度調節レバー.......................................P.20 |
| 4 | AE-L/AF-Lボタン..............P.37、112<br>（プロテクト....................................P.71） |
| 5 | コマンドダイヤル...............................P.173 |
| 6 | ストラップ取り付け部（吊り環）..............P.9 |
| 7 | マルチセレクター.....................................P.5 |
| 8 | SDカードカバー...................................P.17 |
| 9 | 削除ボタン...............................P.29、72 |
| 10 | SDカードアクセスランプ....................P.25 |
| 11 | パワーコネクターカバー（別売のACアダプター接続時に使用）..............................P.157 |
| 12 | バッテリーカバー開閉ノブ.......P.13、157 |
| 13 | バッテリーカバー......................P.13、157 |
| 14 | 三脚ネジ穴 |
| 15 | 液晶モニター......................P.8、65、122 |
| 16 | 拡大ボタン..........................................P.70<br>（撮影設定変更...............................P.31）<br>（設定リセット.......................................P.50） |
| 17 | 縮小／サムネイルボタン..................P.69<br>（ヘルプ..............................................P.5） |
| 18 | メニューボタン：...............................P.88 |
| 19 | 再生ボタン...............................P.29、65 |

## マルチセレクター

マルチセレクターの基本的な使い方は、以下の通りです。

| 操作 | 画像再生時（P.66）の使い方 | 撮影設定変更時とメニュー操作時（P.88）の使い方 |
|---|---|---|
| 上を押す | 画像情報の切り換え | 上に移動 |
| 下を押す | 画像情報の切り換え | 下に移動 |
| 左を押す | 前画像を表示 | 上の階層に移動／取り消し |
| 右を押す | 次画像を表示 | 下の階層に移動 |
| OK | 画像編集メニュー（P.131）を表示 | 決定 |

## 電源のONとOFF

カメラの電源のONとOFFは電源スイッチで切り換えます。

カメラの電源をONにする

カメラの電源をOFFにする

### ヒント　ヘルプ機能について

ヘルプ機能を使うには、（？）ボタンを押します。（？）ボタンを押している間、メニュー操作時には、選択中の項目についての説明が液晶モニターに表示されます。撮影時（メニュー操作をしていないとき）には、現在の撮影モードの説明が液晶モニターに表示されます。ファインダー内下部や液晶モニターで ? （警告表示）が点滅している場合には、警告の内容を確認することができます。

? 仕上がり設定

記録する画像の仕上がりを、撮影シーンや好みに合わせて設定します。

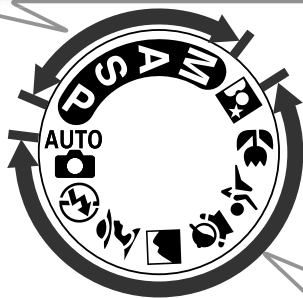
- （？）ボタンを放すと、元の画面に戻ります。
- ヘルプ画面は2ページにまたがる場合があります。この場合は、ボタンを押しながらマルチセレクターの下を押すと、次のページが表示されます。

## 撮影モードダイヤル

撮影モードを切り換えるときに使います。撮影モードは全部で12種類あります。

**応用撮影向けの撮影モード**

シャッタースピードや絞りなどを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しむことができます。

- **P**：プログラムオート（P.54）
- **S**：シャッター優先オート（P.55）
- **A**：絞り優先オート（P.56）
- **M**：マニュアル（P.57）

**かんたん撮影向けの撮影モード（デジタルイメージプログラム）**

撮影シーンに合わせて撮影モードを選び、シャッターボタンを押すだけの簡単な操作で、撮影を楽しむことができます。

| | |
|---|---|
| AUTO：オート（P.21） | ：こどもスナップ（P.27） |
| ：発光禁止オート（P.27） | ：スポーツ（P.28） |
| ：ポートレート（P.27） | ：クローズアップ（P.28） |
| ：風景（P.27） | ：夜景ポートレート（P.28） |

**ヒント　オートフォーカスで撮影できるレンズについて**

このカメラでピント合わせをオートフォーカスで行うには、AF-Sレンズが必要です。AF-Iレンズをお持ちの場合はAF-Iレンズでもオートフォーカス撮影ができます。AF-S、AF-I以外のオートフォーカス（AF）レンズを取り付けても、このカメラではオートフォーカス撮影はできません。

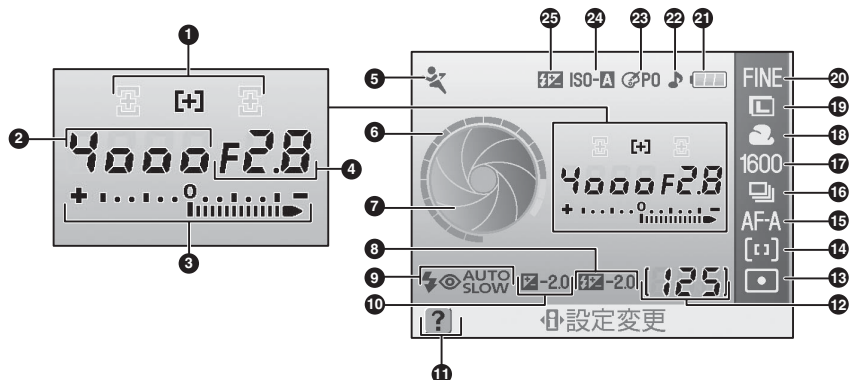
## ファインダー（説明のため、すべての表示を点灯させています）

1 フォーカスエリア……P.20、23
2 ピント表示……P.24、36
3 フォーカスエリア表示……P.20、23
　AFエリアモード表示……P.34
4 AEロック表示……P.60
5 プログラムシフト表示……P.54
6 シャッタースピード……P.53～57
7 絞り値……P.53～57
8 調光補正マーク……P.63、113、153
9 露出補正マーク……P.62
10 記録可能コマ数……P.22、179
　連続撮影可能コマ数……P.42、179
　ホワイトバランスプリセットデータ
　　取得モード表示……P.102
　露出補正値……P.62
　調光補正値……P.63
　PC接続中マーク……P.74
　イメージダストオフデータ
　　取得モード表示……P.129
11 レディーライト……P.25
12 バッテリー残量表示……P.21
13 露出インジケーター……P.58
　露出補正インジケーター……P.62
14 ISO AUTOマーク……P.49、110
15 1000コマ以上補助表示……P.22
16 警告表示……P.5、170

### ✓ ファインダーについてのご注意

ファインダーの液晶表示は、高温・低温下で色の濃さが変わったり、低温下で応答速度が多少遅くなることがありますが、常温時には正常に戻ります。

## 情報画面（説明のため、実際には表示されない組み合わせで点灯させています）

ボタンを押すと、液晶モニターに下のような「情報画面」*が表示されます。情報画面では、カメラの設定状況を確認できます。情報画面の操作方法については、P.31をご覧ください。

* 情報画面のデザインはセットアップメニューの［情報画面デザイン］（P.119）で変更することができます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | フォーカスエリア表示……P.20、23<br>AFエリアモード表示……P.34 | 13 | 測光モード……P.59 |
| 2 | シャッタースピード……P.53～57 | 14 | AFエリアモード……P.34 |
| 3 | 露出インジケーター……P.58<br>露出補正インジケーター……P.62 | 15 | フォーカスモード……P.33 |
| 4 | 絞り値……P.53～57 | 16 | 動作モード……P.42 |
| 5 | 撮影モード……P.6 | 17 | ISO感度……P.49 |
| 6 | シャッタースピードイメージ | 18 | ホワイトバランスモード……P.64、100 |
| 7 | 絞りイメージ | 19 | 画像サイズ……P.40 |
| 8 | 調光補正値……P.63 | 20 | 画質モード……P.40 |
| 9 | フラッシュモード……P.47 | 21 | バッテリー残量表示……P.21 |
| 10 | 露出補正値……P.62 | 22 | 電子音表示……P.107 |
| 11 | ヘルプあり表示……P.5 | 23 | 仕上がり設定表示……P.97 |
| 12 | 記録可能コマ数……P.22、179<br>ホワイトバランスプリセットデータ取得モード表示……P.102<br>PCカメラモード表示……P.75 | 24 | ISO AUTOマーク……P.49、110 |
| | | 25 | マニュアル発光設定マーク……P.113<br>外付けスピードライト調光補正マーク..P.153 |

### ヒント　シャッタースピードイメージと絞りイメージについて

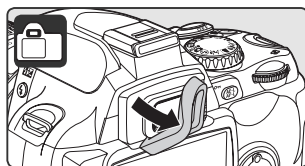
シャッタースピードイメージと絞りイメージは、シャッタースピードと絞りの動きを表します。

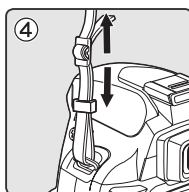
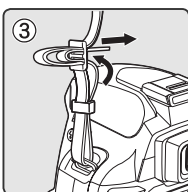
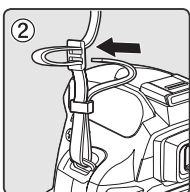
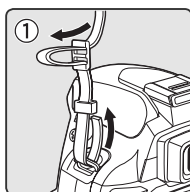
シャッタースピードが速く、絞りが開いた（小さい絞り値）の場合

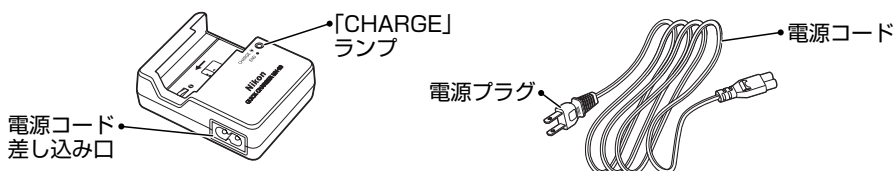
シャッタースピードが遅く、絞りが絞り込まれた（大きな絞り値）の場合

# 付属品について

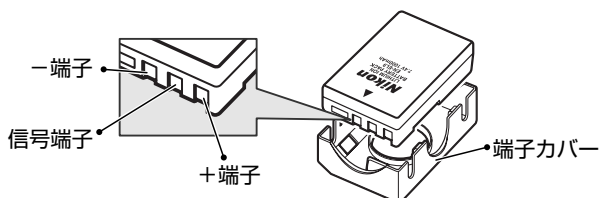
## アイピースキャップDK-5

付属のアイピースキャップDK-5は、セルフタイマー撮影（P.43）やリモコン撮影（P.43）に使用します。アイピースキャップや各種ファインダー用アクセサリー（P.155）を取り付けるには、接眼目当てDK-16を取り外す必要があります。接眼目当てを取り外すときは、カメラをしっかりと支えてください。

## ストラップ

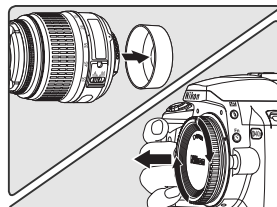
ストラップの取り付け手順は以下の通りです。

## クイックチャージャー MH-23

付属のバッテリー EN-EL9 用の充電器です（P.12、187）

## Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL9

D40x用のバッテリーです（P.12、157、187）

# 撮影の準備

## レンズを取り付ける

レンズを取り付けるときは、カメラ内部にほこりなどが入らないようにご注意ください。

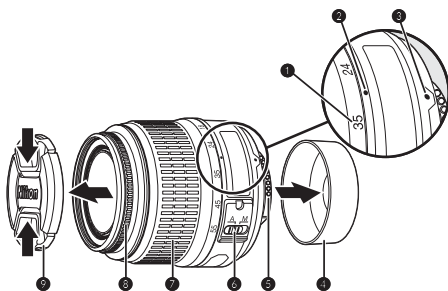
1 カメラの**電源がOFFになっていることを確認してから**レンズの裏ぶたとカメラのボディーキャップを外す

**ヒント　オートフォーカスで撮影できるレンズについて**

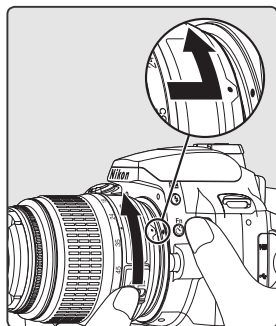
このカメラでピント合わせをオートフォーカスで行うには、AF-Sレンズが必要です。AF-Iレンズをお持ちの場合はAF-Iレンズでもオートフォーカス撮影ができます。AF-S、AF-I以外のオートフォーカス（AF）レンズを取り付けても、このカメラではオートフォーカス撮影はできません。

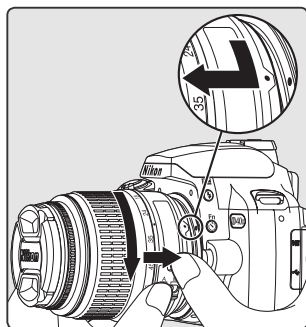
**ヒント　レンズについて**

この使用説明書では、AF-S DX ズームニッコールED 18–55mm F3.5–5.6GIIを使って説明しています。

他のレンズをお使いの場合は、レンズの使用説明書をご覧ください。

1. 焦点距離目盛
2. 焦点距離目盛指標
3. レンズ着脱指標 .................................P.11
4. 裏ぶた
5. CPU信号接点 ................................P.145
6. A-M切り換えスイッチ ...........P.11、38
7. ズームリング ....................................P.23
8. フォーカスリング .............................P.38
9. レンズキャップ

2 レンズを取り付ける

- レンズとカメラのレンズ着脱指標を合わせながらレンズを差し込み、矢印の方向に回してください。カチッと音がするところまで回すと、取り付けは完了です。
- オートフォーカスで撮影するには、A-M切り換えスイッチまたはフォーカスモードスイッチを、A（オートフォーカス）またはM/A（マニュアル優先オートフォーカス）に合わせてください。

## レンズを取り外すときは

カメラの電源をOFFにしてから取り外します。カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し、引き抜いてください。取り外した後は、カメラとレンズにそれぞれのキャップを取り付けてください。

### ✔ 絞りリングのあるレンズについてのご注意

絞りリングのあるレンズを取り付ける場合は、最小絞り（最大値）にして、ロックしてください。詳しくはレンズの使用説明書をご覧ください。

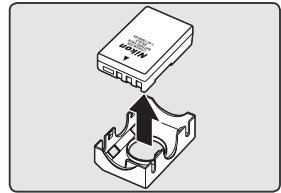
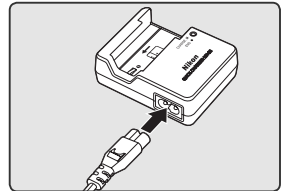
## バッテリーを充電してカメラに入れる

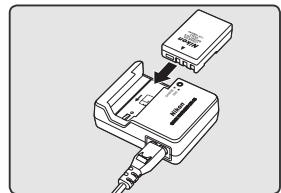
付属のバッテリーEN-EL9とクイックチャージャーMH-23（充電器）の組み合わせでお使いください。

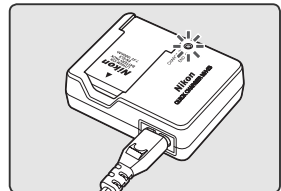
**付属の電源コードについてのご注意**

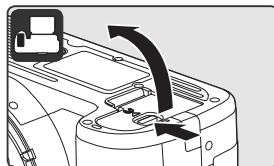
付属の電源コードは、クイックチャージャーMH-23以外の機器に接続しないでください。この電源コードは日本国内専用（AC 100 V対応）です。日本国外でお使いになる場合は、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについてはニコンサービスセンターにお問い合わせください。また、ニコンオンラインショップ（http://shop.nikon-image.com/）でもお求めいただけます。

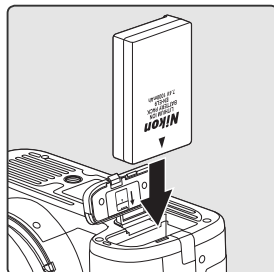
### 1.バッテリーを充電する

**1.1** バッテリーの端子カバーを取り外す

**1.2** クイックチャージャーと電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む

**1.3** バッテリーをクイックチャージャーに取り付ける

- 右図のように、正しい向きで取り付けてください。
- 「CHARGE」ランプが点滅し、充電が始まります。

**1.4** 「CHARGE」ランプが点滅から点灯に変わったら、バッテリーを取り外す

- 充電が完了しました。バッテリーを取り外し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使い切ったバッテリーを充電するには、およそ90分かかります。

## 2. バッテリーをカメラに入れる

**2.1** 電源スイッチがOFFの位置になっていることを確認し、カメラ底面のバッテリーカバーを開ける

**2.2** 充電したバッテリーを入れ、バッテリーカバーを閉じる

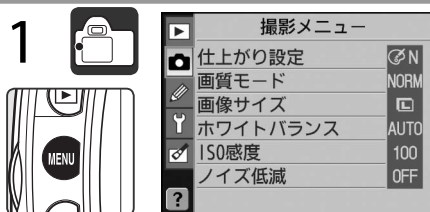
- 右図のように、正しい向きで入れてください。

## バッテリーを取り出すときは

バッテリーをカメラから取り出す前に、必ず**電源がOFFになっていることを確認してください。**

### ☑ バッテリーとクイックチャージャーの使用上のご注意

- お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(P.viii～x)、「カメラと付属品の取り扱い上のご注意」(P.162～164) をお読みになり、記載事項をお守りください。
- バッテリーは0～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。充電は室温(5～35℃)で行ってください。バッテリーの性能を充分に発揮するために、約20℃以上で充電することをおすすめします。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、バッテリーに充電できる容量や、使用できるバッテリー容量は少なくなります。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。
- バッテリーをカメラやクイックチャージャーから取り外しておくときは、ショートを防止するため、付属の端子カバーをバッテリーに取り付けてください。
- クイックチャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 日付と時刻を設定する

カメラの内蔵時計を合わせます。ご購入後、初めて電源をONにしたときは、ステップ9の画面が表示されます（日時設定が完了するまで、撮影や他の設定はできません)。初めて電源をONにしたときの日時設定の手順については、簡単操作ガイドをご覧ください。

1

電源をONにして MENU ボタンを押す

- 液晶モニターにメニュー画面が表示されます。メニュー項目がすでに選択されている場合はマルチセレクターの左を押して、メニューのアイコンを黄色で表示してください。

2

（セットアップメニュー）アイコンを選ぶ

- マルチセレクターの右を押すと、セットアップメニューのメニュー項目を選択できるようになります。

3

[ワールドタイム]を選ぶ

- マルチセレクターの右を押すと[ワールドタイム]画面が表示されます。

4

[現在地の設定]を選ぶ

- マルチセレクターの右を押すと[現在地の設定]画面が表示されます。

5

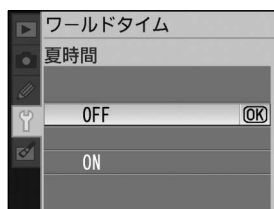
現在地が含まれるタイムゾーン（地域）を選ぶ

- 世界地図上で、現在地が黄色でハイライトされるようにしてください。
- 世界地図の上に、選択中のタイムゾーンに含まれる主な都市名や、UTC（世界協定時）との時差が表示されます。
- OK ボタンで決定すると、[ワールドタイム]画面に戻ります。

## 6

[夏時間]を選ぶ

- 現在地で夏時間（サマータイム）制が実施されている場合に選択します。
- マルチセレクターの右を押すと[夏時間]画面が表示されます。
- ［夏時間］を設定する必要がない場合は、ステップ8に進んでください。

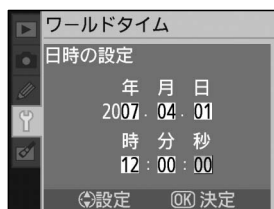
## 7

[ON]または[OFF]を選ぶ

- 現在地で夏時間制が実施されている場合は[ON]に、そうでない場合は[OFF]にしてください。
- [ON]にすると、[OFF]のときよりも時刻が1時間進みます。
- OK ボタンで決定すると、[ワールドタイム]画面に戻ります。

## 8

［日時の設定］を選ぶ

- マルチセレクターの右を押すと［日時の設定］画面が表示されます。

## 9

現在地の日時に合わせる

- 設定項目（年、月、日、時、分、秒）を移動するには、マルチセレクターの右または左を押します。
- 日付と時刻を合わせた後 OK ボタンを押すと、[ワールドタイム]画面に戻ります。
- ご購入後初めて電源をONにして日時設定をした場合は、日時を合わせてから OK ボタンを押すと、日付と時刻の設定が完了し、撮影できる状態になります。

## 10

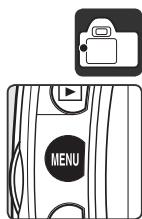
[日付の表示順] を選ぶ

- マルチセレクターの右を押すと [日付の表示順] 画面が表示されます。

## 11

画像に表示される日付の順番を選ぶ

- OK ボタンで決定すると、[ワールドタイム] 画面に戻ります。

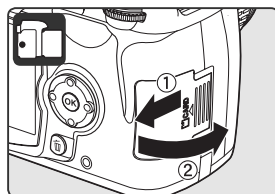
## 12

MENU ボタンを押してメニュー操作を終了する

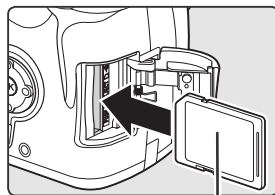
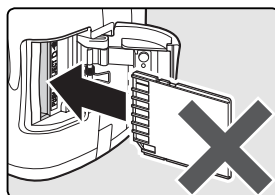
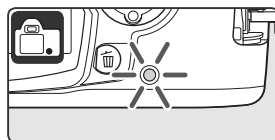
## SDメモリーカード（別売）をカメラに入れる

このカメラは、撮影した画像をSDカードに記録します。SDカードは付属していないため、別途お買い求めください（「推奨SDカード」P.156）。

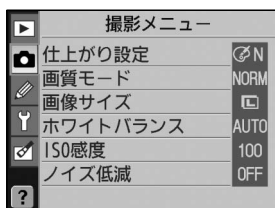
### 1.SDカードを入れる

**1.1** 電源をOFFにした状態で、SDカードカバーを開ける

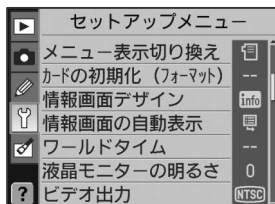
- SDカードを抜き差しするときは、必ず電源をOFFにしてください。

**1.2** SDカードを入れる

- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで挿入してください。

おもて面

- SDカードが正しく挿入されると、SDカードアクセスランプが約1秒間点灯します。
- 挿入後、SDカードカバーを閉めてください。

## 2.SDカードを初期化（フォーマット）する

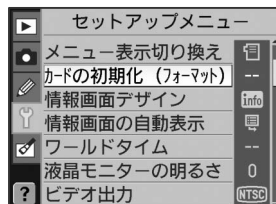
D40xに初めて使うSDカードは、D40xで初期化してからお使いください。**SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます**。カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化の前に、パソコンなどに保存してください。なお、SDカードをカメラから抜くときは、その前に必ず電源をOFFにしてください。

2.1

電源をONにして MENU ボタンを押す

- 液晶モニターにメニュー画面が表示されます。メニュー項目がすでに選択されている場合はマルチセレクターの左を押して、メニューのアイコンを黄色で表示してください。

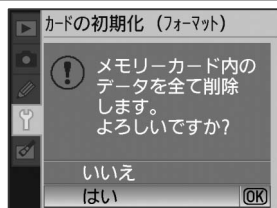
2.2

Y（セットアップメニュー）アイコンを選ぶ

- マルチセレクターの右を押すとセットアップメニューのメニュー項目を選択できるようになります。

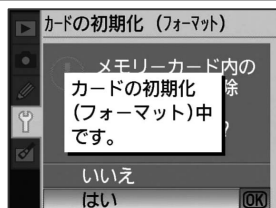
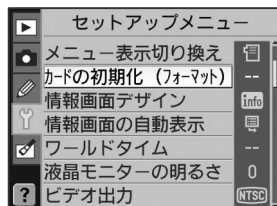
2.3

［カードの初期化（フォーマット）］を選ぶ

- マルチセレクターの右を押すと［カードの初期化（フォーマット）］画面が表示されます。

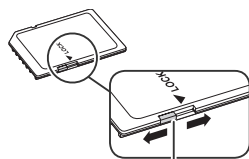
2.4

[はい]を選ぶ

2.5

OK ボタンを押す

- 初期化が始まります。初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。

2.6

初期化が完了するとセットアップメニューに戻ります。

### ✓ SDカードがロックされている場合のご注意

SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや消去が禁止され、カード内の画像を保護できます。撮影時や、画像を削除するときは「Lock」を解除してください。SDカードの書き込み禁止スイッチがロックされている場合は、液晶モニターなどに警告が表示されます。ロックを解除してからもう一度挿入してください。

書き込み禁止スイッチ

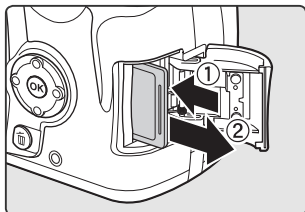
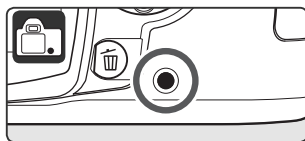
### ✓ パソコンでSDカードを初期化した場合のご注意

パソコンで初期化したSDカードをそのままD40xで使うと、データの記録速度が低下する場合があります。D40xで初期化しなおしてからお使いください。

### SDカードを取り出すときは

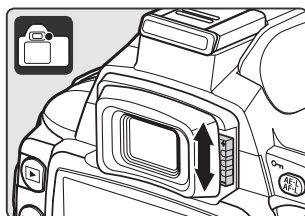
**1** SDカードアクセスランプが消灯していることを確認してください。

**2 電源をOFFにしてから**、SDカードカバーを開けてください。

**3** カードを奥に押し込むと（①）、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください（②）。

## ファインダー内の見え方を調節する

撮影するときは、ファインダーをのぞきながら構図を決めます。あらかじめ、ファインダー内がはっきり見えるように調節してください。

レンズの前キャップを取り外して、視度調節レバーで調節します。

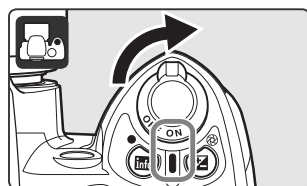
- ファインダーをのぞきながら視度調節レバーを上下に動かし、フォーカスエリアの枠線が最もはっきり見えるように調節してください。
- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。

## AUTO（オート）で撮影する―カメラまかせの簡単撮影

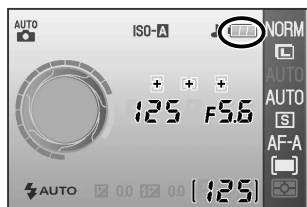
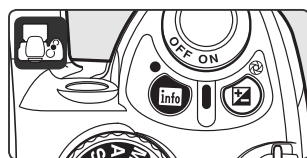
AUTO（オート）撮影モードでは、シャッターボタンを押すだけの簡単な操作で、さまざまな状況での撮影を楽しむことができます。以下のステップ1～4の手順で撮影してください。

※ 情報画面とファインダー内下部のイラストは、説明に関係ある部分だけを強調し、直接関係が無い部分は色を薄くしています。

### ステップ1：電源をONにする

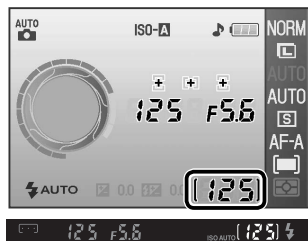
**1.1** 電源をONにする

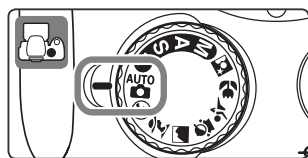
- レンズの前キャップを外してください。
- 液晶モニターとファインダー内下部の表示が点灯します。

**1.2** バッテリーの残量を確認する

- 液晶モニターに情報画面が表示されます。下記ヒントを参考にバッテリー残量を確認してください。
- 液晶モニターが消灯したときは、info ボタンを押すと情報画面が表示されます。
- バッテリーの残量が少なくなると、ファインダー内下部にもバッテリー残量が表示されます。
- info ボタンを押しても情報画面が表示されない場合、バッテリー残量がありません。バッテリーを交換してください。

**ヒント　バッテリー残量の表示**

| 液晶モニター | ファインダー | 意味 |
| --- | --- | --- |
| [バッテリー表示] | 表示なし | バッテリーは充分に残っています。 |
| [バッテリー表示] | 表示なし | バッテリーが減り始めました。 |
| [バッテリー表示] | [バッテリー表示] | バッテリーが残り少なくなりました。バッテリー交換の準備をしてください。 |
| [バッテリー表示]（点滅） | [バッテリー表示]（点滅） | 撮影できません。バッテリーを交換してください。 |

## 1.3 SDカードの残量を確認する

- ファインダー内下部または液晶モニターでカードの残量（これから撮影できるコマ数）を確認してください。
- 液晶モニターが消灯したときは、info ボタンを押すと情報画面が表示されます。

## ステップ2：撮影モードを AUTO（オート）にする

## 2 カメラ上面の撮影モードダイヤルを AUTO（オート）に合わせる

### ヒント 1000コマ以上補助表示

記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは「K」マークが点灯します。「K」は1000倍を意味しており、たとえば1160コマ撮影できるときは、右のように表示されます。

### ヒント カードの残量がないときは

カードの残量がなくなると、右のように表示されます。不要な画像を削除するか（P.29、72）、別のカードに交換してください。

### ヒント 「半押しタイマー」について

このカメラには、バッテリーの消耗を抑えるための「半押しタイマー」という機能があります。半押しタイマーは、シャッターボタンを半押しする（P.24）とオンになり、何も操作しないで約8秒間（初期設定）経過するとオフになります。半押しタイマーがオフになると、ファインダー内表示が消灯します。情報画面を表示している場合は、情報画面も消灯します。シャッターボタンを半押しすると、半押しタイマーがオンになり、ファインダー内表示が再点灯します。半押しタイマーの作動時間はカスタムメニュー［15：パワーオフ時間］（P.114）で変更することができます。

半押しタイマーオン

8秒後

半押しタイマーオフ

半押しタイマーオン

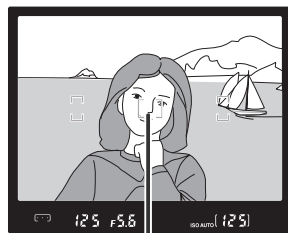
## ステップ3：カメラを構える

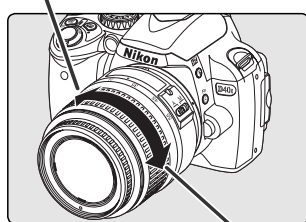
### 3.1 カメラをしっかりと構える

**ヒント　カメラの構え方**

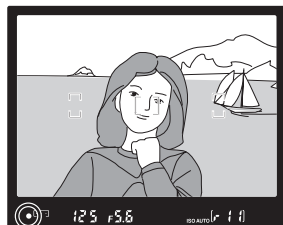
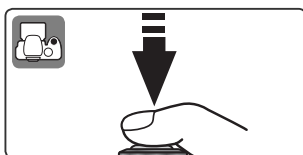
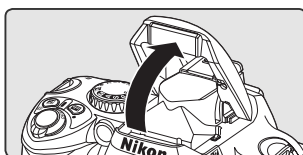
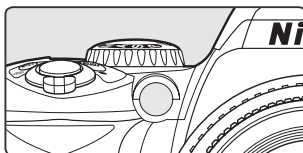
- 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。
- わきを軽く締めます。
- 片足を少し前に踏み出すと、上半身が安定します。
- 縦長（縦位置）の画像を撮影したいときは、右図のようにカメラを縦にして構えます。

### 3.2 構図を決める

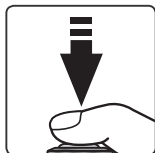
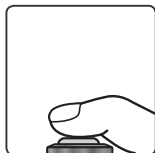
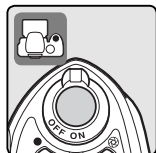
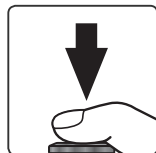
- ファインダーをのぞきながら、構図を決めてください。
- 3つの自動でピント合わせを行う領域（フォーカスエリア）の少なくとも1つに、被写体が重なるようにしてください。

**ヒント　ズームレンズの使い方**

被写体を大きく写したいときはズームリングを望遠側に、広い範囲を写したいときはズームリングを広角側に回してください。

## ステップ4：ピントを合わせて撮影する

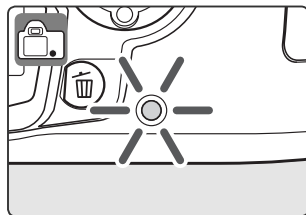
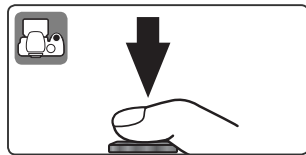
**4.1** シャッターボタンを半押し（下記ヒント参照）する

- フォーカスエリアに重なっている被写体のうち、手前にある主要被写体に自動的にピントが合います。
- ピントが合うと、「ピピッ」という電子音が鳴り、ファインダー内下部のピント表示●が点灯します。また、ファインダー内で、ピントを合わせたフォーカスエリアが赤く表示されます。
- シャッターボタンを押している間、ファインダーに続けて撮影できるコマ数（連続撮影可能コマ数）が表示されます。連続撮影可能コマ数の先頭には、「r」が付きます。
- シャッターボタンを半押ししている間、液晶モニターは消灯します。
- 暗い場所などでは、AF補助光ランプが光る場合や、内蔵フラッシュが上がる場合があります。

ピント表示

**ヒント　シャッターボタンの半押しと全押し**

シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「**シャッターボタンを半押しする**」といいます。半押しするとピントが合い、半押しを続けている間、そのピントで固定されます※。そのまま深く押し込む（これを「**シャッターボタンを全押しする**」といいます）と、シャッターがきれます。

※ 動いている被写体などの撮影で、フォーカスモードが［AF-A］（AFサーボモード自動切り換え）に設定していて自動で［AF-C］（コンティニュアスAFサーボ）に切り換わっているときや、［AF-C］に設定しているときは固定されません。また、電子音も鳴りません。

半押しすると、ピントが固定

全押しして撮影する

## 4.2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押し）

- シャッターがきれ、画像がSDカードに記録されます。液晶モニターに、記録中の画像が表示されます。
- SDカードアクセスランプが点灯している間は、**SDカードやバッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外したりしないでください。**

## 電源をOFFにするには

電源をOFFにするには、電源スイッチをOFFの位置まで回してください。

**ヒント　内蔵フラッシュについて**

AUTO撮影モードでは、被写体が暗い場合や逆光の場合に、シャッターボタンを半押しすると、自動的に内蔵フラッシュが上がります。内蔵フラッシュの調光範囲（光が充分に届く距離）は、ISO感度や絞り値によって変化します（P.181）。調光範囲より近くや遠くにある被写体を撮影する場合は、フラッシュの効果が充分に得られないので、ご注意ください。また、フラッシュ撮影時には、レンズフードを取り外してください。

- ファインダー内下部に⚡が点灯しているときは、シャッターボタンを押し込むと、内蔵フラッシュが発光します。⚡が点灯していないときは、内蔵フラッシュの充電中のため、撮影できません。⚡が点灯するまでお待ちください。なお、内蔵フラッシュが上がっていても、その後被写体が明るくなった場合などはフラッシュは発光しません。この場合は、⚡が点灯しなくても撮影することができます。
- 内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げてください。内蔵フラッシュを使わないときは、収納しておいてください。

**ヒント　フラッシュを光らせたくないときは**

次ページで紹介する「発光禁止オート」モードにすれば、フラッシュを光らせずに撮影することができます。フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影やフラッシュを光らせたくない被写体の撮影に便利です。

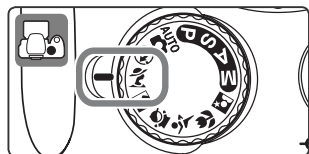
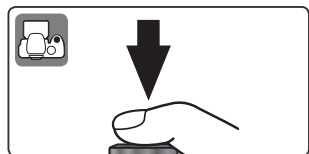
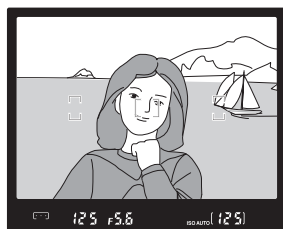
# シーンに合わせて撮影する―簡単操作でより美しく

デジタルイメージプログラムには AUTO 撮影モードの他に以下の7種類の撮影モードがあります。撮影シーンに合わせてこれらの撮影モードを選ぶだけで、よりシーンに適した撮影ができます。

撮影モードを選ぶ以外は、AUTO と同じ操作で撮影できます。

| ダイヤルの位置 | 撮影モード | こんなときに |
|---|---|---|
| | **発光禁止オート** | フラッシュを光らせずに撮影したい |
| | **ポートレート** | 人物を撮影したい |
| | **風景** | 風景や街並みを撮影したい |
| | **こどもスナップ** | 子供を撮影したい |
| | **スポーツ** | 運動会などのスポーツ写真を撮影したい |
| | **クローズアップ** | 草花や昆虫などを接写したい |
| | **夜景ポートレート** | 夕景や夜景をバックに人物を撮影したい |

## 撮影の手順

**1** 撮影モードダイヤルを回して、撮影モードを設定する

**2** ファインダーをのぞきながら構図を決めて、シャッターボタンを押して撮影する

## 各撮影モードの特徴

**（発光禁止オート）モード**：フラッシュを光らせたくないときに

フラッシュ撮影が禁止されている美術館や博物館での撮影や、フラッシュを光らせずに撮影したい赤ちゃんの撮影などに使います。フラッシュを使わないことにより、暗い場所でも被写体を自然な感じに表現します。

- 被写体が暗いときは、AF補助光が光ります。
- フォーカスエリアに重なっている被写体のうち、手前にある主要被写体に自動的にピントが合います。

**（ポートレート）モード**：人物をもっときれいに

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

- 被写体と背景が離れているときや、望遠レンズを使って撮影したときは、背景がぼけて立体感のある画像になります。
- フォーカスエリアに重なっている被写体のうち、手前にある主要被写体に自動的にピントが合います。

**（風景）モード**：風景をより美しく

自然の風景や街並みを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

- 被写体が暗いときでも内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。
- フォーカスエリアに重なっている被写体のうち、手前にある主要被写体に自動的にピントが合います。

**（こどもスナップ）モード**：子供の表情をいきいきと

子供の撮影に向いています。肌の色を美しく表現すると同時に、服装や背景も鮮やかに仕上げます。

- フォーカスエリアに重なっている被写体のうち、手前にある主要被写体に自動的にピントが合います。

### （スポーツ）モード：迫力のスポーツ写真を

運動会などスポーツ写真の撮影に向いています。動きのある被写体の一瞬の動きを鮮明にとらえ、躍動感のある画像に仕上げます。

- 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。
- シャッターボタンを半押ししている間、中央のフォーカスエリアに重なっている被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。中央のフォーカスエリアから被写体が外れてしまった場合でも、他のフォーカスエリアを使ってピントを合わせ続けます。マルチセレクターで他のフォーカスエリアを選ぶこともできます（P.35）。

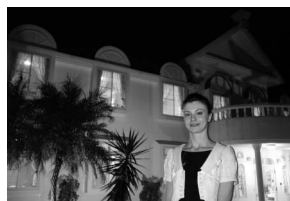
### （クローズアップ）モード：花や虫を大きく接写

草花や昆虫などの小さな被写体に近づき、大きく写したいときに使います。

- 手ブレしやすいので、三脚をお使いになることをおすすめします。
- 中央のフォーカスエリアでピントを合わせます。マルチセレクターの左右を押すと、他のフォーカスエリアを選ぶことができます。

### （夜景ポートレート）モード：夜景をバックに記念撮影

夕景や夜景をバックに、人物を撮影したいときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。

- 手ブレしやすいので、三脚をお使いになることをおすすめします。
- フォーカスエリアに重なっている被写体のうち、手前にある主要被写体に自動的にピントが合います。

**ヒント　内蔵フラッシュについて**

撮影モードが 、、、 のときは、被写体が暗い場合や逆光の場合に、シャッターボタンを半押しすると自動的に内蔵フラッシュが上がって発光します。フラッシュの設定（フラッシュモード）を変更したいときは、「内蔵フラッシュを活用する」（P.46）をご覧ください。

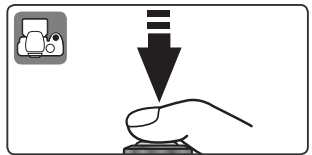
# 撮影した画像を確認する

撮影した画像は、液晶モニターに自動的に表示されます。画像が表示されていないときは、▶ ボタンを押すと、最後に撮影した画像が表示されます。

- 撮影直後に表示される画像では、バッテリー残量、記録可能コマ数が大きく表示されます。

- ▶ ボタンを押すと、最後に撮影した画像が1コマ表示モードで表示されます。

- カメラ背面にあるマルチセレクターの左または右を押す（またはコマンドダイヤルを回す）と、ほかの画像を見ることができます。

- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

## 画像を削除する

液晶モニターに画像が表示されている状態で 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。

- もう一度 🗑 ボタンを押すと、表示中の画像が削除されて、再生画面に戻ります。
- 削除するのをやめたいときは、▶ ボタンを押してください。

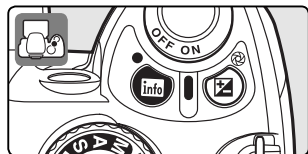
# 【中級編】撮影機能を使いこなそう

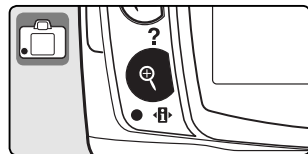
【中級編】では、撮影設定変更画面やボタン操作で設定することができる機能について説明します。


| | |
|---|---|
| メニューを使わずに撮影機能を設定したい | 撮影機能の設定をする：P.31 |
| オートフォーカス撮影について詳しく知りたい | オートフォーカスで撮影する：P.33 |
| ピントを自分で合わせたい | ピントを手動で合わせる：P.38 |
| 画像の大きさや画質を変えたい | 画質や画像のサイズを変更する：P.39 |
| 連写したい | 動作モード：連写、セルフタイマー撮影、リモコン撮影する：P.42 |
| セルフタイマーを使って撮影したい<br>リモコンを使って撮影したい | セルフタイマーやリモコンを使って撮影する：P.43 |
| フラッシュの設定を変更したい | 内蔵フラッシュを活用する：P.46 |
| 周囲の明るさに合わせてISO感度を変更したい | ISO感度を設定する：P.49 |
| 最初の設定に戻したい | ツーボタンリセット：P.50 |

# 撮影機能の設定をする

## 現在の設定を確認する（情報画面）

ボタンを押すと、液晶モニターに右のような画面が表示されます。この画面を「情報画面」といいます。情報画面では、撮影時のカメラの設定状況を確認できます。情報画面の表示中にもう一度 ボタンを押すと、液晶モニターが消灯します。情報画面の表示内容についてはP.8を、情報画面のデザインを変更する方法についてはP.119をご覧ください。

## 撮影機能を設定する（撮影設定変更画面）

情報画面が表示されているときに （ ）ボタンを押すと、右のような画面が表示されます。この画面を「撮影設定変更画面」といいます。撮影設定変更画面では、主な機能の設定を変更できます。設定の変更方法は以下の通りです。

ボタンを押して情報画面を表示する

（ ）ボタンを押す

- 選択中の項目が黄色で強調表示されます。

**ヒント　ボタン以外の方法で情報画面を表示するには**

情報画面は、以下の場合にも表示されます。

- 再生時以外の場合に （ ）ボタンを押したとき
- 発光禁止オートモード以外の場合に、 ボタンを押したとき
- / **Fn** ボタンを押したとき（撮影モード **P S A M**以外での撮影時、カスタムメニュー［11： / **Fn** ボタンの機能］(P.112) で / **Fn** ボタンの機能をホワイトバランス設定に変更している場合を除く）
- 撮影モード**P**、**S**、**A**での撮影時に ボタンを押したとき
- 情報画面の自動表示（P.121）を［自動表示する］に設定した場合に、シャッターボタンを半押しして放したとき
- 電源をONにした直後

## 3

マルチセレクターの上（または右）、下（または左）を押して設定を変更したい項目を選ぶ

- 撮影モードなど、カメラの設定によっては設定を変更できない項目があります。

## 4

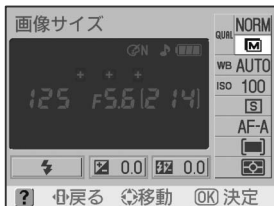
OK ボタンを押す

- ステップ3で選んだ項目の設定変更画面に移ります。

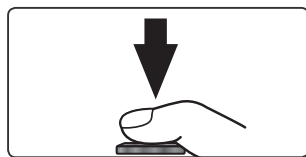
## 5

マルチセレクターの上または下を押して設定内容を選ぶ

- 選択中の項目が黄色で強調表示されます。
- 🔍（◀i▶）ボタンを押すと、決定せずにステップ3に戻ります。

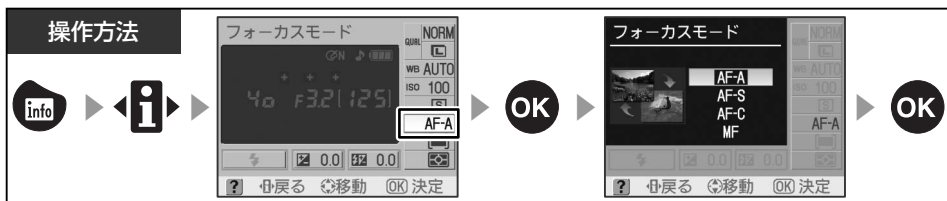
## 6

OK ボタンを押す

- ステップ5で選んだ内容が有効になり、ステップ3の画面に戻ります。

## 7

シャッターボタンを押すと撮影できます

- シャッターボタンを押している間は、液晶モニターは消灯します。
- シャッターボタンを押さずに 🔍（◀i▶）ボタンを押すと、ステップ1に戻ります。

# オートフォーカスで撮影する

## ピントの合わせ方を選ぶ

フォーカスモード（ピントの合わせ方）を以下の４種類から選ぶことができます。

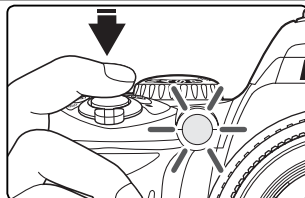
| | | |
|---|---|---|
| AF-A | **AFサーボモード自動切り換え**（初期設定） | 下記のAF-SとAF-Cをカメラが自動的に切り換えます。被写体が静止しているとカメラが判断したときはAF-S、動いているとカメラが判断したときはAF-Cになります。 |
| AF-S | **シングルAFサーボ※** | 静止している被写体の撮影に適した「シングルAFサーボ」モードです。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合ったとカメラが判断した時点でフォーカスがロックされます。 |
| AF-C | **コンティニュアスAFサーボ※** | 動いている被写体の撮影に適した「コンティニュアスAFサーボ」モードです。シャッターボタンを半押ししている間、カメラは被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。 |
| MF | **マニュアルフォーカス** | マニュアルフォーカスになり、カメラはピント合わせを行いません。マニュアルフォーカスでの撮影方法についてはP.38をご覧ください。 |

※撮影モード**P S A M**で選択

### [AF-C] コンティニュアスAFサーボについてのご注意

[AF-C] は、シャッターチャンスを逃さないために、[AF-S] よりもシャッターのきれるピントの範囲が広くなっています。このため、ファインダー内下部のピント表示●が点灯する前にシャッターがきれることがあります。[AF-A] に設定していて自動で [AF-C] に切り換わった場合でも、同様の動作をします。

### ヒント　AF補助光について

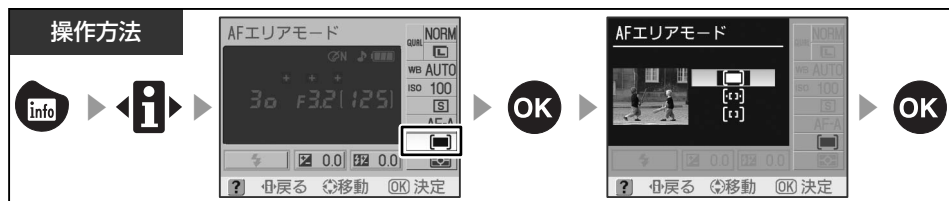
被写体が暗い場合などにシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのために、AF補助光が自動的に点灯します。ただし、フォーカスモードが [AF-C] または [MF] のとき、撮影モードが 風景 または スポーツ のときや、中央以外のフォーカスエリアが選択されているとき、カスタムメニュー [9：内蔵AF補助光の照射]（P.110）が[OFF]のときは、点灯しません。

- 使用できるAFレンズの焦点距離は24－200mm、AF補助光が届く距離の目安は約0.5～3mです。
- AF補助光使用時は、レンズフードを取り外してください。

### ヒント　マニュアルフォーカスの設定について

フォーカスモードを [MF]（マニュアルフォーカス）に設定すると、どの撮影モードに切り換えても、フォーカスモードの設定は [MF] のまま保持され、リセットされません。

### 関連ページ

カスタムメニューでフォーカスモードを切り換える → 2：フォーカスモード（P.108）

## AFエリアモードを変更する

ピントを合わせるフォーカスエリアを、カメラがどのように選択するかを、以下の３種類から選べます。

| | | |
|---|---|---|
| [▬] | **至近優先ダイナミックAFモード※1** | いちばん近くにある主要被写体をカメラが自動的に認識し、その被写体を含むフォーカスエリアを使ってピントを合わせます。 |
| [·[·]·] | **ダイナミックAFモード※2** | 自分で選んだフォーカスエリア（P.35）から被写体が一時的に外れてしまった場合でも、他のフォーカスエリアを使って同じ被写体をとらえ続けます。不規則な動きをする被写体の撮影に効果的です。 |
| [[·]] | **シングルエリアAFモード※3** | フォーカスエリアを自分で選び（P.35）、そのエリアだけを使ってピントを合わせます。静止している被写体の撮影に適しています。 |

※１　撮影モード AUTO **P S A M** の初期設定
※２　撮影モード の初期設定
※３　撮影モード の初期設定

### ☑ AFエリアモードについてのご注意

フォーカスモード（P.33）が[MF]（マニュアルフォーカス）になっているときは、AFエリアモードを設定することができません。

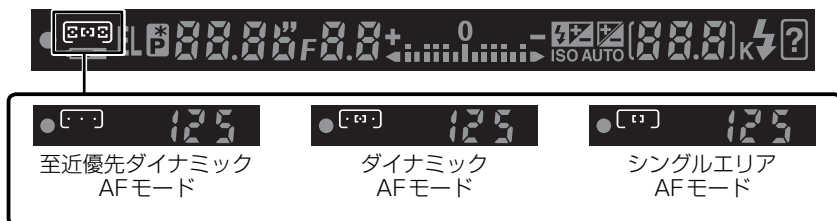
### ヒント　AFエリアモードの設定について

デジタルイメージプログラムで設定したAFエリアモードは、撮影モードダイヤルを切り換えるとリセットされます。

### ヒント　AFエリアモードのファインダー内表示について

設定したAFエリアモードは、ファインダー内下部で確認できます。AFエリアモードは、以下のように表示されます。

### 関連ページ

カスタムメニューでAFエリアモードを切り換える　→　３：AFエリアモード（P.108）

## フォーカスエリアを自分で選ぶ

| 操作方法 | マルチセレクター |
|---|---|

このカメラには、3つのフォーカスエリア（自動でピント合わせを行う領域）があります。初期設定では、カメラが自動的に選んだフォーカスエリア、または中央のフォーカスエリアでピント合わせを行いますが、構図を工夫して撮影したいときなどには、特定のフォーカスエリアを選ぶことができます。

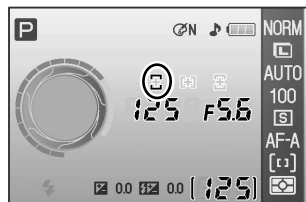
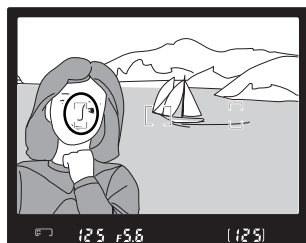
### フォーカスエリアの選びかた

**1** 撮影設定変更画面を表示して、[AFエリアモード]を[シングルエリアAFモード]か[ダイナミックAFモード]にする（P.34）

- 撮影モード AUTO P S A M の初期設定は[至近優先ダイナミックAFモード]なので、設定の変更が必要です。

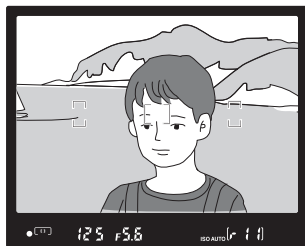
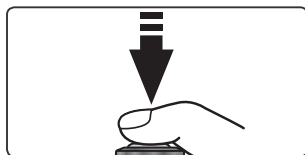
**2** ファインダーを見ながらマルチセレクターの右または左を押してフォーカスエリアを選ぶ

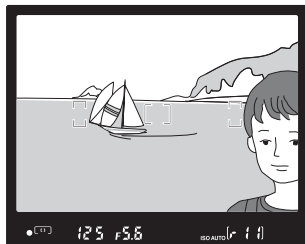
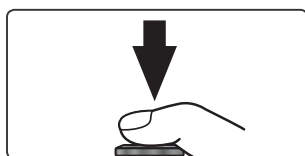
- 選んだフォーカスエリアは、選択したときやシャッターを半押ししたときに、ファインダー内で赤く表示されます。

- 選んだフォーカスエリアは情報画面にも表示されます。

## ピントを固定して撮影する（フォーカスロック撮影）

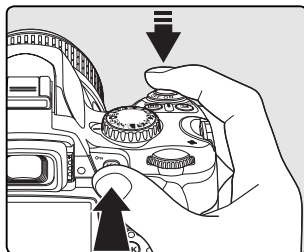
ピントを合わせたい被写体が３つのフォーカスエリアに入らない場合や、次ページの「オートフォーカスの苦手な被写体」を撮影する場合には、以下のようにピントを固定（フォーカスロック）して撮影します。フォーカスロック撮影を行うときは、[AFエリアモード]（P.34）を[シングルエリアAFモード]か[ダイナミックAFモード]に設定することをおすすめします。

**1** ピントを合わせたい被写体に、マルチセレクターで選んだフォーカスエリアを重ね、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、ファインダー内下部にピント表示●が点灯します。
- シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます。これを「フォーカスロック」といいます。
- フォーカスロックは、中央以外のフォーカスエリアでも可能です。

**2** フォーカスロックを行ったままで構図を変え、シャッターボタンを深く押し込んで撮影する

- 被写体との距離は変えないでください。

## AE-L/AF-L ボタンを使ったフォーカスロック撮影について

シャッターボタンの半押しを続ける代わりに、AE-L/AF-L ボタンでフォーカスロックを維持することもできます。

- シャッターボタンを半押ししてピントが合った状態で AE-L/AF-L ボタンを押すと、ピントが固定されます。AE-L/AF-L ボタンを押し続けている間、フォーカスロックが維持されます。

### ✓ フォーカスロック撮影についてのご注意

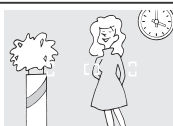
撮影モードが (P.28) のとき、連写モード (P.42) のとき、およびフォーカスモード (P.33) が［AF-C］（コンティニュアスAFサーボ）、または［AF-A］（AFサーボモード自動切り換え）に設定していて自動で［AF-C］に切り換わった場合は、シャッターボタンを使ってフォーカスロック撮影することはできません。AE-L/AF-L ボタンを使ってフォーカスロック撮影を行ってください。

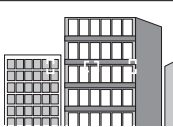
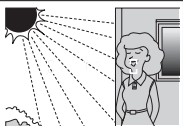
### ヒント　ピントを固定したまま繰り返し撮影したいときは

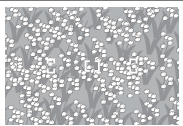
シャッターボタンの半押しでフォーカスロックした場合は、シャッターをきった後、シャッターボタンを半押しの状態に戻し、そのままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。AE-L/AF-L ボタンでフォーカスロックを行った場合は、AE-L/AF-L ボタンを押したままもう一度シャッターボタンを押し込んでください。

### ヒント　オートフォーカスの苦手な被写体について

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができず、シャッターがきれないことや、ピントが合わなくてもピント表示●が点灯し、電子音が鳴ってシャッターがきれることがあります。
このような場合は、マニュアルフォーカス (P.38) でピントを合わせるか、フォーカスロックを利用してください。

被写体の明暗差がはっきりしない場合
（背景と同じ色の服を着ている人物など）

遠くのものと近くのものが混在する場合
（オリの中の動物など）

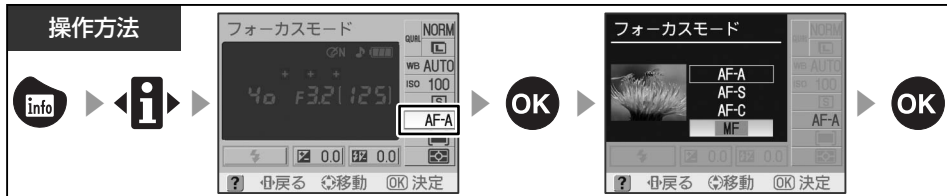
連続した繰り返しパターンの被写体
（ビルの窓など）

被写体の明暗差が極端に異なる場合
（太陽を背景にした日陰の人物など）

背景に対してメインの被写体が小さい場合
（遠くの建物を背景に近くの人物を撮影する場合など）

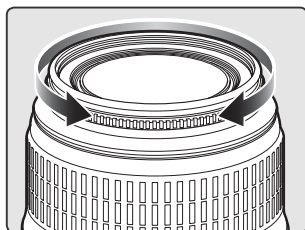
絵柄が細かい場合
（一面の花畑など）

### 関連ページ

AE-L/AF-L ボタンの機能を変更する　→ 12：AE-L/AF-L ボタンの機能 (P.112)

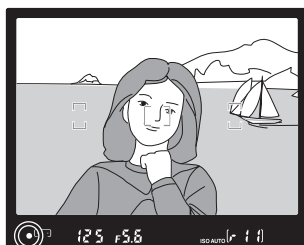
# ピントを手動（マニュアル）で合わせる

**操作方法**

info ▶ ◀i▶ ▶ フォーカスモード AF-A ▶ OK ▶ フォーカスモード AF-A / AF-S / AF-C / MF ▶ OK

ピントを手動（マニュアル）で合わせたいときや、オートフォーカスではピントが合わないとき、またはオートフォーカスを使用できない場合は、マニュアルでピント合わせが行えます。

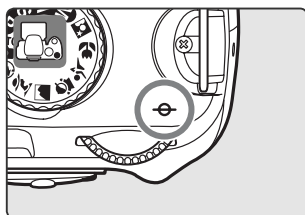
- ピントは、レンズのフォーカスリングを回して、ファインダー内のメインの被写体が鮮明に見えるように合わせます。
- A-M切り換え方式のレンズを取り付けたときは、レンズ側の設定も**M**にしてください。**M/A**（マニュアル優先オートフォーカス）モード機能付きのレンズを取り付けたときは、レンズ側は**M/A**または**M**のどちらの設定でもマニュアルフォーカスが可能です。詳しくはレンズの使用説明書をご覧ください。

**ヒント　フォーカスエイド**

開放絞り値がF5.6以上の明るいレンズ（絞りの最も小さい数値がF5.6以下のレンズ）を使ってマニュアルフォーカスで撮影するときは、ファインダー内下部のピント表示●でピントが合っているかどうかを確認できます。

- ピントが合うとピント表示●が表示されます。
- オートフォーカスの苦手な被写体（P.37）では、ピントが合っていなくてもピント表示●が点灯することがありますので、ファインダースクリーンの像でピントが合っていることを確認してください。

**ヒント　距離基準マーク**

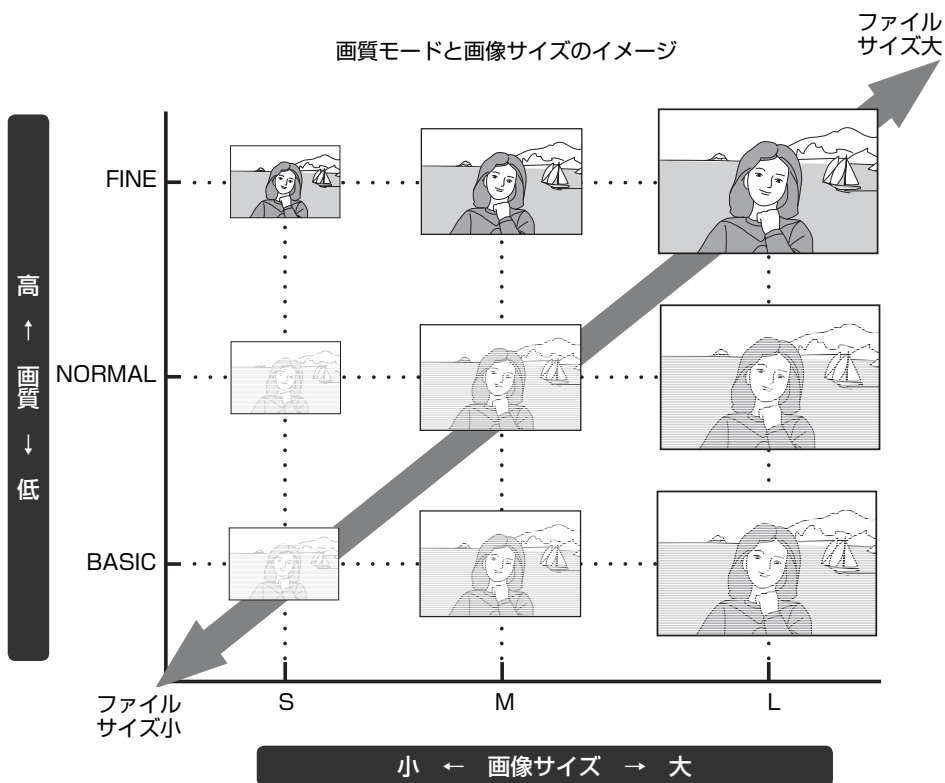
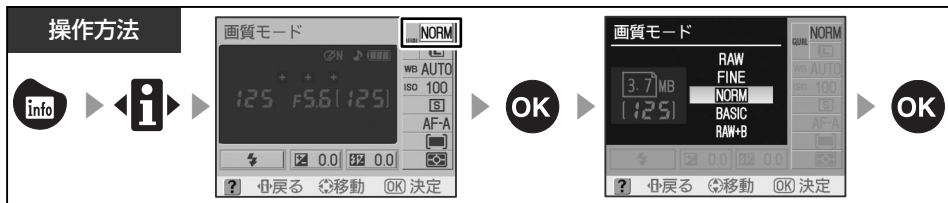
距離基準マーク ⊖ は撮影距離の基準となるマークで、カメラ内の撮像面の位置を示します。マニュアルフォーカスや接写などでカメラから被写体までの距離を実測する場合、このマークが基準となります。レンズマウント（レンズ取り付け面）から撮像面までの寸法（フランジバック）は46.5mmです。

**関連ページ**

カスタムメニューでマニュアルフォーカスモードに切り換える　→　2：フォーカスモード（P.108）

# 画質や画像のサイズを変更する

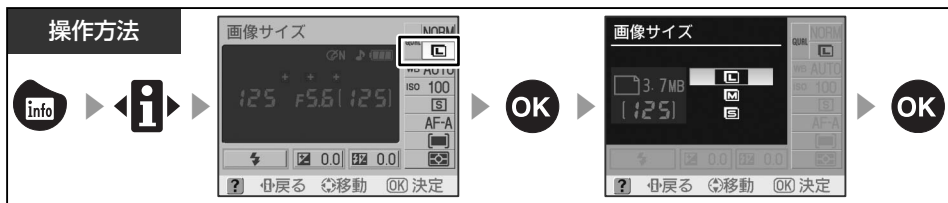
SDカードに記録する画像の、画質（画像データの圧縮率）と画像サイズを変更します。画像の用途や、SDカードの残量に合わせて設定してください。

一般的に、画質が高く、画像サイズが大きいほど、画像データのファイルサイズは大きくなります。より精細な画像を大きくプリントすることができますが、SDカードに記録できるコマ数は少なくなります。

データ　1枚のSDカードで撮影できる記録可能コマ数　→　付録—資料集（P.179）

## 画質モード

画質モードは、以下の５種類から選べます。

| 画質モード | | ファイル形式 | 説明 |
|---|---|---|---|
| RAW | 高 | NEF | 撮像素子の生データを圧縮して記録します。画像をパソコンに転送して加工したり、パソコンを使ってプリントする場合にお使いください。 |
| FINE | ↑ | JPEG | [NORMAL]よりも精細な画像になります。画像データは約1/4に圧縮されます。 |
| NORMAL（初期設定） | 画質 | | 通常はこの画質モードで撮影します。画像データは約1/8に圧縮されます。 |
| BASIC | ↓ 低 | | ファイルサイズが最も小さく、電子メールに添付する場合などに適しています。画像データは約1/16に圧縮されます。 |
| RAW+B（RAW+BASIC） | | NEF+JPEG | RAWとBASICの、２種類の画像を同時に記録します。 |

## 画像サイズ

画像サイズは、以下の３種類から選べます。プリントしたい大きさなどに合わせて設定してください。

| 画像サイズ | | 画像ファイルの大きさ | プリント時の大きさ（出力解像度200dpiの場合） |
|---|---|---|---|
| L（初期設定） | 大 | 3872×2592ピクセル | 約49.2×32.9cm |
| M | サイズ | 2896×1944ピクセル | 約36.8×24.7cm |
| S | 小 | 1936×1296ピクセル | 約24.6×16.5cm |

### ✅ 画質モード[RAW]についてのご注意

- 画像サイズは設定できません。情報画面にも画像サイズは表示されません。
- RAW画像ファイルは、付属のPictureProjectまたは別売のCapture NX（P.157）を使ってパソコンで再生できます。この際、画像サイズは[L]になります。
- RAW画像ファイルを再生する場合、Capture NXは必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。ご使用のパソコンがインターネットに接続していれば、ソフトウェアの起動時にニコンメッセージセンター（Nikon Message Center）が自動的に更新情報をチェックします。
- ダイレクトプリントやプリントサービス店でのプリントはできません。

### ✅ 画質モード[RAW+B（RAW+BASIC）]についてのご注意

- カメラでの再生時には、BASIC画像だけが表示されます。
- BASIC画像をカメラで削除すると、RAW画像も同時に削除されます。
- BASIC画像の画像サイズは[L]に固定され、変更できません。

### ヒント ファイル名について

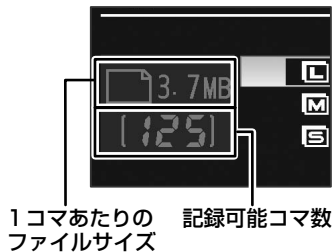
このカメラで撮影した画像には、DSC_nnnn.xxxという名前が付けられます。

**ファイル名**：nnnnには撮影順に、0001～9999の数字が入ります。

**拡張子**：画質モードによって異なります。
- RAWの場合：「NEF」
- FINE、NORMAL、BASICの場合：「JPG」
- イメージダストオフデータ（P.128）の場合：「NDF」

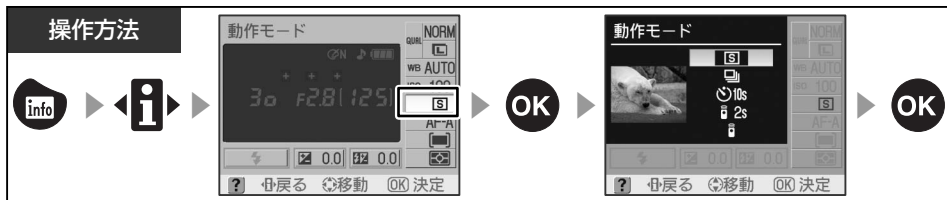
- 画質モード[RAW+BASIC]で撮影した場合、同じファイル名で、拡張子が「NEF」（RAW画像）と「JPG」（BASIC画像）の2つのファイルが同時に作成されます。
- 画像編集メニューの［D-ライティング］（P.134）、［赤目補正］（P.135）、［トリミング］（P.136）、［モノトーン］（P.137）、［フィルター効果］（P.138）で作成した画像のファイル名は「CSC_nnnn」、拡張子は「JPG」となります。
- 画像編集メニューの［スモールピクチャー］（P.139）で作成したスモールピクチャーのファイル名は「SSC_nnnn」、拡張子は「JPG」となります。
- 撮影メニューの[仕上がり設定]→[カスタマイズ]→[カラー設定]（P.98）を[モードⅡ（Adobe RGB)]にした場合は、ファイル名がそれぞれ「_DSCnnnn」、「_CSCnnnn」、「_SSCnnnn」となります。ただし、イメージダストオフデータは、カラー設定にかかわらず「DSC_nnnn」となります。

### ヒント ファイルサイズと記録可能コマ数

画質モードと画像サイズの撮影設定変更画面では、選択中の画質モードと画像サイズの組み合わせで撮影した場合の、1コマあたりの最大のファイルサイズと、記録できるおおよそのコマ数が表示されます。いずれの値も実際に撮影したときの値と異なる場合があります。記録される平均的な1コマあたりのファイルサイズは、「画質モード・画像サイズと記録・連続撮影可能コマ数」（P.179）を参照してください。

### 関連ページ

撮影メニューで画質モードと画像サイズを設定する → 画質モード（P.99）、画像サイズ（P.99）

コマンドダイヤルで画質モードと画像サイズを設定する → 11：⏲/Fn ボタンの機能（P.112）

# 動作モード：連写、セルフタイマー撮影、リモコン撮影する

動作モードでは、カメラが画像を撮影する方法を以下の５種類から選べます。

| | | |
|---|---|---|
| S | **単写**（１コマ撮影）（初期設定） | シャッターボタンを押すたびに１コマずつ撮影し、SDカードに記録します。 |
| 連写アイコン | **連写**（連続撮影） | シャッターボタンを押している間、約３コマ/秒（最高※）で連写します。 |
| 10s | **セルフタイマー**（P.43） | シャッターボタンを押し込むとタイマーが作動し、約10秒後に撮影します。 |
| 2s | **２秒リモコン**（P.43） | リモコンの送信ボタンを押すと、２秒後に撮影します。 |
| リモコンアイコン | **瞬時リモコン**（P.43） | リモコンの送信ボタンを押すと、すぐに撮影します。 |

※ 連写（連続撮影）速度は、フォーカスモード［MF］、撮影モード **S** または **M**、1/250秒以上の高速シャッタースピードで、その他が初期設定のときの値です。

### ☑ 連写についてのご注意

• フラッシュが発光する撮影条件では、動作モードを［連写］にしても、連写はできません。撮影モードを（発光禁止オート）にするか、フラッシュモードを変更する（P.46）など、フラッシュが発光しないようにすれば、連写できるようになります。

### ヒント　連続撮影可能コマ数の表示

シャッターボタンを押している間、連続撮影可能コマ数（連写速度を維持したまま続けて撮影できるコマ数）が、ファインダー内下部に表示されます。右図の場合、連写速度を維持したままで、あと最低11コマ続けて撮影できることを示しています。

• 連写時は、最大100コマまで連続撮影できます。ただし、［r00］になると、連写速度が低下します。

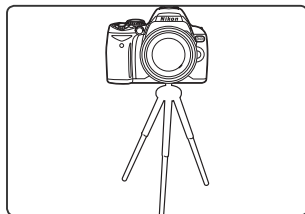
• 表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその目安です。撮影条件によって増減することがあります。

## セルフタイマーやリモコンを使って撮影する

記念写真など、自分も一緒に写りたいときは、セルフタイマーや別売のリモコン（ML-L3）をお使いください。

### セルフタイマー／リモコン撮影の手順

1　三脚などでカメラを固定する

- リモコンは、カメラから5m以内の距離でお使いください。

2　情報画面で設定したい動作モードに合わせる

**ヒント　セルフタイマーボタンでセルフタイマーに切り換える**

（セルフタイマー）ボタンを押しても、セルフタイマーに切り換えることができます（カスタムメニュー［11：/ Fn ボタンの機能］（P.112）が初期設定の［セルフタイマー］の場合）。

ボタンを押すと、情報画面の動作モードアイコンがセルフタイマーに変わります。

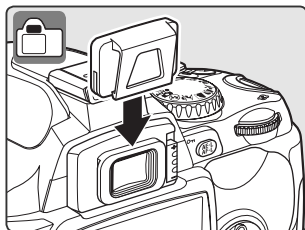
**関連ページ**

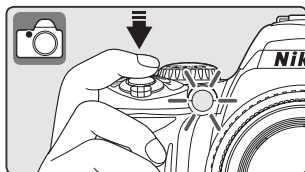
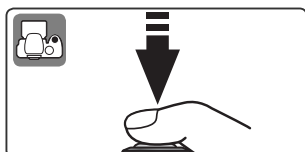
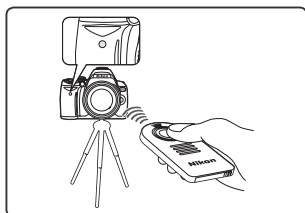
画質モード・画像サイズと記録・連続撮影可能コマ数　→　付録ー資料集（P.179）
カスタムメニューで動作モードを切り換える　→　4：動作モード（P.108）

## 3 構図を決める

- リモコン撮影時にオートフォーカスで撮影を行う場合、ここでカメラのシャッターボタンを半押しすることで、あらかじめピントを合わせておくことができます。ただし、カメラのシャッターボタンでシャッターをきることはできません。

## 4 接眼目当てDK-16を外し、付属のアイピースキャップDK-5を、右図のように取り付ける

- ファインダーから余計な光が入り、露出が変わることを防ぎます。

## 5 撮影をはじめる

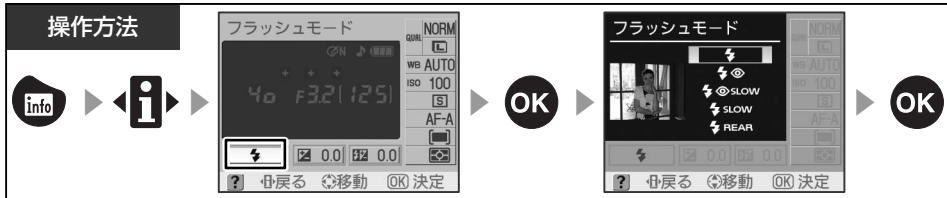
- **セルフタイマー撮影の場合**：シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、深く押し込んでください。
  タイマーが作動し、セルフタイマーランプ（AF補助光）が点滅します。撮影２秒前になると点灯に変わります。

- **リモコン撮影の場合**：リモコンの送信部をカメラのリモコン受光部に向け、送信ボタンを押してください。

## 6 シャッターがきれる

- セルフタイマー撮影の場合はピントが合ってから10秒後にシャッターがきれます。
- 2秒リモコンモードの場合、ピントが合うと、約2秒間セルフタイマーランプが点灯してからシャッターがきれます。
- 瞬時リモコンモードの場合、ピントが合うとすぐにシャッターがきれます。



**ヒント　セルフタイマーの解除について**

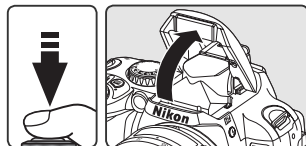
- 作動中のタイマーを解除するには、電源をOFFにしてください。
- タイマーの解除後およびセルフタイマーの撮影後、動作モードは［単写］または［連写］に戻ります。

# 内蔵フラッシュを活用する

撮影状況に合わせて、内蔵フラッシュの発光方式（フラッシュモード）を変更することができます。フラッシュ撮影の手順や、設定できるフラッシュモードは、撮影モード※によって異なります。

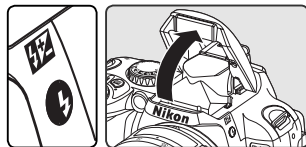
※撮影モード では、内蔵フラッシュは発光しません。フラッシュモードを変更することもできません。

## 内蔵フラッシュ撮影の手順

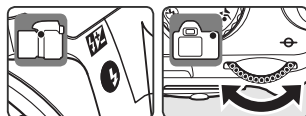
### 撮影モード

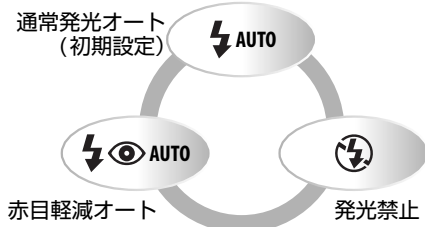
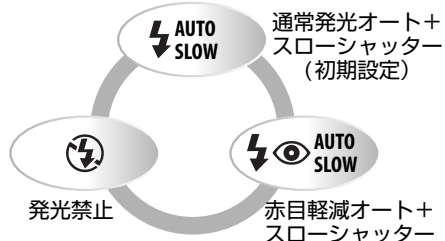
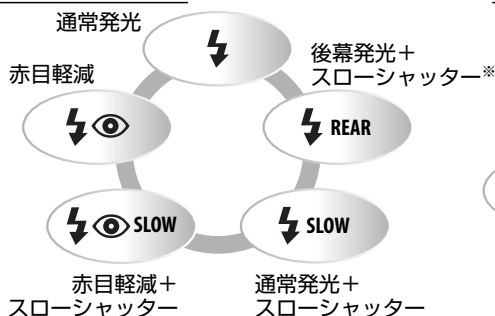
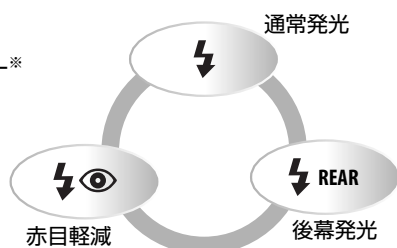
① 撮影モードを設定する
② フラッシュモードを設定する（P.47）
③ シャッターボタンを半押しする

必要に応じて自動的に内蔵フラッシュが上がり、発光します。フラッシュが不要な場合はフラッシュは上がらず、発光もしません。内蔵フラッシュを発光させたくないときは、フラッシュモードを発光禁止にしてください（P.47）。

### 撮影モード P S A M

① 撮影モードを設定する
② ボタンを押して、内蔵フラッシュを上げる
③ フラッシュモードを設定する（P.47）
④ 測光モードや露出を決定してから、撮影する

内蔵フラッシュを上げているときは、周囲の明るさなどにかかわらず、フラッシュは常に発光します。発光させないようにするには、内蔵フラッシュを収納（P.48）してください。

**ヒント コマンドダイヤルでの設定方法**

フラッシュモードは、コマンドダイヤルを使って変更することもできます。ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、情報画面のフラッシュモード表示が、撮影モードに応じた内容で変化します。設定したいフラッシュモードに合わせてください。撮影モード**P S A M**では、ボタンを押すと内蔵フラッシュが上がるので、ボタンを押し直してフラッシュモードを設定してください。

## 各撮影モードで設定できるフラッシュモード

フラッシュモードは撮影モードによって以下のように異なります。フラッシュモードの意味については、下記ヒントをご覧ください。

※ フラッシュモードの設定操作中は、**SLOW**の文字は表示されません。

**ヒント　フラッシュモードの意味**

フラッシュモードの用語には、それぞれ以下のような意味があります。

- **AUTO**（オート）：暗いときや逆光のときに、必要に応じて自動的に内蔵フラッシュが上がって発光します。
- （赤目軽減）：フラッシュが発光する前に、AF補助光ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。人物撮影に適しています。
- **SLOW**（スローシャッター）：背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードが遅くなります。夜景をバックにした人物撮影などに適しています。
- **REAR**（後幕発光）：シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。動いている被写体の後方に流れる光などを表現したい場合などに適しています。この表示が無いフラッシュモードでは、シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。

**ヒント　フラッシュモードの設定について**

デジタルイメージプログラムで設定したフラッシュモードは、電源をOFFにしたり撮影モードダイヤルを切り換えると初期設定にリセットされます。

ヒント **後幕発光とは**

通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光します（先幕発光）が、後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光するため、動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したい場合などに適しています。

先幕発光

後幕発光

## 内蔵フラッシュの収納

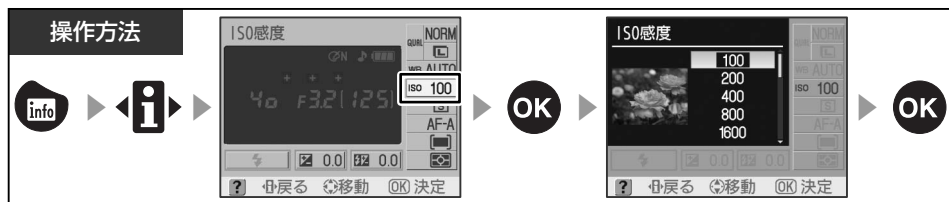
内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げてください。バッテリーの消耗を防ぐため、フラッシュを使わないときは常に収納してください。

### 内蔵フラッシュについてのご注意

- 内蔵フラッシュを使って撮影するときは、被写体から60cm以上離れてください。
- 内蔵フラッシュ撮影が可能なレンズは、焦点距離が18－300mmのCPUレンズと、焦点距離が18－200mmの非CPUレンズです。詳しくは「付録―使用できるアクセサリー」（P.146、147）をご覧ください。フラッシュの光がさえぎられることがあるので、レンズフードは外してください。また、マクロ付きズームレンズのマクロ領域ではお使いになれません。
- 内蔵フラッシュ撮影時は、連写モード（P.42）に設定しても、連写はできません。
- 内蔵フラッシュを連続して使うと、発光部を保護するため、一時的に発光が制限され、シャッターがきれなくなる場合があります。少し時間をおくと再び使えるようになります。

### 関連ページ

外付けフラッシュ（スピードライト）を使って撮影する → 装着できるスピードライト（P.149）
フラッシュの発光量を微調整する → 【上級編】フラッシュ調光補正（P.63）
フラッシュ撮影時のISO感度を自動制御させる → 10：感度自動制御（P.110）
内蔵フラッシュをマニュアル発光させる → 14：内蔵フラッシュ発光（P.113）

# ISO感度を設定する

暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなり手ブレしやすくなりますが、ISO感度を標準（ISO100）よりも高くすれば、シャッタースピードが速くなり、手ブレしにくくなります。ISO感度はISO100～1600の間で、1段刻みで設定できます。また、ISO1600から、さらに約1段感度を上げることもできます（HI 1：ISO3200相当）。

- 設定できるISO感度は、撮影モードによって以下のように異なります。

| | |
|---|---|
| AUTO（撮影モードアイコン） | AUTO（オート、初期設定）、100～1600、HI 1 |
| PSAM | 100（初期設定）～1600、HI 1 |

- [AUTO]に設定すると、カメラが自動的に100～1600の間でISO感度を決めます。

### ISO感度を［HI 1］に増感するときのご注意

ISO感度を［HI 1］に設定すると、ISO1600に対して約1段分増感します（ISO3200相当）。[HI 1］に設定した場合は、以下のことにご注意ください。

- ［HI 1］で撮影した画像には、ざらつき、色むら、色つきが発生しやすくなります。
- カスタムメニュー［10：感度自動制御］（P.110）を［しない］（初期設定）から［する］に変更していても、ISO感度を［HI 1］に設定すると、感度自動制御は行われません。

### ヒント ISO感度とは

フィルムカメラで使うフィルムのISO感度に相当します。一般的に、ISO感度を高くするほど、より高速のシャッタースピードで撮影できます（同じ被写体を同じ絞り値で撮影する場合）。このため、暗い場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効果的ですが、一方で、撮影した画像が多少ざらつく場合があります。

### ヒント ISO感度について

撮影モードダイヤルを**P S A M**からデジタルイメージプログラムに切り換えると、デジタルイメージプログラムのISO感度の設定は［AUTO（オート）］にリセットされます。

### 関連ページ

撮影メニューでISO感度を設定する → ISO感度（P.105）
撮影モード**P S A M**でISO感度を自動制御させる → 10：感度自動制御（P.110）
コマンドダイヤルでISO感度を設定する → 11：/ **Fn** ボタンの機能（P.112）

# 最初の設定に戻す（ツーボタンリセット）

カメラの撮影に関する設定を初期状態に戻すことができます。info ボタンと ⊕（◀i▶）ボタン（それぞれのボタンに緑色の●印が付いています）を同時に約2秒間押すと、液晶モニターがいったん消灯してから再点灯し、以下の撮影機能が初期設定状態に戻ります。

| 項目 | | 初期設定 |
|---|---|---|
| **画質モード**（P.40） | | NORMAL |
| **画像サイズ**（P.40） | | サイズL |
| **ホワイトバランス**（P.64） | | オート |
| | **微調整値**（P.100） | 0（解除） |
| **ISO感度**（P.49） | | |
| 撮影モード | AUTO | AUTO（オート） |
| 撮影モード | P S A M | 100 |
| **動作モード**（P.42） | | 単写 |
| **フォーカスモード**（P.33） | | AF-A（AFサーボモード自動切り換え） |
| **AFエリアモード**（P.34） | | |
| 撮影モード | AUTO | 至近優先ダイナミックAFモード |
| 撮影モード | | ダイナミックAFモード |
| 撮影モード | | シングルエリアAFモード |
| 撮影モード | P S A M | 至近優先ダイナミックAFモード |

| 項目 | | 初期設定 |
|---|---|---|
| **測光モード**（P.59） | | マルチパターン測光 |
| **フラッシュ調光補正**（P.63） | | OFF（0.0） |
| **露出補正**（P.62） | | OFF（0.0） |
| **フラッシュモード**（P.47） | | |
| 撮影モード | AUTO | 通常発光オート |
| 撮影モード | | 通常発光オート＋スローシャッター |
| 撮影モード | P S A M | 通常発光 |
| **プログラムシフト**（P.54） | | （解除） |

# 【上級編】PSAMモードで撮影する

いよいよ【上級編】です。ここでは、撮影モード**PSAM**だけで使うことができる高度な機能について説明しています。


| | |
|---|---|
| シャッタースピードと絞りをカメラまかせにして、気軽に撮影したい | 撮影モードP（プログラムオート）：P.54 |
| 動きの速い被写体をとらえたい<br>被写体の動きを強調したい | 撮影モードS（シャッター優先オート）：P.55 |
| 背景の奥行きやぼかし方を調整したい | 撮影モードA（絞り優先オート）：P.56 |
| シャッタースピードと絞りを自分で設定したい | 撮影モードM（マニュアル）：P.57 |
| カメラが被写体の明るさを測る方法を設定したい | 測光モード：P.59 |
| 画像を明るく／暗くしたい | 露出補正：P.62 |
| フラッシュの発光量を微調整したい | フラッシュ調光補正：P.63 |
| 画像の色を見た目と合わせたい<br>特殊な照明の下で撮影したい | ホワイトバランス：P.64 |


【設定編】にも、撮影モード**PSAM**で利用できる機能があります。


| | |
|---|---|
| 撮影意図に合わせて画像の仕上がりを調整したい | 仕上がり設定：P.97 |

# 撮影モード PSAM について

撮影モード **PSAM**では、シャッタースピードや絞りを自分で設定できるほか、ホワイトバランスなどを変更して、さらに高度な撮影を楽しむことができます。

## 撮影モード PSAMの違い

撮影の意図に応じて、シャッタースピードと絞りのそれぞれを自分で設定するか、カメラまかせにするかによって、以下の４つの撮影モードを使い分けてください。

| | |
|---|---|
| **P** **プログラムオート** | シャッターチャンスを逃したくないスナップ撮影などに使います。シャッタースピードと絞りの両方をカメラが自動制御します。 |
| **S** **シャッター優先オート** | 被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッタースピードを自分で設定し、絞りはカメラが自動制御します。 |
| **A** **絞り優先オート** | 背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞りを自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。 |
| **M** **マニュアル** | シャッタースピードと絞りの両方を自分で設定します。長時間露光（バルブ）撮影も、このモードで行います。 |

それぞれのモードでの撮影手順については、次ページ以降をご覧ください。

### 撮影モードＰＳＡＭについてのご注意

- CPUレンズ（Gタイプレンズを除く）の絞りリングは、必ず最小絞り（最大値）にセットしてください。CPUレンズはすべての撮影モードでお使いになれます。
- 非CPUレンズは、撮影モード **M**でだけお使いになれます。絞りの設定や確認はレンズの絞りリングで行ってください。カメラの露出計はお使いになれません。詳しくは「付録：装着できるレンズ」（P.145）をご覧ください。

### 関連ページ

露出を固定して撮影する　→　AEロック撮影（P.60）

### ヒント　シャッタースピードと絞りについて

シャッタースピードと絞りを調整して、画像が意図した明るさ（露出）で撮影されるようにすることを、「露出を合わせる」といいます。同じ露出の画像でも、シャッタースピードと絞りの組み合わせによって、撮影される画像の流動感や背景のぼかし具合などが変わってきます。

シャッタースピード　　絞り値

速いシャッタースピードのとき

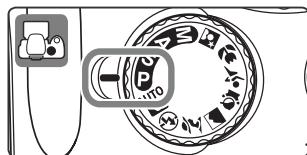
遅いシャッタースピードのとき

絞りを絞り込んだとき
（絞り値が大きいとき）

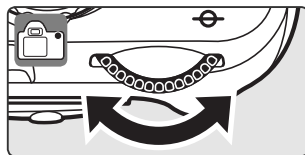
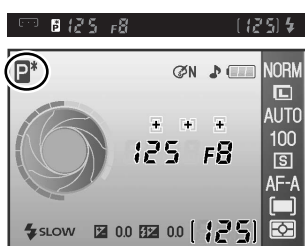
絞りを開いたとき
（絞り値が小さいとき）

## P：プログラムオートでの撮影方法

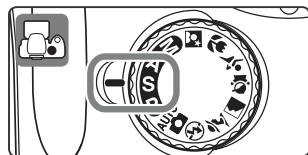
被写体の明るさに応じて、露出が適正になるようにカメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。シャッターチャンスを逃したくないスナップなど幅広い撮影に適しています。

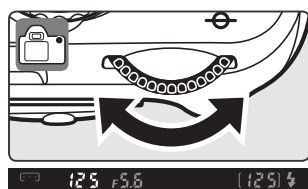
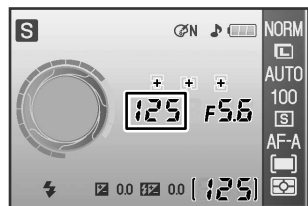
1 撮影モードダイヤルを**P**に合わせる

2 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

**ヒント　プログラムシフト**

撮影モード **P**で撮影中にコマンドダイヤルを回すと、露出を一定にしたままシャッタースピードと絞りの組み合わせを変えることができます。これを「プログラムシフト」といいます。プログラムシフト中はファインダー内下部と情報画面に P*（P*）マークが点灯します。

- 背景をぼかしたい（絞り値を小さく設定したい）場合や動きの速い被写体を撮影したい（速いシャッタースピードを設定したい）場合にはコマンドダイヤルを右に回してください。
- 近くから遠くまでピントの合った写真を撮影したい（絞り値を大きく設定したい）場合や被写体の動きを強調したい（遅いシャッタースピードを設定したい）場合にはコマンドダイヤルを左に回してください。
- プログラムシフトを解除するには、P*（P*）マークが消灯するまでコマンドダイヤルを回してください。電源をOFFにしたときや、他の撮影モードに切り換えたときも、プログラムシフトは解除されます。

## S：シャッター優先オートでの撮影方法

シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。動きの速い被写体の撮影や、遅いシャッタースピードで被写体の動きを強調する撮影に適しています。

**1** 撮影モードダイヤルを**S**に合わせる

**2** シャッタースピードを設定する

- コマンドダイヤルを回すと、ファインダー内下部のシャッタースピード表示が変化します。設定したいシャッタースピード（30秒～1/4000秒）に合わせてください。

- シャッタースピードは情報画面（info ボタンを押して表示します）でも確認できます。

**3** 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

**ヒント　手ブレを防ぐには**

手ブレ（カメラを持つ手が動いて画像がブレること）を防ぐには、一般的にシャッタースピードを「1 ÷（装着しているレンズの焦点距離）」秒より高速側にします。たとえば300mmレンズの場合、シャッタースピードを1/300秒より高速にすると、手ブレをある程度防ぐことができます。このほか、以下の方法で手ブレを軽減することもできます。

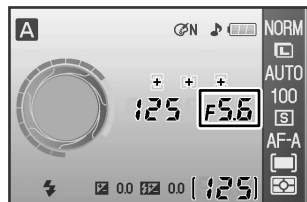
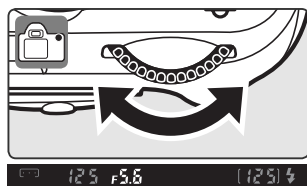
- ISO感度（P.49）を上げる
- 内蔵フラッシュ（P.46）や別売スピードライト（P.149）を使う
- 三脚を使う
- VR（手ブレ補正）レンズを使う

## A：絞り優先オートでの撮影方法

絞りを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。絞りを絞り込む（絞り値を大きくする）ことによって、近くから遠くまでピントの合った写真を撮影したり、絞りを開く（絞り値を小さくする）ことによって草花や人物の背景をぼかして撮影するなど、背景のぼかし方を調節して撮影する場合に適しています。

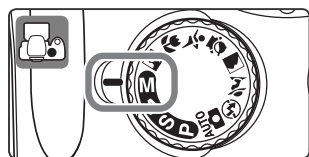
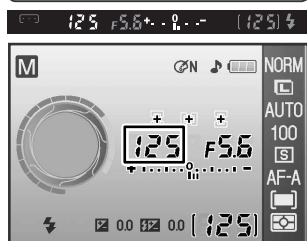
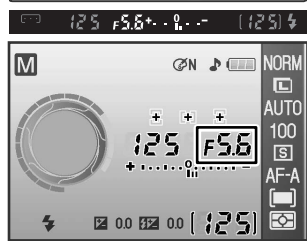
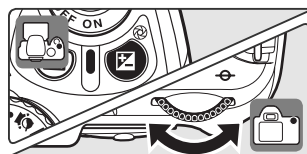
**1** 撮影モードダイヤルを**A**に合わせる

**2** 絞り値を設定する

- コマンドダイヤルを回すと、ファインダー内下部の絞り値表示が変化します。設定したい絞り値に合わせてください。
- 設定できる最小絞り、開放絞りはレンズによって異なります。
- 絞り値は情報画面（info ボタンを押して表示します）でも確認できます。

**3** 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

## M：マニュアルでの撮影方法

シャッタースピードと絞りの両方を自分で決定します。花火や星空などを長時間露光（バルブ、P.58）で撮影する場合にもこの撮影モードを使います。

1 撮影モードダイヤルを**M**に合わせる

2 露出インジケーター（P.58）を確認しながら、シャッタースピードと絞り値を設定する

シャッタースピードの設定

絞り値の設定

- コマンドダイヤルを回すと、ファインダー内下部と情報画面（info ボタンを押して表示します）のシャッタースピード表示が変化します。設定したいシャッタースピード（bulb または30秒～1/4000秒）に合わせてください。bulb は長時間露光撮影（P.58）のときに使います。
- ☒（㊀）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ファインダー内下部と情報画面の絞り値表示が変化します。設定したい絞り値に合わせてください。
- シャッタースピードと絞り値は、どちらを先に設定しても構いません。

3 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

## 長時間露光撮影の方法

長時間露光撮影には、バルブ撮影とタイム撮影の２種類があります。花火や夜景、天体写真の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに使います。長時間露光撮影では、手ブレを抑えるために三脚や別売のリモコンML-L3が必要です。

| | |
|---|---|
| **バルブ撮影** | シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままになり、シャッターボタンを放すとシャッターが閉じます。<br>撮影モード**M**でシャッタースピードを bulb にすると、バルブ撮影ができます。 |
| **タイム撮影** | **タイム撮影をするには、別売のリモコンML-L3が必要です。**リモコンの送信ボタンを一度押すとシャッターが開いたままになり、もう一度押すとシャッターが閉じます。<br>撮影モード**M**でシャッタースピードを bulb にしてから[動作モード]（P.42）を[2秒リモコン]または[瞬時リモコン]モードにすると、シャッタースピードの表示が - - に変わります。この状態でリモコンの送信ボタンを押すと、2秒後または瞬時にシャッターが開き、もう一度押すと閉じます。ただしシャッターは、開いてから30分経つと自動的に閉じます。 |

シャッタースピード：35秒、絞り値：f25

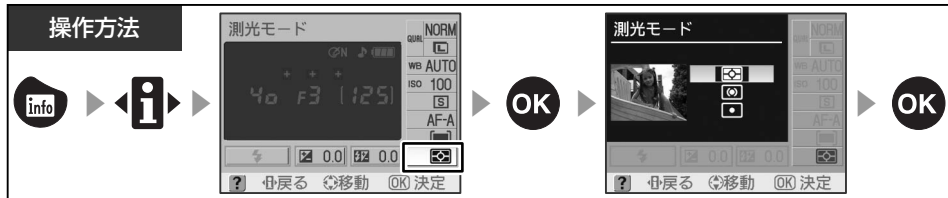
### ✓ 長時間露光撮影時のご注意

- 露光時間が長くなると、画像にノイズが発生することがあります。このノイズは、あらかじめ撮影メニュー［ノイズ低減］（P.105）を［する］にしておくことで低減できます。
- 長時間露光撮影では、撮影中のバッテリー切れを防ぐため、フル充電したバッテリー、または別売のパワーコネクター EP-5とACアダプター EH-5（P.157）をお使いになることをおすすめします。

### ヒント 露出インジケーターについて

設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測光した露出値との差がファインダー内下部と情報画面に表示されます。この「露出インジケーター」の見方は以下のとおりです。

| | |
|---|---|
| 適正露出 | +. . 0 . .− |
| インジケーターが右に振れているときは画像が適正露出よりも暗いことを意味しています。 | +. . 0 . .−<br>（1/3段アンダー） |
| インジケーターが左に振れているときは画像が適正露出よりも明るいことを意味しています。 | +. . 0 . .−<br>（2段以上オーバー） |

- 被写体が明るすぎて、または暗すぎてカメラの測光範囲を超えた場合は、露出インジケーターが点滅します。
- 長時間露光撮影時と非CPUレンズ使用時は、露出インジケーターは表示されません。
- カスタムメニュー［10：感度自動制御］（P.110）が［する］の場合、シャッタースピードや絞り値を変更してもISO感度を自動で適正露出に制御するため、露出インジケーターが作動していないように見えることがあります。

# 測光モード

適正な露出を得るために、カメラが被写体の明るさを測ることを「測光」といいます。撮影モードが**P S A M**の場合、測光モードは、以下の３種類から選ぶことができます。※

| | | |
|---|---|---|
| [マルチパターン測光アイコン] | **マルチパターン測光**<br>（初期設定） | ほとんどの撮影状況に対応できる測光モードです。画面の広い領域を測光して、被写体の輝度（明るさ）分布、色、距離や構図など様々な情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画像が得られます。 |
| [中央部重点測光アイコン] | **中央部重点測光** | 画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。 |
| [スポット測光アイコン] | **スポット測光** | フォーカスエリアに重なる部分だけを測光します。逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲の露出を基準にして撮影したい場合に適しています。<br>・測光エリアは、フォーカスエリアに連動します。<br>・［AFエリアモード］（P.34）が［至近優先ダイナミックAFモード］のときは、中央のフォーカスエリアに相当する部分を測光します。 |

※撮影モードが AUTO [モードアイコン] の場合、測光モードは常に［マルチパターン測光］になります。

**測光モードについてのご注意**

非CPUレンズをお使いの場合は、測光はできません。測光モードを選ぶこともできません。

**ヒント　マルチパターン測光について**

このカメラは、420分割RGBセンサーを搭載しています。GタイプまたはDタイプレンズ使用時は、このセンサーから得られる様々な情報を最大限に利用できる「3D-RGBマルチパターン測光Ⅱ」という測光方式になります。その他のCPUレンズをお使いの場合は、距離情報を考慮しない「RGBマルチパターン測光Ⅱ」という測光方式になります。

**関連ページ**

カスタムメニューで測光モードを設定する　→　5：測光モード（P.108）

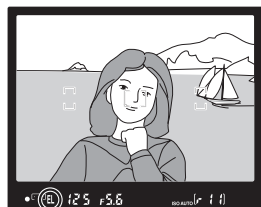
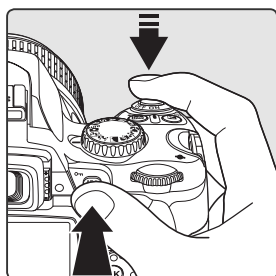
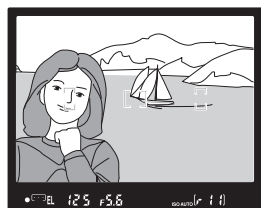
## AEロック撮影

AEロック撮影とは、被写体の特定の部分を測光して露出を決め、そのまま構図を変えて撮影する方法です。露出を合わせたい部分とその周囲とで、極端に明るさが異なる場合などに効果的です。撮影モード**P S A**で使用できます。

**1** 撮影モード **P S A** のいずれかで、[測光モード]を[スポット測光]または[中央部重点測光]にする

- [マルチパターン測光]は充分なAEロックの効果が期待できないため、おすすめできません。

**2** 露出を合わせたい部分にフォーカスエリアを重ねて、シャッターボタンを半押ししたまま AE-L AF-L ボタンを押す

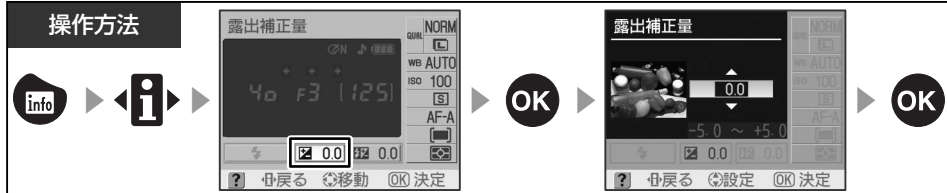
- 露出が固定(ロック)されます。
- AE-L AF-L ボタンを押している間は、選んだフォーカスエリア内([スポット測光]の場合)、またはファインダー中央部([中央部重点測光]の場合)を測光して得られた露出でロックされます。そのまま構図を変えても露出は変わりません。
- ファインダー内下部にAEロック表示(EL)が点灯します。
- オートフォーカス撮影時はピントも同時にロックされるので、ピント表示●の点灯もご確認ください。

**3** AE-L AF-L ボタンを押したまま、構図を決めて撮影する

### ヒント シャッタースピードと絞り値の変更

通常は AE-L/AF-L ボタンを押している間もコマンドダイヤルで以下の操作ができます。

| 撮影モードP | プログラムシフト（P.54） |
|---|---|
| 撮影モードS | シャッタースピードの変更 |
| 撮影モードA | 絞り値の変更 |

### 関連ページ

AEロックの操作方法を変更する → 12：AE-L/AF-Lボタンの機能（P.112）、13：半押しAEロック（P.113）

# 露出補正

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることで、画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。露出補正は、撮影モード**P S A**で使用できます。露出補正を行うときは、[測光モード]（P.59）を[中央部重点測光]または[スポット測光]にすると効果的です。

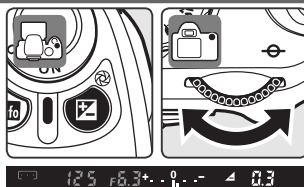
- 露出補正値は、1/3段ステップで±５段の範囲で設定できます。被写体を明るくしたい場合は＋側に、暗くしたい場合は－側に補正するのが基本です。
- 設定した補正値は、情報画面で確認できます。
- 露出補正を解除するには、補正値を0.0にしてください。電源をOFFにしても、補正値の設定は解除されません。

－１段補正

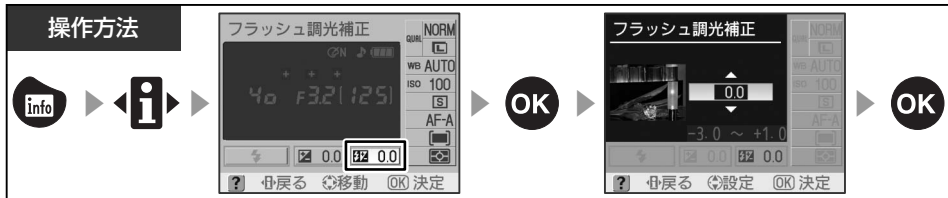
露出補正無し

＋１段補正

**ヒント　コマンドダイヤルでの設定方法**

露出補正値は、コマンドダイヤルを使って変更することもできます（撮影モード **P S A** のみ）。露出補正ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ファインダー内下部と情報画面の露出補正値表示が変化（1/3段ステップで±５段）します。設定した補正値に合わせてください。

－0.3段補正

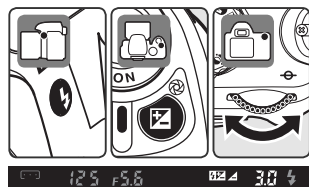
＋2段補正

# フラッシュ調光補正

フラッシュの発光量を補正することができます。発光量を多くしてメインの被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにするなど、背景に対する被写体の明るさを調整したいときなどに使います。フラッシュ調光補正は、撮影モード**P S A M**で使用できます。

- 調光補正値は、1/3段ステップで＋１段～－３段の範囲で設定できます。被写体を明るくしたい場合は＋側に、暗くしたい場合は－側に補正するのが基本です。
- 設定した補正値は、情報画面で確認できます。

- 調光補正を解除するには、補正値を0.0にしてください。電源をOFFにしても、補正値の設定は解除されません。
- 別売のスピードライトSB-400、SB-800、SB-600（P.149）または、ワイヤレススピードライトコマンダー SU-800（P.149）をカメラに装着している場合は、スピードライトの発光量を補正します。

**ヒント　コマンドダイヤルでの設定方法**

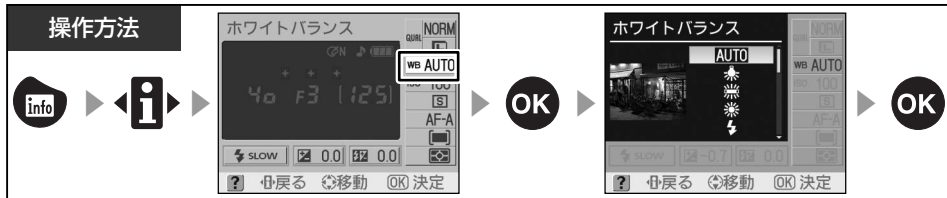
調光補正値は、コマンドダイヤルを使って変更することもできます。⚡（⚡±）ボタンと ☒ ボタンを同時に押しながらコマンドダイヤルを回すと、ファインダー内下部と情報画面の調光補正値表示が変化（1/3段ステップで＋１段～－３段）します。設定したい補正量に合わせてください。

－３段補正

＋0.7段補正

**関連ページ**

カスタムメニューで調光補正を行う　→　8：フラッシュ調光補正（P.109）

**データ　内蔵フラッシュの発光制御について　→　付録―資料集（P.180）**

# ホワイトバランス

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。初期設定の[オート]でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

ホワイトバランスは以下の８種類から選ぶことができます。※

| | | |
|---|---|---|
| AUTO | **オート**（初期設定） | カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。 |
| | **電球** | 白熱電球の下での撮影に適しています。 |
| | **蛍光灯** | 白色蛍光灯の下での撮影に適しています。 |
| | **晴天** | 晴天の屋外での撮影に適しています。 |
| | **フラッシュ** | 内蔵フラッシュや別売スピードライトを使って撮影する場合に適しています。 |
| | **曇天** | 曇り空の屋外での撮影に適しています。 |
| | **晴天日陰** | 晴天の日陰での撮影に適しています。 |
| PRE | **プリセット**（P.101） | 自分で選んだ被写体や光源を基準にホワイトバランスを合わせたり、すでに撮影した画像と同じホワイトバランスに合わせることができます。 |

※撮影モードが AUTO の場合、ホワイトバランスは常に［オート］になります。

**関連ページ**

撮影メニューでホワイトバランスを変更する → ホワイトバランス（P.100）
コマンドダイヤルでホワイトバランスを変更する → 11：/ Fn ボタンの機能（P.112）

# 画像を再生する

撮影した画像は、液晶モニターで再生することができます。再生方法には、画像を1コマずつ再生する「1コマ表示モード」と、複数の画像を一覧表示する「サムネイル表示モード」の2種類があります。

## 画像を1コマずつ再生する（1コマ表示モード）

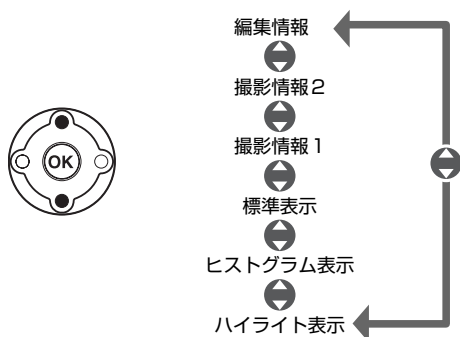
▶ ボタンを押すと、液晶モニターに撮影した画像が表示されます。

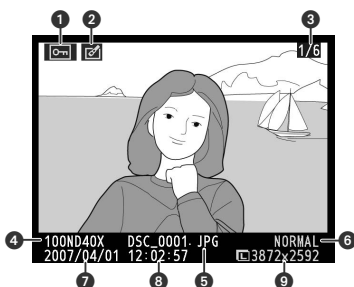
- 縦位置で撮影された画像は、右のように縦位置で再生されます。

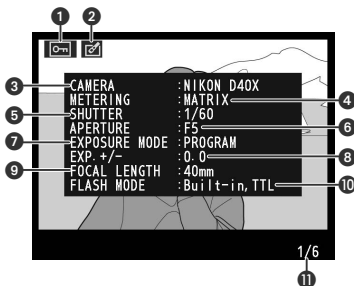
### 1コマ表示モードでの操作方法

| | | |
|---|---|---|
| 前後の画像を見る | （マルチセレクター左右）または（コマンドダイヤル） | マルチセレクターの左を押す（またはコマンドダイヤルを左に回す）と前の画像が、右を押す（右に回す）と次の画像が表示されます。 |
| 画像情報の表示 | （マルチセレクター上下） | 表示中の画像についての詳しい情報が表示されます（P.66）。 |
| 画像を拡大する | （拡大ボタン） | 表示中の画像が拡大表示されます（P.70）。 |
| 画像を削除する | （削除ボタン） | 表示中の画像を削除します（P.72）。 |
| 画像を保護する | AE-L AF-L（O-n） | 表示中の画像にプロテクト（保護）を設定します（P.71）。 |
| 複数画像を一覧表示する | （サムネイルボタン） | サムネイル表示モード（P.69）に切り換わります。 |
| 撮影に戻る | シャッターボタンの半押しまたは ▶ | 撮影モードに戻ります。 |
| メニューに移る | MENU | メニュー（P.88）が表示されます。 |
| 画像編集メニューを表示する | OK | 画像編集メニュー（P.131）が表示されます。 |
| 情報画面を表示する | info | 情報画面（P.8、31）が表示されます。 |

## 画像情報の表示

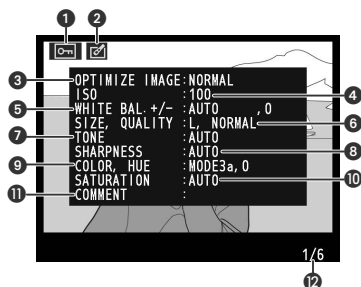
1コマ表示モードでは、マルチセレクターの上または下を押すと、以下のように表示内容が切り換わり、画像についての詳しい情報を見ることができます。

### 標準表示

1 プロテクト設定の有無 ........ P.71
2 画像編集の有無 ........ P.131
3 画像の番号／全画像数
4 フォルダ名 ........ P.125
5 ファイル名 ........ P.41
6 画質モード ........ P.40
7 撮影日 ........ P.14、121
8 撮影時刻 ........ P.14、121
9 画像サイズ ........ P.40

### 撮影情報1

1 プロテクト設定の有無 ........ P.71
2 画像編集の有無 ........ P.131
3 カメラ名
4 測光モード ........ P.59
5 シャッタースピード ........ P.52～58
6 絞り値 ........ P.52～58
7 撮影モード ........ P.6
8 露出補正値 ........ P.62
9 焦点距離 ........ P.10
10 フラッシュモード ........ P.113、149
11 画像の番号／全画像数

### 関連ページ

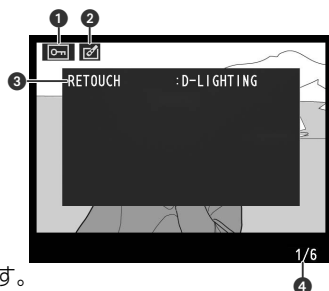

画像を常に横位置で表示する → 縦位置自動回転（P.93）、縦横位置情報の記録（P.130）
撮影後の画像が自動表示されないようにする → 7：撮影直後の画像確認（P.109）
液晶モニターの点灯時間を変更する → 15：パワーオフ時間（P.114）

### 撮影情報2

1 プロテクト設定の有無......P.71
2 画像編集の有無......P.131
3 仕上がり設定......P.97
4 ISO感度※1......P.49
5 ホワイトバランス......P.64
  ホワイトバランス微調整......P.100
6 画像サイズ......P.40
  画質モード......P.40
7 階調補正......P.98
8 輪郭強調......P.97
9 カラー設定、色合い調整......P.98、99
10 彩度設定......P.99
11 画像コメント※2......P.123
12 画像の番号／全画像数

※1 カスタムメニュー［10：感度自動制御］（P.110）によって、設定したISO感度がカメラによって変更されたときは、赤字で表示されます。

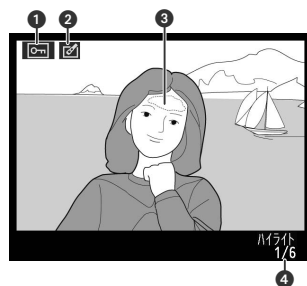
※2 36文字まで登録できますが、撮影情報には最初の15文字だけが表示されます。

### 編集情報※

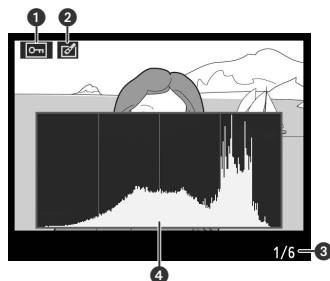
1 プロテクト設定の有無......P.71
2 画像編集の有無......P.131
3 画像編集メニュー（P.131）で行った画像編集の内容が一覧表示されます。複数の画像編集が行われた場合は順番に表示されます。
4 画像の番号／全画像数

※ 画像編集メニューで作成した画像の場合にだけ表示されます。

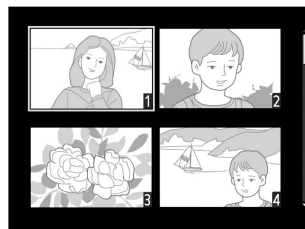
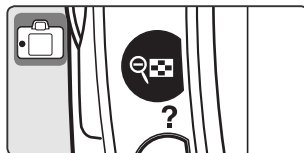
### ハイライト表示※

1 プロテクト設定の有無......P.71
2 画像編集の有無......P.131
3 画像の白とび部分が点滅表示されます。
4 画像の番号／全画像数

※ ハイライトとは、画像の中で、白に近い明るい階調の領域のことです。ハイライト部の中で、白い部分の階調が飽和してデータが失われた状態のことを「白とび」といいます。反対に、黒い部分の階調が失われた状態のことを「黒つぶれ」といいます。

## ヒストグラム表示※

1 プロテクト設定の有無 .............................................P.71
2 画像編集の有無.......................................................P.131
3 画像の番号／全画像数
4 画像のヒストグラムが表示されます。

※ ヒストグラムとは、画像の明るさの分布を表す山状のグラフのことで、横軸は画像の明るさ、縦軸は画素数を表します。明るい画像では山が右に寄り、暗い画像では左に寄ります。山裾が右端に達していると白とび、左端に達していると黒つぶれを起こしていることになります。なお、D40xのヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムとは異なることがあります。目安としてお使いください。

## 複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）

1コマ表示モードのときに ボタンを押すと、複数の縮小画像（サムネイル画像）を表示する「サムネイル表示モード」に切り換わります。 ボタンを押すたびに、4コマ表示、9コマ表示モードの順に切り換わります。

### サムネイル表示モードでの操作方法

| | | |
|---|---|---|
| 表示コマ数を増やす | | ボタンを押すと、4コマ表示→9コマ表示に切り換わります。 |
| 表示コマ数を減らす | | ボタンを押すと、9コマ表示→4コマ表示→1コマ表示に切り換わります。 |
| 1コマ表示に戻す | OK | 1コマ表示モード（P.65）に戻ります。 |
| 画像を選ぶ | OK または | 拡大表示（P.70）や削除（P.72）、プロテクト（P.71）などの対象となる画像を選ぶときに使います。選んだ画像には、黄色の枠が表示されます。 |
| 画像を削除する | | 選択中の画像を削除します（P.72）。 |
| 画像を保護する | AE-L AF-L（O-п） | 選択中の画像にプロテクト（保護）を設定します（P.71）。 |
| 撮影に戻る | シャッターボタンの半押しまたは | 撮影モードに戻ります。 |
| メニューに移る | MENU | メニュー（P.88）が表示されます。 |
| 情報画面を表示する | info | 情報画面（P.8、31）が表示されます。 |

## 拡大表示

1コマ表示モード (P.65) で 🔍 ボタンを押すと、表示中の画像が拡大表示されます。

拡大できる最大の大きさ (長さ比) は、画像サイズが[ L ]の場合は約25倍、[M]では約19倍、[S]では約13倍です。

### 拡大表示中の操作方法

| 操作 | ボタン | 説明 | |
|---|---|---|---|
| 拡大率を上げる | 🔍 | ボタンを押すたびに、拡大率が上がります。 | 拡大表示中に拡大率を操作すると、画面の右下に画像全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が黄色い枠で囲んで表示されます。数秒すると消えますが、もう一度操作すると表示されます。 |
| 拡大率を下げる | (縮小ボタン) | ボタンを押すたびに、拡大率が下がります。 | |
| 画面をスクロール (移動) させる | OK (マルチセレクター) | 画面をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。マルチセレクターを押し続けると、高速で移動します。 | |
| 前後の画像を見る | (コマンドダイヤル) | コマンドダイヤルを回すと、そのままの拡大率と表示範囲で、前後の画像が表示されます。 | |
| 拡大表示をやめる | OK | 拡大表示をやめ、1コマ表示モードに戻ります。 | |
| 画像を削除する | 🗑 | 表示中の画像を削除します (P.72)。 | |
| 画像を保護する | AE-L AF-L (О┳) | 表示中の画像にプロテクト (保護) を設定します (P.71)。 | |
| 撮影に戻る | シャッターボタンの半押しまたは ▶ | 撮影モードに戻ります。 | |
| メニューに移る | MENU | メニュー (P.88) が表示されます。 | |
| 情報画面を表示する | info | 情報画面 (P.8、31) が表示されます。 | |

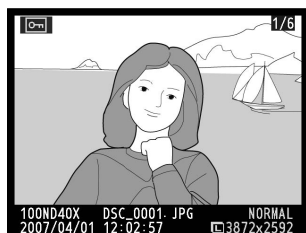
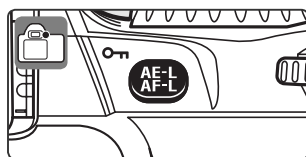
# 画像を保護する—プロテクト

大切な画像を誤って削除してしまうことを防ぐために、画像にプロテクト（保護）を設定することができます。ただし、SDカードを初期化（フォーマット、P.18）すると、プロテクトを設定した画像も削除されるので、ご注意ください。

## 1 プロテクトしたい画像を選ぶ

- 1コマ表示モードのときは、プロテクトしたい画像を液晶モニターに表示してください。サムネイル表示モードのときは、プロテクトしたい画像をマルチセレクターで選んでください。

## 2 AE-L AF-L（O‐π）ボタンを押す

- 画像にプロテクトアイコン O‐π が表示され、プロテクトが有効になります。
- もう一度 AE-L AF-L（O‐π）ボタンを押すと、O‐π アイコンが消え、プロテクトが解除されます。

**ヒント　プロテクト画像のファイル属性**

プロテクトを設定した画像は、DOSファイルフォーマットの「読み取り専用」属性になります。

# 画像を削除する

SDカードに記録された画像を削除します。削除した画像は元に戻せないのでご注意ください。ただし、プロテクト（P.71）を設定した画像は、削除できません。

**1** 削除したい画像を選ぶ

- 1コマ表示モードのときは、削除したい画像を液晶モニターに表示してください。サムネイル表示モードのときは、削除したい画像をマルチセレクターで選んでください。

**2** 🗑 ボタンを押す

- 削除の確認画面が表示されます。

- もう一度 🗑 ボタンを押すと、選んだ画像が削除されます。
- 削除するのをやめたいときは、▶ ボタンを押してください。

【再生編】撮影した画像で楽しもう　画像を削除する

関連ページ

複数の画像をまとめて削除する → 削除（P.93）

# 画像をパソコンに転送する

付属のUSBケーブルを使って、撮影した画像をパソコンに転送することができます。ここでは、付属のPictureProject（ピクチャープロジェクト）ソフトウェアを使って画像をパソコンに転送するために、カメラ側で必要な操作について説明します。

PictureProjectソフトウェアを使うと、撮影した画像をパソコンに転送することができるほか、パソコン上で見やすく整理したり、編集したり、印刷したりすることができます。

- 最初に一度、使用するパソコンにPictureProjectをインストールしてください。付属のPictureProject ソフトウェアCD-ROMを使うとインストールできます。
- カメラとパソコンを接続するときは、バッテリーの消耗を防ぐため、別売のパワーコネクター EP-5とACアダプター EH-5 (P.157) をお使いになることをおすすめします。

## カメラとパソコンを接続する前に

パソコンのOS（オペレーティングシステム）に合わせて、カメラのUSB通信方式を設定します。以下の表を参考にして、セットアップメニューの[USB設定]で設定してください (P.124)。初期設定は[Mass Storage]です。

| OS※ | USB設定 |
| --- | --- |
| 32bit版のWindows Vista (Home Basic／Home Premium／Business／Enterprise／Ultimate) Windows XP (Home Edition／Professional) | [Mass Storage] または [MTP/PTP] |
| Mac OS X (Version 10.3.9、10.4) | |
| Windows 2000 Professional | [Mass Storage] |

※PictureProjectの対応OSに関する最新情報は、カスタマーサポート (P.1)のホームページのサポート情報でご確認ください。

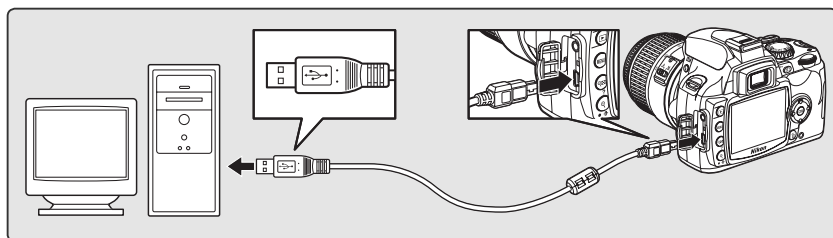
**✓ Windows 2000 Professionalをお使いの場合のご注意**

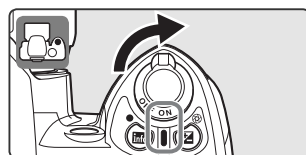
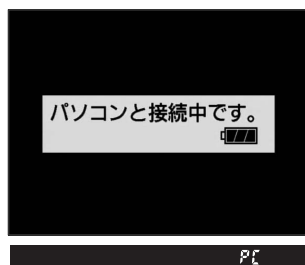
Windows 2000 Professionalでお使いになるときは、必ずカメラの[USB設定]を[Mass Storage]にしてください。[MTP/PTP]で接続した場合は、[新しいハードウェアの検索ウィザードの開始]と表示されます。[キャンセル（中止）]を選んで画面を閉じてから接続を外し、[Mass Storage]に変更してから、再接続してください。

## カメラとパソコンを接続する

カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源をOFFにしたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。

**1** [USB設定]（P.124）が、OSに合わせて正しく設定されていることを確認し、パソコンを起動する

**2** カメラの電源をOFFにしてから、カメラに付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する

- USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐに差し込んでください。

**3** カメラの電源をONにする

- [USB設定]（P.124）が[Mass Storage]の場合は、正しく接続されると情報画面とファインダー内下部に、右のように表示されます（[MTP/PTP]の場合、パソコンと接続しても表示は変化しません）。

**4** PictureProjectを使って画像を転送する

- PictureProjectの詳しい使い方については、PictureProjectソフトウェアの使用説明書CD-ROMをご覧ください。

### ✓ USBハブについてのご注意

USBハブを介しての接続は、動作保証しておりません。

5 転送が終わったら、パソコンとカメラの接続を外します。

**●USB通信方式がMass Storageの場合：**

USBケーブルを外したり、カメラの電源をOFFにする前に、必ず次の操作を行ってください。

• Windows Vista、Windows XP：
パソコン画面右下の[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックして[USB大容量記憶装置デバイスードライブ(E:)※を安全に取り外します。]を選んでください。

• Windows 2000 Professional：
パソコン画面右下の[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンをクリックして[USB大容量記憶装置デバイスードライブ(E:)※を停止します]を選んでください。

※[ドライブ(E:)]の「E」は、お使いのパソコンによって異なります。

• Mac OS X：
デスクトップ上の[NIKON D40X]のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

**●USB通信方式がMTP/PTPの場合：**

カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜いてください。

**ヒント　別売のCamera Control Proについて**

- 別売のCamera Control Pro（P.157）で、パソコンからカメラをコントロールすることができます。Camera Control Proを使用してカメラをパソコンからコントロールするときは、[USB設定]（P.124）を[MTP/PTP]にしてからパソコンと接続してください。
- カメラとパソコンが正しく接続されると、情報画面とファインダー内下部にPCカメラモード表示が表示されます。
- Camera Control Proは、必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。ご使用のパソコンがインターネットに接続していれば、ソフトウェアの起動時にニコンメッセージセンター（Nikon Message Center）が自動的に更新情報をチェックします。

# 画像をプリンターで印刷する

カメラで撮影した画像をプリント（印刷）します。画像をプリントするには、次のような方法があります。

**1.カメラとプリンターを直接つないでプリントする→P.77**

**2.SDカードをプリンターのカードスロットに挿入してプリントする**

プリンターの使用説明書をご覧ください。

DPOF（P.181）対応プリンターをお使いの場合は、事前にプリント指定（P.84）を行い、指定通りにプリントすることができます。

**3.SDカードをプリントサービス店に持ち込んでプリントを依頼する**

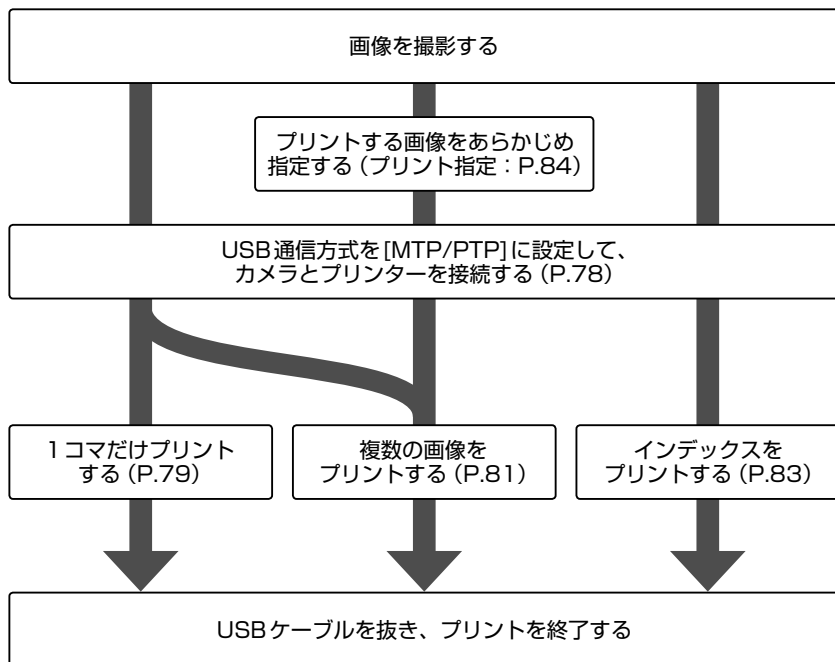
事前にプリント指定（P.84）を行った場合は、DPOF対応のプリントサービス取扱店にお持ち込みください。

**4.カメラの画像をパソコンに転送してからプリントする**

画像の転送方法については[画像をパソコンに転送する]（P.73）をご覧ください。パソコンでのプリント方法はお使いになるソフトウェアやプリンターの使用説明書をご覧ください。

※ 1～3の方法では、RAW画像（P.40）はプリントできません。RAW画像はパソコンに転送してから、PictureProjectや別売のCapture NX（P.157）などのソフトウェアを使って、プリントしてください。

## カメラとプリンターを直接つないでプリントする

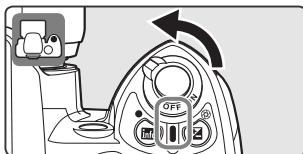
PictBridge（ピクトブリッジ：P.181）対応プリンターをお使いの場合、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接接続してSDカード内の画像をプリントすることができます。これを「ダイレクトプリント」といいます。ダイレクトプリントは、以下の手順で行うことができます。

次ページから、それぞれの手順について詳しく説明します。

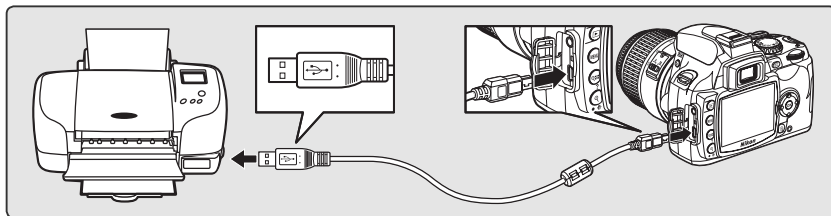
**ダイレクトプリントの前に**

- ダイレクトプリント時は、残量が充分にあるバッテリーをお使いください。別売のパワーコネクターEP-5とACアダプターEH-5（P.157）をお使いになることをおすすめします。
- ダイレクトプリントする画像を撮影モード**P S A M**で撮影する場合は、[撮影メニュー]→[仕上がり設定]→[カスタマイズ]→[カラー設定]（P.98）を初期設定の[モードⅢa（sRGB）]または[モードⅠa（sRGB）]にすることをおすすめします。

## USB通信方式をMTP/PTPに設定して、カメラとプリンターを接続する

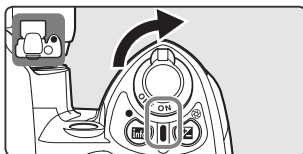
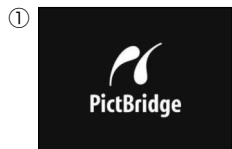
1 [セットアップメニュー]→[USB設定]を[MTP/PTP]にする (P.124)

2 カメラの電源をOFFにする

3 プリンターの電源をONにする

4 カメラに付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

- USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐに差し込んでください。

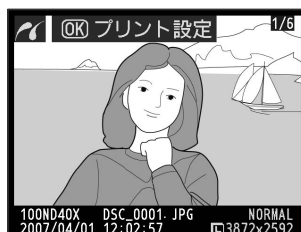
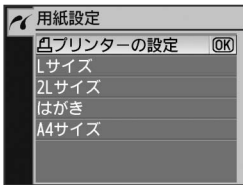
5 カメラの電源をONにする

- 正しく接続されると、液晶モニターに①の画面が表示された後、②の画面が表示されます。

①
②

## 1コマだけプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（P.78）、以下の手順でプリントしてください。

**1** 右の画面でマルチセレクターの右または左を押して、プリントしたい画像を選ぶ

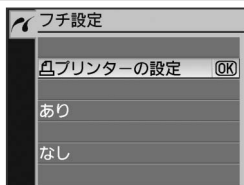
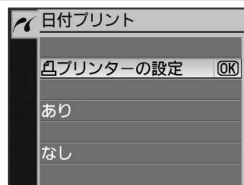
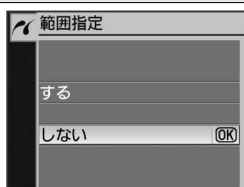
- ボタンを押して6コマ表示に切り換えて、画像を選ぶこともできます。ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。
- ボタンを押すと、拡大表示画面に切り換わります。再生時の拡大表示（P.70）と同様の操作で、細部を確認しながら画像を選ぶことができます。

**2** OK ボタンを押す

- 右の画面が表示されます。

**3** 以下の項目を設定する

- マルチセレクターの上または下を押して設定したい項目を選び、マルチセレクターの右を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。

| 用紙設定 | 枚数指定 |
|---|---|
|   |   |
| プリントする用紙のサイズを選びます。<br>OK ボタンを押すと、2の画面に戻ります。<br>表示される用紙サイズは、プリンターによって異なります（P.83）。 | プリントする枚数（99枚まで）を設定します。<br>OK ボタンを押すと、2の画面に戻ります。 |

| フチ設定 | 日付プリント |
| --- | --- |
|   [あり]（フチありプリント）または[なし]（フチなしプリント）を選びます。<br>OK ボタンを押すと、2の画面に戻ります。 |   [あり]（日付を印刷する）または[なし]（日付を印刷しない）を選びます。<br>OK ボタンを押すと、2の画面に戻ります。 |

| 範囲指定 |
| --- |
| プリント範囲を指定します。[する]を選んでマルチセレクターの右を押すと、下のような画面が表示されます。ボタンを押すと指定範囲が大きくなり、ボタンを押すと小さくなります。マルチセレクターの上下左右で範囲が移動します。     OK ボタンを押すと範囲が決定し、2の画面に戻ります。 |

4 [プリント実行]を選んで OK ボタンを押す

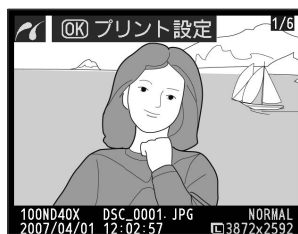
- プリントが始まります。プリントが終わると、1の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、OK ボタンを押してください。

**プリンターの設定を優先してプリントしたいときは**

[用紙設定]、[フチ設定]、[日付プリント]の設定について、プリンターの設定を優先したいときは、それぞれの設定時に[プリンターの設定]を選んでください。

## 複数の画像をプリントする

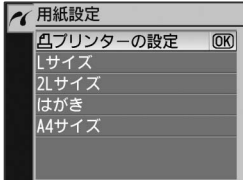
あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（P.78）、以下の手順でプリントしてください。

**1** 右の画面で MENU ボタンを押す

**2** ［プリント画像選択］または［DPOFプリント］を選び、マルチセレクターの右を押す

- 事前に［プリント指定（DPOF）］（P.84）をした場合、［DPOFプリント］を選べば、3の画面にプリント指定で設定したプリント枚数が反映されます。

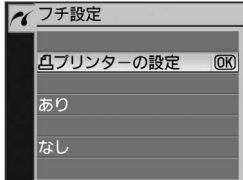
**3** マルチセレクターの左右を押してプリントする画像を選び、上下を押してプリント枚数（99枚まで）を設定する

- プリントされる画像には、アイコンとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、アイコンが消え、その画像はプリントされません。
- ボタンを押している間、選択中の画像が拡大表示されます。

（ここでは［プリント画像選択］の画面で説明していますが、［DPOFプリント］画面でも操作方法は同じです）

**4** OK ボタンを押す

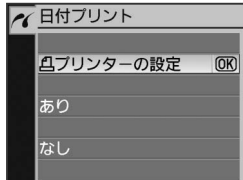
- 右の画面が表示されます。

## 5 以下の項目を設定する

- マルチセレクターの上または下を押して設定したい項目を選び、マルチセレクターの右を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。

| 用紙設定 | フチ設定 |
|---|---|
|  |  |
| プリントする用紙のサイズを選びます。 OK ボタンを押すと、4の画面に戻ります。表示される用紙サイズは、プリンターによって異なります（P.83）。 | [あり]（フチありプリント）または[なし]（フチなしプリント）を選びます。 OK ボタンを押すと、4の画面に戻ります。 |





| 日付プリント | |
|---|---|
| [あり]（日付を印刷する）または[なし]（日付を印刷しない）を選びます。 OK ボタンを押すと、4の画面に戻ります。 |  |



## 6 [プリント実行]を選んで OK ボタンを押す

- プリントが始まります。プリントが終わると、2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、 OK ボタンを押してください。

### ✓ プリンターの設定を優先してプリントしたいときは

[用紙設定]、[フチ設定]、[日付プリント]の設定について、プリンターの設定を優先したいときは、それぞれの設定時に[プリンターの設定]を選んでください。

## INDEX（インデックス）プリント

SDカード内のすべてのJPEG画像が一覧できる「インデックス」をプリントすることができます。

**1**「複数の画像をプリントする」（P.81）のステップ2で[INDEXプリント]を選んでマルチセレクターの右を押すと、右のような画面が表示されます。

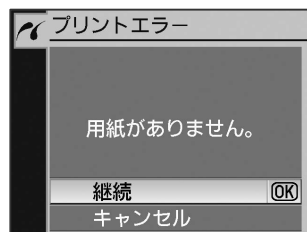
**2** OK ボタンを押すと、「複数の画像をプリントする」（P.81）のステップ4の画面に移ります。以下、ステップ5、6と同様の手順でプリントしてください。

- 用紙サイズによっては、インデックス印刷ができない場合があります（警告画面が表示されます）。
- インデックス印刷できるのは256コマまでです。SDカード内に257コマ以上の画像がある場合は、印刷されない画像があります（確認画面が表示されます）。

### 用紙設定についてのご注意

用紙設定画面では、[プリンターの設定]以外に、[Lサイズ]、[2Lサイズ]、[はがき]、[100×150 mm]、[4×6 in.]、[203×254 mm]、[Letter]、[A3サイズ]、[A4サイズ]のうち、プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。

### プリント中のエラーについてのご注意

プリント中に右のようなエラーメッセージが表示された場合は、プリンターの状況（用紙の有無など）をご確認ください。エラーの原因を取り除いてから、[継続]を選んで OK ボタンを押すと、プリントが再開されます。[キャンセル]を選んで OK ボタンを押すと、その時点でプリントが中止されます。なお、エラーの内容によっては、[継続]できない場合があります。

### ダイレクトプリントについてのご注意

- RAW画像（P.40）は、ダイレクトプリントできません。これらの画像も画像選択画面に表示されますが、選ぶことはできません。
- [フチ設定]と[範囲指定]は、接続したプリンターがそれぞれの機能に対応していない場合は、選ぶことができません。なお、[範囲指定]で狭い範囲を大きくプリントした場合は、画像が粗くプリントされる場合があります。

## プリントする画像をあらかじめ指定する（プリント指定）

SDカードをプリンターのカードスロットに挿入して印刷するときや、プリントサービス店に持ち込んでプリントを依頼するとき、またはダイレクトプリント（P.77）時に、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめSDカードに書き込むことができます（プリンターやプリントサービス店がDPOF規格に対応している必要があります）。

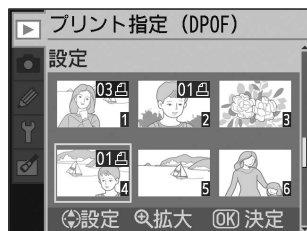
プリント指定の方法は以下の通りです。

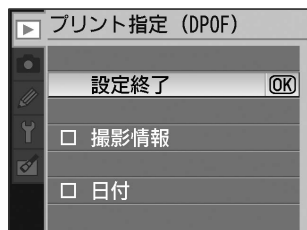
**1** 再生メニュー（P.92）の[プリント指定（DPOF）]で、[設定]を選んで右を押す

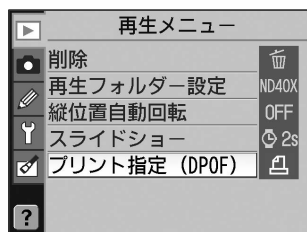
**2** マルチセレクターの右または左を押して、プリントしたい画像を選ぶ

**3** マルチセレクターの上を押して、プリント枚数（99枚まで）を設定する

- 設定した画像には、アイコンとプリント枚数が表示されます。
- マルチセレクターの下を押すと、プリント枚数が減少します。枚数を0にすると、アイコンが消え、その画像はプリントされません。
- MENU ボタンを押すと、画像選択を中止して、再生メニューに戻ります。

## 4 2と3の手順を繰り返して、プリントしたい画像すべてについてプリント枚数を設定する

## 5 OK ボタンを押す

- 右の画面が表示されます。
- [撮影情報]または[日付]を選んでマルチセレクターの右を押し、チェックボックスをオンにすると、指定した画像すべてに、撮影情報や撮影した日付がプリントされます。

## 6 [設定終了]を選んで OK ボタンを押す

- 設定が有効になり、再生メニューに戻ります。

### ✓ プリント指定についてのご注意

- ダイレクトプリント時には、[プリント指定（DPOF）]の[撮影情報][日付]の設定は無効になります。ダイレクトプリントで日付をプリントしたい場合は、ダイレクトプリントの[日付プリント]を[する]にしてください。
- SDカードの残量が充分にないときは、プリント指定ができない場合があります。
- RAW画像（P.40）には、プリント指定はできません。これらの画像も画像選択画面に表示されますが、選ぶことはできません。
- プリント指定を行ったSDカード内のデータを、パソコンなどで削除しないでください。正しくプリントできなくなる場合があります。

# 画像をテレビで見る

カメラをテレビやビデオなどに接続して、撮影した画像をテレビで見ることや、ビデオデッキで録画することができます。接続には、別売のビデオケーブルEG-D100（P.157）が必要です。

1 [セットアップメニュー]→[ビデオ出力]（P.122）を、お使いのテレビに合わせる

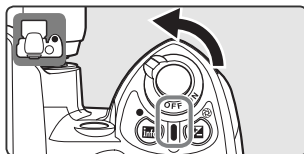
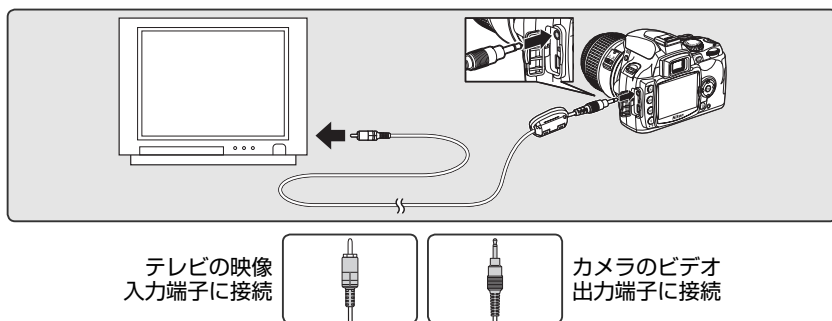
- 日本国内では通常、[NTSC]（初期設定）にしてください。

2 カメラの電源をOFFにする

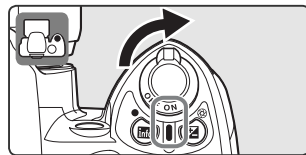
- ビデオケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

3 カメラとテレビを以下のように接続する

テレビの映像入力端子に接続

カメラのビデオ出力端子に接続

4 テレビの入力をビデオ入力に切り換える

## 5 カメラの電源をONにする

- ▶ ボタンを押すと、撮影した画像がテレビの画面に表示されます。

- 画像の再生方法は、液晶モニターで再生するときと同じです。
- テレビでの再生などでカメラを長時間使うときは、別売のパワーコネクター EP-5とACアダプター EH-5 (P.157)をお使いになることをおすすめします。
- カメラをテレビに接続している間は、液晶モニターは点灯しません。

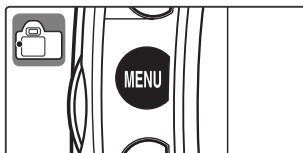
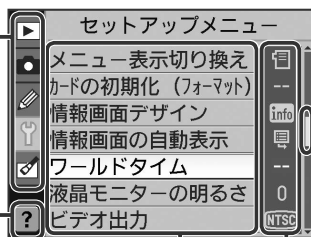
### 関連ページ

ビデオの出力方式を変更する → ビデオ出力 (P.122)

## メニューの操作方法

メニューは、撮影や再生、カメラの基本的な設定をするときに使用します。

### メニューを表示するには

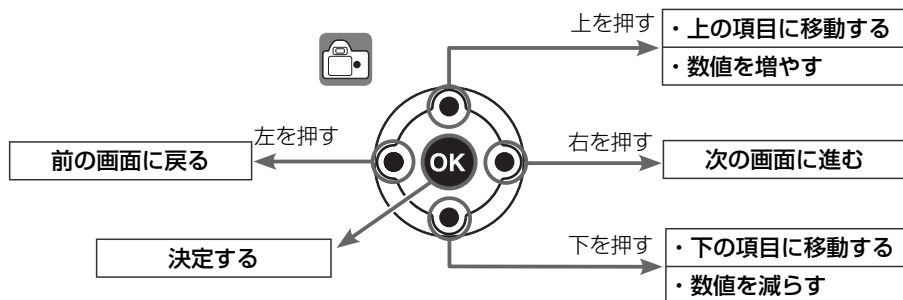
MENUボタンを押すと、液晶モニターに下のようなメニューが表示されます。

### メニューの種類

以下の５種類のメニューがあります。どのメニューが表示されているかは、画面左端のアイコンで確認できます。

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 再生メニュー（P.92） | 撮影した画像に対する操作や、再生についての設定などを行ないます。 |
| 撮影メニュー（P.96） | 撮影についての設定を行います。 |
| カスタムメニュー（P.106） | カメラの各種設定を、好みに合わせて変更します。 |
| セットアップメニュー（P.116） | SDカードの初期化や、カメラの基本的な設定などを行ないます。 |
| 画像編集メニュー（P.131） | 撮影した画像を編集（加工や補正）することができます。 |

# メニュー項目の設定

メニューの操作には、マルチセレクターを使います。

## マルチセレクターの使い方

## メニュー項目の設定方法

**1**

メニューを表示する

**2**

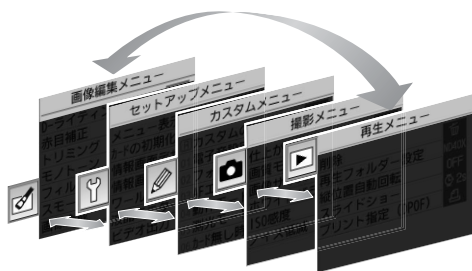
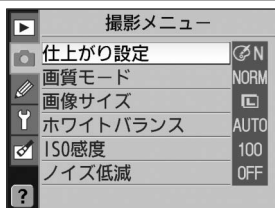
マルチセレクターの左を押す

- 画面左側のアイコンが黄色で表示されます。

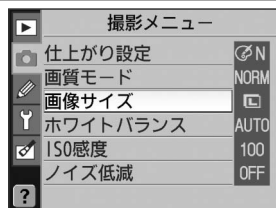
**3**

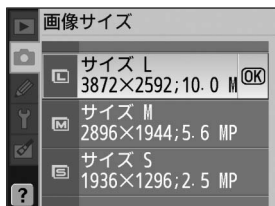
再生、撮影、カスタム、セットアップ、画像編集の各メニューを切り換える

- どのメニューが表示されているかは、アイコンで確認できます。設定したいメニューを選んでください。

4

マルチセレクターの右を押す

- 3で選んだメニュー内のメニュー項目を選べる状態になります。

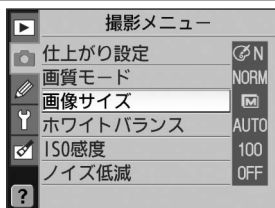
5

設定したいメニュー項目を選ぶ

6

マルチセレクターの右を押す

- 5で選んだメニュー項目が表示されます。

7

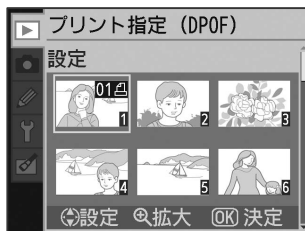
設定する内容を選ぶ

8

設定が完了する

- 5の画面に戻ります。

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示され、選ぶことができません。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください（液晶モニターが消灯します）。

## 画像選択画面の操作方法

再生メニューで画像の削除（P.93）やプリント指定（P.84、95）、ダイレクトプリント（P.77）を行うときは、右のような「画像選択画面」が表示される場合があります。画像選択画面での操作方法は以下の通りです。

1

画像を選ぶ

2

画像の細部を確認したいときは、🔍ボタンを押す

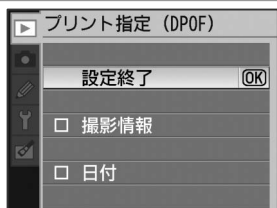
- 🔍 ボタンを押している間、選択中の画像が拡大表示されます。

3

設定のON/OFF（またはプリント枚数）を設定する

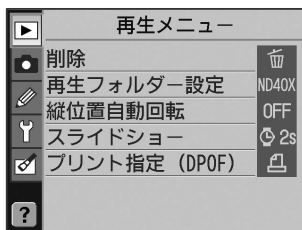
- 設定がONになると、内容に応じたアイコンが表示されます。プリント関連の設定の場合は、アイコンの横にプリント枚数も表示されます。

4

設定が完了する

# 再生についての設定 — 再生メニュー

画像を再生するときの設定は、[再生メニュー]で行います。再生メニューには、以下の項目があります。

- セットアップメニューの[メニュー表示切り換え](P.117)を[マイメニュー]にしたときは、登録されているメニュー項目だけが表示されます。
- メニューの操作方法についてはP.88をご覧ください。

再生メニュー

| | |
|---|---|
| 削除 | |
| 再生フォルダー設定 | ND40X |
| 縦位置自動回転 | OFF |
| スライドショー | 2s |
| プリント指定（DPOF） | |

| 削除 | SDカード内の画像を個別に、またはまとめて削除します。 | P.93 |
|---|---|---|
| 再生フォルダー設定 | どのフォルダーの画像を再生するかを設定します。 | P.93 |
| 縦位置自動回転 | 縦位置で撮影した画像を、再生時に自動的に回転して表示するかどうかを設定します。 | P.93 |
| スライドショー | SDカード内の画像を1コマずつ順番に自動再生します。 | P.94 |
| プリント指定（DPOF） | DPOF対応のプリントショップやプリンターで画像を印刷するための設定をします。 | P.84、95 |

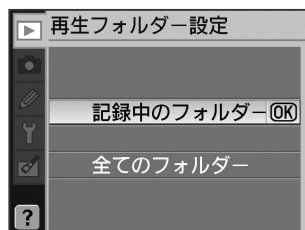
## 削除

画像を削除します。ただし、[プロテクトアイコン] がついている画像はプロテクト（P.71）が設定されているため、削除できません。たくさんの画像を削除するときは、時間がかかる場合があります。

| 選択画像削除 | 指定した画像だけを削除します（P.91）。 |
|---|---|
| 全画像削除 | 再生フォルダー設定で設定しているフォルダー内の、画像をすべて削除します。 |

## 再生フォルダー設定

画像の再生（P.65）時に、画像の記録に使われているフォルダー内の画像だけを表示するか、すべての画像を表示するかを設定します。

| 記録中のフォルダー（初期設定） | 画像の記録に使われているフォルダー内の画像だけが再生されます。 |
|---|---|
| 全てのフォルダー | SDカード内の再生可能なすべての画像が再生されます。 |

### 再生フォルダー設定についてのご注意

- ［全てのフォルダー］にした後に撮影を行うと、自動的に［記録中のフォルダー］に変更されます。すべてのフォルダーの画像を再生するには、改めて［全てのフォルダー］にしてください。
- 画像を記録するフォルダーはセットアップメニューの［記録フォルダー設定］（P.125）で設定できます。
- ［記録中のフォルダー］にして、SDカードを交換した後、撮影を行わずに画像を再生すると、液晶モニターに［撮影画像がありません］と表示されます。［全てのフォルダー］に変更すると、SDカード内の画像が再生できます。

## 縦位置自動回転

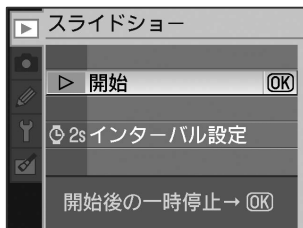
縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示するかどうかを設定します。初期設定は［する］です。

ただし、［する］にしていても、セットアップメニューの［縦横位置情報の記録］（P.130）を［しない］にして撮影した画像は、すべて横位置で表示されます。

## スライドショー

撮影した画像を１コマずつ順番に、連続再生する「スライドショー」を行います。

### スライドショーの操作方法

[開始]を選んで OK ボタンを押すと、スライドショーが始まります。スライドショーの実行中は、以下の操作が可能です。

| | | |
|---|---|---|
| １コマ進む／戻る | | 右を押すと次の画像に進み、左を押すと１つ前の画像に戻ります。 |
| 画像情報を見る | | スライドショーの再生中に画像情報（P.66）が表示され、画像情報画面の切り換えができます。 |
| 一時停止 | | スライドショーが一時停止し、右の画面が表示されます。再開するには、[再開]を選んで OK ボタンを押してください。[終了]を選んで OK ボタンを押すと、再生メニューに戻ります。 |
| 再生メニューに戻る | MENU | スライドショーを中止して、再生メニューに戻ります。 |
| 通常再生に戻る | | スライドショーを中止して、１コマ表示モード（P.65）またはサムネイル表示モード（P.69）に戻ります。 |
| 撮影に戻る | | シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターが消灯します。 |
| 情報画面を表示する | info | 情報画面（P.8、31）が表示されます。 |

### インターバル設定

１コマの画像が表示される時間を変更できます。[インターバル設定]を選んでマルチセレクターの右を押すと、右の画面が表示されます。初期設定は[2秒]です。

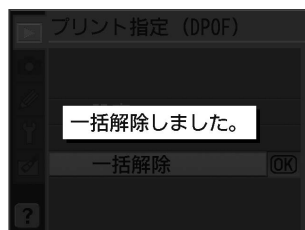
関連ページ

スライドショーで再生するフォルダーを選ぶ → 再生フォルダー設定（P.93）

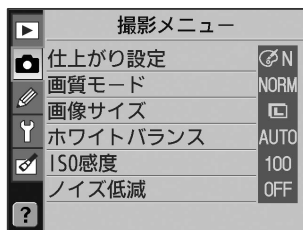
## プリント指定（DPOF）

画像をプリントするための設定を、あらかじめカメラで行うことができます。設定方法については、P.84をご覧ください。

### プリント指定の一括解除

プリント指定で設定した内容をすべて解除します。[一括解除]を選んで OK ボタンを押すと、右の[設定終了]画面が表示された後、再生メニューに戻ります。

# 撮影についての設定 — 撮影メニュー

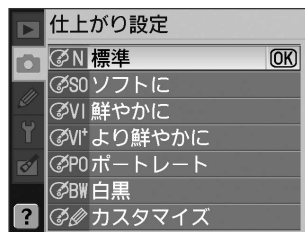
撮影メニューには以下の項目があります。

- セットアップメニューの[メニュー表示切り換え]（P.117）を[マイメニュー]にしたときは、登録されているメニュー項目だけが表示されます。
- メニューの操作方法についてはP.88をご覧ください。

| | | |
|---|---|---|
| **仕上がり設定**※ | 画像の仕上がりを、撮影するシーンや好みに合わせて設定します。 | P.97 |
| **画質モード** | 記録する画像のファイル形式や画質を設定します。 | P.40 |
| **画像サイズ** | 記録する画像のサイズ（大きさ）を設定します。 | P.40 |
| **ホワイトバランス**※ | 画像が見た目に近い色で記録されるように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。 | P.64、100 |
| **ISO感度** | ISO感度を設定します。標準（100）より高くすることで、暗い所での撮影に対応できます。 | P.49 |
| **ノイズ低減** | 夜景撮影など、暗い所での低速シャッター撮影時や高感度での撮影時に発生しやすいノイズを低減します。 | P.105 |

※ 撮影モード**P S A M**で設定できます。

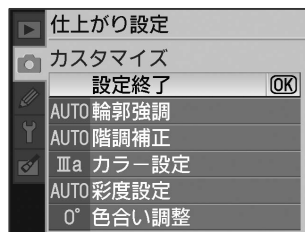
## 仕上がり設定

記録する画像の仕上がり（色の鮮やかさや輪郭の強調度合いなど）を、撮影シーンや好みに合わせて設定します。

仕上がり設定は、以下の７種類から選ぶことができます。

| | | |
|---|---|---|
| N | 標準（初期設定） | 標準的な画像に仕上げます。ほとんどの撮影状況に対応できます。 |
| SO | ソフトに | 被写体の輪郭をソフトに再現します。人物の肌をなめらかに表現したいときや、撮影後にパソコン上で画像を加工したいときに適しています。 |
| VI | 鮮やかに | 彩度を高め、赤・緑・青の各色を鮮やかに表現します。ややコントラストが高く、シャープな画像になります。 |
| VI+ | より鮮やかに | 彩度とコントラストを高め、被写体の輪郭を強調した画像になります。 |
| PO | ポートレート | 人物撮影に適しています。コントラストを抑え、肌の質感や立体感を自然に仕上げます。 |
| BW | 白黒 | 白黒写真を撮影したいときに使います。 |
| | カスタマイズ | 仕上がりを自分で細かく設定することができます。 |

### 仕上がり設定のカスタマイズ

仕上がり設定で[カスタマイズ]を選ぶと、右の画面が表示され、[輪郭強調]、[階調補正]、[カラー設定]、[彩度設定]、[色合い調整]の５種類の項目を個別に設定できます。

各項目の設定後に、［設定終了］を選んで OK ボタンを押してください。

５種類の項目の内容は、以下の通りです。

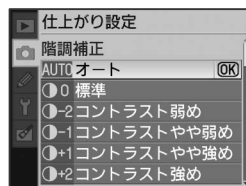
**輪郭強調**

画像の輪郭の強調度合い（シャープネス）を設定します。初期設定は[オート]です。

**［カスタマイズ］以外の仕上がり設定についてのご注意**

- 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。
- 画像の色空間はsRGBになります。

### 階調補正

画像の階調（コントラスト）を設定します。
初期設定は[オート]です。[ユーザーカスタム]は、別売の Camera Control Pro（P.157）で作成したトーンカーブを使うときに設定します。詳しくはCamera Control Proの使用説明書をご覧ください。

### カラー設定

画像の色再現を設定します。

| | |
|---|---|
| モードⅠa（sRGB） | 人物の肌などを、自然な色合いで階調豊かに表現します。初期設定の[モードⅢa]よりもややソフトに仕上がります。sRGB色空間に対応しています。 |
| モードⅡ（AdobeRGB） | 画像をパソコンなどで加工する場合に適しています。sRGBよりも色域が広いAdobeRGB色空間に対応しています。 |
| モードⅢa（sRGB）（初期設定） | 人物や風景など様々な被写体を、鮮やかな色合いでくっきりと表現します。sRGB色空間に対応しています。 |

#### ☑ 輪郭強調、階調補正を[オート]にしたときのご注意

同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。

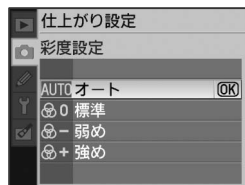
#### ☑ カラー設定についてのご注意

- カラーマネジメント機能を持たないアプリケーションで画像を開くときやプリントするとき、またはダイレクトプリントや、プリントサービス店にプリントを依頼するときは、[モードⅠa (sRGB)] または [モードⅢa (sRGB)] をおすすめします。
- [モードⅡ（AdobeRGB)] の画像をAdobe Photoshopなどのカラーマネジメント機能を持ったアプリケーションで開く場合は、色空間をAdobeRGBに設定してください。詳しくは、アプリケーションの説明書をご覧ください。

#### ヒント 色空間とは

色を数値化して表現するときに、どの色にどの数値を対応させるかを定めたもので、「カラースペース」ともいいます。一般にはsRGB色空間が利用されています。AdobeRGB色空間は出版・印刷などで使われる場合があります。

**彩度設定**

画像の彩度（色の鮮やかさ）を設定します。
初期設定は[オート]です。[弱め]にすると鮮やかさが抑えられ、[強め]にするとより鮮やかになります。

**色合い調整**

画像の色相を調整します。初期設定の[０° ]から、＋方向と－方向にそれぞれ３段階（1段階は約３° ）で調整できます。肌色を基準にした場合、＋側にすると黄色みが増し、－側にすると赤みが増します。

## 画質モード

画質モードを変更します。内容については撮影設定変更画面からの設定と同じです（P.40）。

## 画像サイズ

画像サイズ（大きさ）を変更します。内容については撮影設定変更画面からの設定と同じです（P.40）。

**ヒント　色合い調整の意味**

色は「彩度（鮮やかさ）」「色相（色合い）」「明度（明るさ）」の３要素で成り立っており、「色合い調整」はこのうち「色相」を変化させるものです。調整の単位が角度で表されているのは、色彩管理などで用いられる「色相環（赤から紫までの色相を環状につなげたもの）」を何度回転させるかで、色相の変化の度合いを示しているためです。

## ホワイトバランス

ホワイトバランスを変更します。設定できるホワイトバランスの種類についてはP.64をご覧ください。

### ホワイトバランスの微調整

［プリセット］以外のホワイトバランスの場合は、さらに以下の方法で微調整を行うことができます。微調整値に対応する色温度については、付録（P.182）をご覧ください。

**1** ［プリセット］以外のホワイトバランスを選んで OK ボタンを押す

**2** マルチセレクターの上下を押して微調整値を設定する

- 微調整値は１段ステップで±３段の範囲で設定できます。
- 「－」方向に微調整すると画像が赤っぽく、「＋」方向に微調整すると青っぽくなります。

**3** OK ボタンを押す

- 設定が有効になり、撮影メニューに戻ります。
- 情報画面のホワイトバランスアイコンに「＋」、または「－」が表示されます。

関連ページ

ホワイトバランスの色温度　→　付録ー資料集（P.182）

## プリセットホワイトバランス

特殊な照明の下で撮影するときなど、[オート]や[電球]などの設定では望ましい結果が得られない場合や、SDカード内の撮影済みの画像と同じホワイトバランスで撮影したいときは、事前に取得(プリセット)したホワイトバランスを使うことができます。プリセットデータとして使うことができるのは、以下の2種類のデータです。

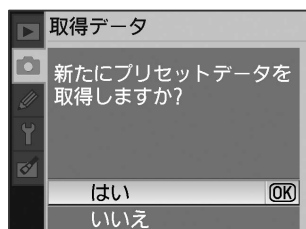
| 取得データ | カメラで取得したホワイトバランスを、プリセットデータとして使います。 |
|---|---|
| 撮影データ | 撮影済みの画像と同じホワイトバランスで撮影できます。SDカード内にある撮影済み画像のホワイトバランスを、プリセットデータとして使います。 |

## プリセットホワイトバランスをカメラで取得するには

プリセットデータとして保存できる[取得データ]は1つだけです。カメラでプリセットデータを取得するたびに、以前保存した[取得データ]は、新しいデータに置き換えられるので、ご注意ください。

**1** 撮影するときに使う照明と、白またはグレーの被写体を用意する

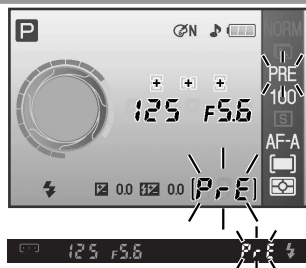
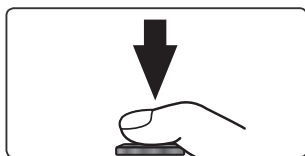
**2** [撮影メニュー]→[ホワイトバランス]→[プリセット]→[取得データ]を選んでマルチセレクターの右を押す

**3** [はい] を選んで OK ボタンを押す

**ヒント その他のプリセットホワイトバランスの取得方法**

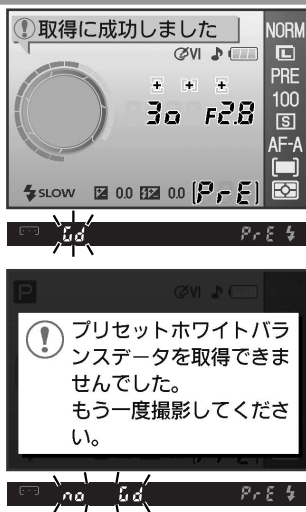
プリセットホワイトバランスは、メニュー操作で取得するほかに以下の方法で取得できます。

- 撮影設定変更画面 (P.64) で [ホワイトバランス] を [プリセット] にしてから、OK ボタンを押し続けると、次ページステップ4のプリセットデータ取得モードになります。
- カスタムメニュー [11 : ⏲/Fn ボタンの機能] (P.112) が [ホワイトバランス設定] になっているときに、[ホワイトバランス] を [プリセット] にしてから Fn ボタンを押し続けると、次ページステップ4のプリセットデータ取得モードになります。

4 プリセットデータ取得モードになる

- [撮影時に使う照明の下で、白またはグレーの被写体をファインダーいっぱいにとらえて撮影してください]と表示されたあと、プリセットデータ取得モードに入り、情報画面とファインダー内下部に、右のような表示が点滅します。

5 撮影時に使う照明の下で、用意した白（またはグレー）の被写体をファインダーいっぱいにとらえて、シャッターボタンを押す

- ピントが合っていなくても、プリセットデータは正常に取得されます。
- シャッターボタンを押しても、SDカードに画像は記録されません。

6 情報画面に、[取得に成功しました]と表示されたことを確認する

- これで、撮影時の照明の色に合わせてホワイトバランスが変更されました。
- 右のように表示された場合、データ取得は失敗です。原因として、被写体が明るすぎる、または暗すぎることが考えられます。もう一度ステップ2からやり直してください。

- プリセットデータ取得を途中でやめるには、MENU ボタンを押して、他のホワイトバランスに変更してください。

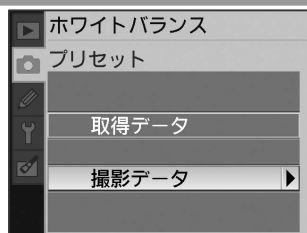
### データ取得についてのご注意

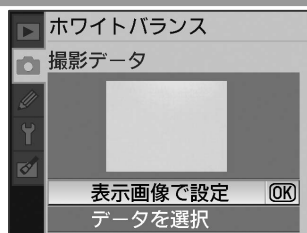
- プリセットデータとして[撮影データ]を使うように設定していても、新しくプリセットデータを取得すると、自動的に[取得データ]を使うように変更されます。
- ホワイトバランスを厳密に合わせたいときは、市販の18%標準反射板を使ってプリセットデータを取得してください。
- 適正露出で撮影してください。

## SDカード内の画像のホワイトバランスを使うには

ホワイトバランスのプリセットデータは、カメラで取得する方法（P.101）のほか、SDカード内にある撮影済み画像（撮影データ）から取得することもできます。

プリセットデータとして保存できる[撮影データ]は1つだけです。[撮影データ]からプリセットデータを取得するたびに、以前保存した[撮影データ]は、新しいデータに置き換えられるので、ご注意ください。

**1** [撮影メニュー]→[ホワイトバランス]→[プリセット]→[撮影データ]を選んでマルチセレクターの右を押す

**2** プリセットデータとして使いたい画像を選ぶ

- 新たに画像を選びたいときは、[データを選択]を選んでマルチセレクターの右を押し、ステップ3にお進みください。
- 画面に表示されている画像のホワイトバランスに設定したいときは、[表示画像で設定]を選んで OK ボタンを押すと、設定が有効になります。

**3** 使いたい画像が保存されているフォルダーを選ぶ

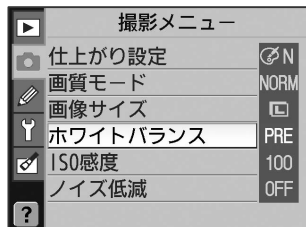
**4** マルチセレクターの右を押す

- 選んだフォルダー内の画像が一覧表示されます。

## 5 マルチセレクターの右または左を押して画像を選ぶ

- ボタンを押している間、選択中の画像が拡大表示されます。

## 6 OK ボタンを押す

- 設定が有効になり、撮影メニューに戻ります。

### ☑ プリセットデータについてのご注意

プリセットデータとして設定できるのは、D40xで撮影した画像だけです。D40x以外のデジタルカメラで撮影した画像も上記ステップ5の画像選択画面に表示されますが、プリセットデータとして設定することはできません。

## ISO感度

ISO感度を変更します。内容については撮影設定変更画面からの設定と同じです（P.49）。

## ノイズ低減

シャッタースピードが約8秒より低速になったり、高感度で撮影すると画像にノイズが入ることがあります。あらかじめ[ノイズ低減]を[する]にしておくと、このノイズを低減できます。初期設定は[しない]です。

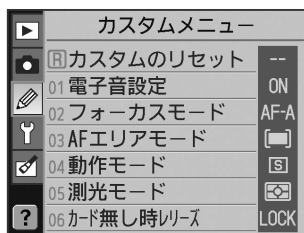
シャッタースピードが低速になった場合のノイズ低減処理中は、ファインダー内に右のように表示されます。この表示が消えると次の撮影ができます。

| | |
|---|---|
| する | シャッタースピードが約8秒より低速になったり、ISO感度が400より高くなると自動的にノイズを低減します。 |
| しない | ISO感度が800より高い場合のみ、ノイズを低減します。この場合のノイズ低減効果は、［する］に設定したときよりも弱めになります。 |

### ノイズ低減についてのご注意

- ノイズ低減処理が行われると連写速度は遅くなります。また、連続撮影可能コマ数も少なくなります。
- シャッタースピードが低速になったときのノイズ低減処理には、シャッタースピードの約半分から同等の時間がかかります。
- ノイズ低減処理中（ファインダー内下部に Job nr が点灯している間）に電源をOFFにすると、ノイズ低減の処理を行わずに画像を記録して電源が切れます。

# さらに細かい設定 ― カスタムメニュー

カスタムメニューでは、カメラの各種設定を、好みに合わせて変更することができます。カスタムメニューには、以下の項目があります。

- 7～17はセットアップメニューの[メニュー表示切り換え]（P.117）が[シンプルメニュー]（初期設定）のときは表示されません。また、[メニュー表示切り換え]を[マイメニュー]にしたときは、登録されているメニュー項目だけが表示されます。すべてのメニュー項目を表示するには、[フルメニュー]に変更してください。
- メニューの操作方法についてはP.88をご覧ください。

| R：カスタムのリセット | P.107 |
|---|---|
| 1：電子音設定 | P.107 |
| 2：フォーカスモード | P.33 |
| 3：AFエリアモード | P.34 |
| 4：動作モード | P.42 |
| 5：測光モード | P.59 |
| 6：カード無し時レリーズ | P.109 |

[メニュー表示切り換え]を[フルメニュー]にすると、以下の項目が表示されます。

| 7：撮影直後の画像確認 | P.109 |
|---|---|
| 8：フラッシュ調光補正 | P.63 |
| 9：内蔵AF補助光の照射 | P.110 |
| 10：感度自動制御 | P.110 |
| 11：セルフタイマー/Fn ボタンの機能 | P.112 |
| 12：AE-L/AF-L ボタンの機能 | P.112 |
| 13：半押しAEロック | P.113 |
| 14：内蔵フラッシュ発光 | P.113 |
| 15：パワーオフ時間 | P.114 |
| 16：セルフタイマー時間 | P.115 |
| 17：リモコン待機時間 | P.115 |

## R：カスタムのリセット

[する]を選ぶと、すべてのカスタムメニューの設定内容が、初期設定に戻ります。

**関連ページ**

初期設定について → 付録 撮影モード別：初期設定一覧（P.177）

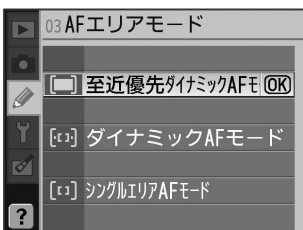
## 1：電子音設定

- [**する**]（初期設定）のときは、以下の場合に電子音が鳴ります。
  - ・セルフタイマー（P.43）の作動中
  - ・2秒リモコン撮影（P.43）の作動中
  - ・瞬時リモコン撮影（P.43）の完了時
  - ・オートフォーカスのピントが合ったとき（ただし、撮影モードが 🏃 のときや、[フォーカスモード]（P.33）が[AF-C]のとき、または[AF-A]で被写体が動いているとカメラが判断したときは、電子音は鳴りません）
- [**しない**]にすると、電子音は鳴りません。
- [**する**]のときは情報画面に ♪ マークが、[**しない**]のときは ♪̸ マークが表示されます。

## 2：フォーカスモード

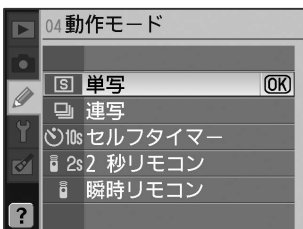
フォーカスモード（ピントの合わせ方）を変更します。内容については撮影設定変更画面からの設定と同じです（P.33）。

## 3：AFエリアモード

ピントを合わせるフォーカスエリアを、カメラがどのように選択するかを設定します。内容については撮影設定変更画面からの設定と同じです（P.34）。

関連ページ

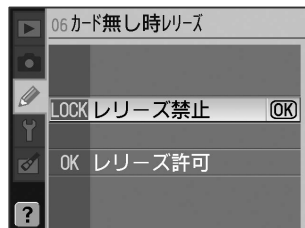
ピント合わせの方式を変える　→　【中級編】　ピントの合わせ方を選ぶ（P.33）
ピントを合わせる領域を指定する　→　【中級編】　フォーカスエリアを自分で選ぶ（P.35）

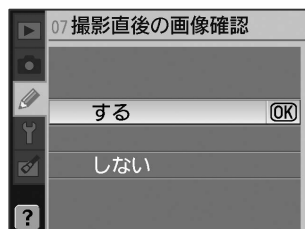
## 4：動作モード

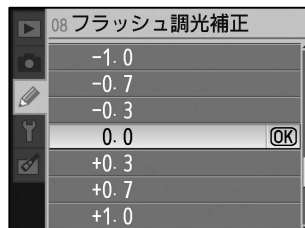
単写／連写モードや、セルフタイマー／リモコンモードを切り換えることができます。内容については撮影設定変更画面からの設定と同じです（P.42）。

## 5：測光モード（撮影モードＰＳＡＭで設定可能）

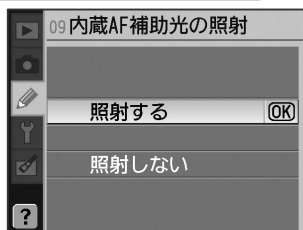
測光モードを変更します。内容については撮影設定変更画面からの設定と同じです（P.59）。

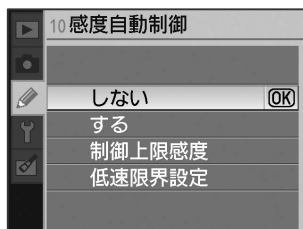
## 6：カード無し時レリーズ

- ［レリーズ禁止］（初期設定）のときは、カメラにSDカードを入れないとシャッターがきれません。
- ［レリーズ許可］にすると、SDカードを入れなくてもシャッターがきれるようになります。SDカードが入っていないときに撮影した画像は、液晶モニターに表示されますが、画像上に「デモモード」と表示され、プリントやSDカードへの保存はできませんのでご注意ください。

## 7：撮影直後の画像確認

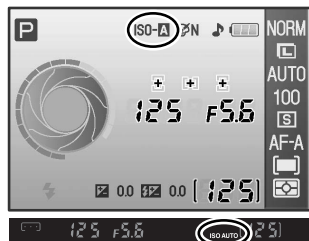
- ［する］（初期設定）のときは、撮影直後に、撮影した画像が液晶モニターに自動的に表示されます。表示時間はカスタムメニュー［15：パワーオフ時間］（P.114）で変更できます。
- ［しない］にすると、画像は自動表示されません。撮影した画像を確認したいときは ▶ ボタンを押してください。

## 8：フラッシュ調光補正（撮影モードＰＳＡＭで設定可能）

フラッシュの発光量を補正することができます。内容については撮影設定変更画面からの設定と同じです（P.63）。

## 9：内蔵AF補助光の照射（風景・スポーツ以外の撮影モードで設定可能）

- [照射する]（初期設定）のときは、ピント合わせの際に、必要に応じて自動的にAF補助光ランプが点灯します（P.33）。
- [照射しない]にすると、状況にかかわらず、AF補助光は点灯しません。被写体が暗い場合などは、オートフォーカスでのピント合わせができなくなる場合があります。

## 10：感度自動制御（撮影モードＰＳＡＭで設定可能）

- [しない]（初期設定）のときは、[ISO感度]（P.49）で設定したISO感度に固定されます。
- [する]にすると、通常は[ISO感度]で設定したISO感度で撮影しますが、設定した感度では適正露出が得られない場合には、カメラが自動的にISO感度を変更します。フラッシュ撮影時も、フラッシュの発光量が適正となるように感度自動制御が機能します。

［する］にしたときは、以下の感度の制御方法が設定できます。

| | | |
|---|---|---|
| **制御上限感度** | 感度自動制御を行う場合の、ISO感度の上限を設定します。これより高い感度に上がることはありません。 |  |
| **低速限界設定** | 撮影モード **P A** で感度自動制御が働き始めるシャッタースピードを設定します。ここで選択したシャッタースピードでは露出不足となる場合にISO感度を自動的に変更します。ただし、ISO感度を上欄の［制御上限感度］まで上げても露出不足になる場合は、適正露出を得るために、低速限界設定よりもさらにシャッタースピードが低速になります。 |  |

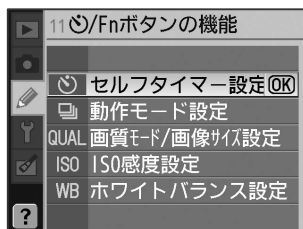
［する］にすると、情報画面とファインダー内下部に、右のように表示されます。表示が点灯している場合は、［ISO感度］で設定した感度で撮影されます。点滅している場合は、［ISO感度］で設定した感度では適正露出が得られないため、カメラが感度を変更していることを示しています。ただし、フラッシュ撮影時は感度自動制御が機能しても表示は点滅しません。

### 感度自動制御についてのご注意

- 情報画面に表示されるISO感度は、［ISO感度］（P.49）で設定したISO感度です。自動制御によって変更された感度は、再生時に撮影情報表示（P.67）で確認できます。
- ISO感度が高くなると、低いときに比べて、多少ざらついた画像になることがあります。
- 撮影モードがデジタルイメージプログラムのときや［ISO感度］が［HI 1］のときは、この項目を選ぶことはできません。また、感度自動制御を［する］にしていても、［ISO感度］を［HI 1］にすると、感度自動制御は行われません。
- フラッシュ撮影時も感度自動制御は機能しますが、以下のような場合は手前の被写体の露出がアンダーになることがあります。
  ・低速シャッタースピードでフラッシュ撮影（スローシンクロ）する場合
  ・日中の明るい場所でフラッシュ撮影（日中シンクロ）する場合
  ・背景が明るい場合
  このようなときは、以下のように対処すればフラッシュの光が届きやすくなります。
  ・撮影モード**A**などにして絞りを開く
  ・スローシンクロを解除する

### 関連ページ

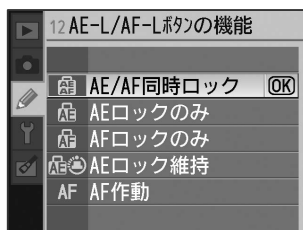
【中級編】 ISO感度を設定する（P.49）

## 11：⏲/Fn ボタンの機能

⏲（Fn）ボタンを押したり、⏲（Fn）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの動作を、以下の表のように変更することができます。

| | | |
|---|---|---|
| ⏲ | セルフタイマー（初期設定） | ⏲（Fn）ボタンを押すと、セルフタイマーモード（P.43）に切り換わります。 |
| ⧉ | 動作モード設定※ | ⏲（Fn）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動作モード（P.42）が切り換わります。 |
| QUAL | 画質モード/画像サイズ設定※ | ⏲（Fn）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、画質モード（P.40）と画像サイズ（P.40）の組み合わせが切り換わります。 |
| ISO | ISO感度設定※ | ⏲（Fn）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ISO感度（P.49）が切り換わります。 |
| WB | ホワイトバランス設定※ | ⏲（Fn）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバランス（P.64、100）が切り換わります（撮影モード **P S A M**のみ）。 |

※ 撮影情報変更画面と情報画面（セットアップメニューの［情報画面デザイン］（P.119）が［クラシックデザイン］の場合のみ）で、⏲（Fn）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して設定できる機能の表示の隣に Fn アイコンが表示されます。

## 12：AE-L/AF-Lボタンの機能

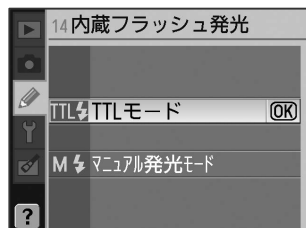
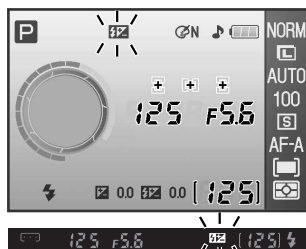
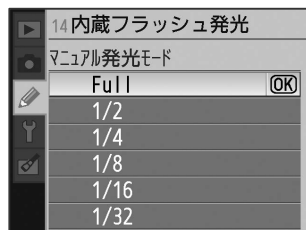
AE-L AF-L ボタンの役割を次の表のように変更することができます。

| | | |
|---|---|---|
| AE AF | AE/AF同時ロック（初期設定） | AE-L AF-L ボタンを押すと、AEロック（P.60）とフォーカスロック（P.36）が同時に行われます。 |
| AE | AEロックのみ | AE-L AF-L ボタンを押すと、AEロック（P.60）だけが行われます。 |
| AF | AFロックのみ | AE-L AF-L ボタンを押すと、フォーカスロック（P.36）だけが行われます。 |
| AE | AEロック維持 | AE-L AF-L ボタンを押すと、AEロック（P.60）状態が維持され、もう一度押すと解除されます。 |
| AF | AF作動 | AE-L AF-L ボタンを押すと、オートフォーカスが作動します。シャッターボタンを半押ししても、オートフォーカスは作動しないのでご注意ください。 |

## 13：半押しAEロック

- [しない]（初期設定）のときは、シャッターボタンを半押ししても、AEロック（P.60）は行われません。
- [する]にすると、シャッターボタンを半押ししたときに、AEロックが行われます。

## 14：内蔵フラッシュ発光（撮影モードＰＳＡＭで設定可能）

内蔵フラッシュの発光制御方法を設定します。

- [TTLモード]（初期設定）のときは、発光量が自動的に制御されます。

- [マニュアル発光モード]にすると、右の画面が表示され、[Full]（フル発光）のほか、５段階の発光量を選ぶことができます。[Full]（フル発光）での内蔵フラッシュのガイドナンバーは約13（ISO100・m、20℃）です。[マニュアル発光モード] にすると、情報画面とファインダー内下部で マークが点滅します。

**ヒント　別売スピードライトSB-400を装着している場合について**

別売スピードライトSB-400をカメラに装着している場合は、メニュー名［14：内蔵フラッシュ発光］が［14：外付けフラッシュ発光］に変わり、SB-400の発光制御方法を設定できます。

# 15：パワーオフ時間

何も操作をしないで一定時間が過ぎると、バッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターやファインダー内表示が消灯します。ここでは、液晶モニターが自動的に消灯するまでの時間や半押しタイマーがオフになるまでの時間を変更できます。

| | |
|---|---|
| **SHORT 短め** | 何も操作しないと、画像の再生時やメニュー表示時や撮影直後の画像確認時には４秒で液晶モニターが消灯します。半押しタイマー（P.22）は４秒でオフになります。情報画面が表示されている場合は、半押しタイマーがオフになると同時に消灯します。 |
| **NORM 標準**（初期設定） | 何も操作しないと、画像の再生時やメニュー表示時には８秒で、撮影直後の画像確認時には４秒で液晶モニターが消灯します。また、半押しタイマー（P.22）は８秒でオフになります。情報画面が表示されている場合は、半押しタイマーがオフになると同時に消灯します。 |
| **LONG 長め** | 何も操作しないと、画像の再生時やメニュー表示時には20秒で、撮影直後の画像確認時には20秒で液晶モニターが消灯します。半押しタイマー（P.22）は１分でオフになります。情報画面が表示されている場合は、半押しタイマーがオフになると同時に消灯します。 |
| **カスタマイズ** | **[再生/メニュー表示]**：画像の再生時やメニュー表示時に液晶モニターが消灯するまでの時間を[4秒][8秒][20秒][1分][10分]から選べます。<br>**[撮影直後の画像確認]**：撮影直後の画像確認時に液晶モニターが消灯するまでの時間を[4秒][8秒][20秒][1分][10分]から選べます。<br>**[半押しタイマー]**：半押しタイマー（P.22）がオフになるまでの時間を[4秒][8秒][20秒][1分][30分]から選べます。情報画面が表示されている場合は、半押しタイマーがオフになると同時に消灯します。 |

### ☑ パワーオフ時間についてのご注意

- パワーオフ時間が長くなるほど、バッテリーの消耗が速くなります。
- 別売のパワーコネクター EP-5とACアダプター EH-5（P.157）を接続しているときは、[パワーオフ時間]の設定にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。
- パソコン（P.73）やPictBridge（P.181）対応のプリンターを接続しているときは、[パワーオフ時間]の設定にかかわらず、カメラの電源はOFFになりません。
- ［半押しタイマー］が［撮影直後の画像確認］よりも長い設定にしていても、カスタムメニュー［7：撮影直後の画像確認］（P.109）が［する］に設定されている場合は、撮影直後の画像確認が終了するとともに半押しタイマーがオフになります。
- リモコン撮影（P.43）時は、カスタムメニュー［17：リモコン待機時間］（P.115）で設定した時間でパワーオフします。

## 16：セルフタイマー時間

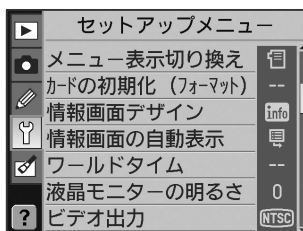
セルフタイマー撮影 (P.43) 時に、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでの時間を変更できます。初期設定は[10秒]です。

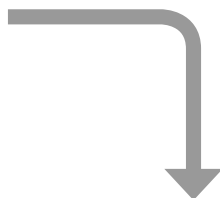
## 17：リモコン待機時間

リモコン撮影 (P.43) 時に、カメラがリモコンからの信号を待ち受ける時間を変更できます。初期設定は[1分]です。

- リモコンモードにしてから、リモコン撮影をしないままで受信待機時間が過ぎると、リモコンモードが解除されます。

# カメラの基本設定 — セットアップメニュー

カメラの基本的な設定は[セットアップメニュー]で行います。セットアップメニューには以下の項目があります。

- 右下の表に記載されている項目は[メニュー表示切り換え]が[シンプルメニュー]（初期設定）のときは表示されません。また、[メニュー表示切り換え]を[マイメニュー]にしたときは、登録されているメニュー項目だけが表示されます。すべてのメニュー項目を表示するには、[フルメニュー]に変更してください。
- メニューの操作方法についてはP.88をご覧ください。

| メニュー表示切り換え | P.117 |
|---|---|
| カードの初期化（フォーマット） | P.118 |
| 情報画面デザイン | P.119 |
| 情報画面の自動表示 | P.121 |
| ワールドタイム | P.121 |
| 液晶モニターの明るさ | P.122 |
| ビデオ出力 | P.122 |
| 言語（LANG） | P.122 |
| 画像コメント | P.123 |
| USB設定 | P.124 |

[メニュー表示切り換え]を[フルメニュー]にすると、以下の項目が表示されます。

| 記録フォルダー設定 | P.125 |
|---|---|
| 連番モード | P.127 |
| クリーニングミラーアップ | P.128 |
| ファームウェアバージョン | P.128 |
| イメージダストオフデータ取得 | P.128 |
| 縦横位置情報の記録 | P.130 |

# メニュー表示切り換え

各メニュー画面に表示されるメニュー項目を設定します。

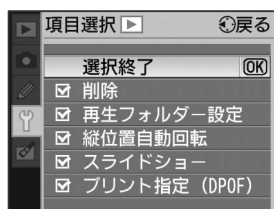
| | |
|---|---|
| **シンプルメニュー**（初期設定） | カスタムメニュー（P.106）とセットアップメニュー（P.116）には、一部の基本的なメニュー項目だけが表示されます。再生メニュー、撮影メニュー、画像編集メニューにはすべてのメニュー項目が表示されます。 |
| **フルメニュー** | すべてのメニュー項目が表示されます。 |
| **マイメニュー** | あらかじめ登録したメニュー項目だけ表示されます。 |

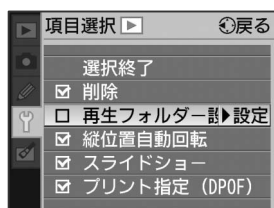
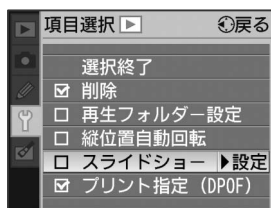
## [マイメニュー]の設定方法

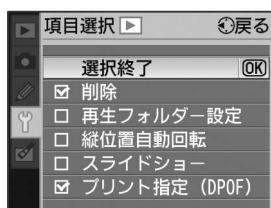
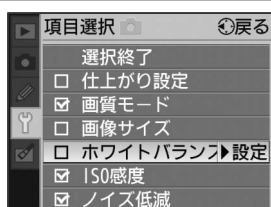
**1** 上の画面で[マイメニュー]を選んでマルチセレクターの右を押す

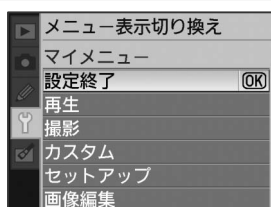
- 右の画面が表示されます。

**2** 編集したいメニューを選んで右を押す

- 選んだメニューの項目が一覧表示されます。右の画面は、再生メニューを選んだ場合の表示例です。

**3** マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ

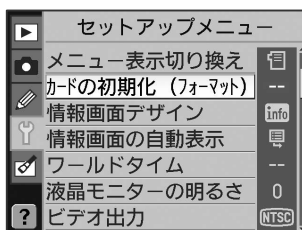
- チェックボックスをオン ☑ にした項目がマイメニューに登録され、オフ ☐ にすると登録されません。オン／オフを切り換えるには、そのメニュー項目を選んで、右を押してください。
- セットアップメニューの[メニュー表示切り換え]は、選ぶことができません。

4 手順3を繰り返し、表示したいすべてのメニュー項目のチェックボックスをオン☑にする

5 [選択終了]を選んで、OKボタンを押す

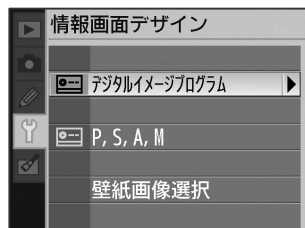
- 手順1の画面に戻ります。

6 手順1～5を繰り返し、5種類のメニューそれぞれについて、マイメニューに登録する項目を設定する

7 [設定終了]を選んでOKボタンを押す

- セットアップメニュー画面に戻ります。

## カードの初期化（フォーマット）

SDカードを初期化（フォーマット）します。**初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化の前にパソコンなどに保存してください。

**☑ カードの初期化についてのご注意**

[フォーマット中]のメッセージが液晶モニターに表示されている間は、電源をOFFにしたり、SDカードを取り出したりしないでください。

## 情報画面デザイン

情報画面（P.8）のデザインを、デジタルイメージプログラム（撮影モード AUTO など）と、撮影モード **P S A M** のそれぞれで、以下のような[クラシックデザイン]、[グラフィックデザイン]（P.8）、[壁紙デザイン]の3種類から選ぶことができます。

クラシックデザイン

グラフィックデザイン

壁紙デザイン

### [クラシックデザイン]

[クラシックデザイン] の表示内容は以下のとおりです。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 撮影モード | P.6 |
| 2 | シャッタースピード | P.53～57 |
| 3 | ISO AUTOマーク | P.49、110 |
| 4 | 仕上がり設定表示 | P.97 |
| 5 | フォーカスエリア表示 | P.20、23 |
| | AFエリアモード表示 | P.34 |
| 6 | 電子音表示 | P.107 |
| 7 | バッテリー残量表示 | P.21 |
| 8 | 記録可能コマ数 | P.22、179 |
| | ホワイトバランスプリセットデータ取得モード表示 | P.102 |
| | PCカメラモード表示 | P.75 |
| 9 | マニュアル発光設定マーク | P.113 |
| | 外付けスピードライト調光補正マーク | P.153 |
| 10 | 露出インジケーター | P.58 |
| | 露出補正インジケーター | P.62 |
| 11 | 絞り値 | P.53～57 |
| 12 | フラッシュモード | P.47 |
| 13 | 露出補正値 | P.62 |
| 14 | ヘルプあり表示 | P.5 |
| 15 | 調光補正値 | P.63 |
| 16 | 測光モード | P.59 |
| 17 | AFエリアモード | P.34 |
| 18 | フォーカスモード | P.33 |
| 19 | 動作モード | P.42 |
| 20 | ISO感度 | P.49 |
| 21 | ホワイトバランスモード | P.64、100 |
| 22 | 画像サイズ | P.40 |
| 23 | 画質モード | P.40 |

**✓ 情報画面デザインが [クラシックデザイン] の場合のメニュー表示についてのご注意**

情報画面デザインを [クラシックデザイン] にすると、メニューの背景色も、[グラフィックデザイン]（初期設定）、[壁紙デザイン] から変わります。

## [壁紙デザイン]

[壁紙デザイン] の表示内容は [グラフィックデザイン] と同じです。撮影した画像を情報画面の壁紙に設定できます。ただし、絞りイメージ (P.8)、シャッタースピードイメージ (P.8) は表示されません。

[壁紙デザイン] で使う画像は以下の手順で設定してください。

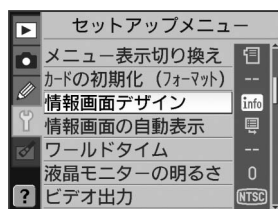
**1** [壁紙画像選択] を選んでマルチセレクターの右を押す

- 右の画面が表示されます。

**2** マルチセレクターの右または左を押して画像を選ぶ

- 🔍 ボタンを押している間、選択中の画像が拡大表示されます。

**3** OK ボタンを押す

- 設定が有効になり、セットアップメニューに戻ります。

### ☑ 壁紙画像選択についてのご注意

- [壁紙画像選択] で画像を設定すると、選択した画像は壁紙用の画像に変換され、カメラ内に保存されます。
- [壁紙画像選択] で画像を設定すると、ご購入時や変更前に設定されていた壁紙用の画像はカメラ内から削除され、新しく設定した画像に置き換わります。
- 壁紙用の画像は、SDカードにコピーしたり、カメラで再生したりすることができません。また、壁紙用の画像を他の画像に変更した場合、SDカードから削除された画像は再び設定することができません。

## 情報画面の自動表示

[自動表示する]に設定すると、シャッターボタンを半押して（軽く押して）指を放すだけで、液晶モニターに情報画面を表示できます。また、カスタムメニュー［7：撮影直後の画像確認］を［自動表示しない］に設定すると、撮影直後も情報画面が表示されます。

- 撮影設定を確認する機会が多いときに便利です。
- 撮影モードがデジタルイメージプログラム（撮影モード AUTO ）と、撮影モード **P S A M** のそれぞれについて設定することができます。
- この設定にかかわらず、シャッターボタンを押している間、液晶モニターは消灯します。

## ワールドタイム

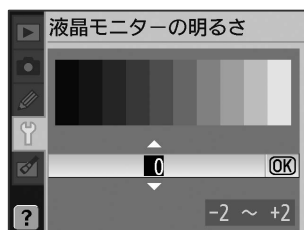
カメラの内蔵時計の日時を設定します。日時設定の手順については、「日付と時刻を設定する」（P.14）をご覧ください。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

| | |
|---|---|
| **現在地の設定** | 現在地のタイムゾーンを選びます。現在地のタイムゾーンを変更すると、[日時の設定]で設定された日時が、時差に合わせて自動的に更新されます。 |
| **日時の設定** | [現在地の設定]で選んだタイムゾーンでの時刻を設定します。 |
| **日付の表示順** | 日付の表示順を、[年／月／日]、[月／日／年]、[日／月／年]から選ぶことができます。 |
| **夏時間** | 現在地で夏時間（サマータイム制）が実施されている場合は[ON]に、そうでない場合は[OFF]に設定します。[ON]にすると、時刻が1時間進みます。初期設定は[OFF]です。 |

### ✓ 時計用電池についてのご注意

カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れるか、別売のパワーコネクター EP-5とACアダプター EH-5（P.157）を接続すると、時計用電池が充電されます。充電には約3日間かかり、充電すると、約1ヶ月の間時計を動かすことができます。液晶モニターに[日時未設定]と表示された場合は、内蔵時計の設定が初期化されているため、撮影日時が正しく記録されません。もう一度日時設定を行ってください。

## 液晶モニターの明るさ

液晶モニターの明るさをー２～＋２の５段階で調整できます。

## ビデオ出力

テレビやビデオなどに接続する場合のビデオ出力方式を設定します。通常、日本国内では[NTSC]（初期設定）にします。

- [PAL]はPAL方式のテレビやビデオに接続する場合に使います。[PAL]にした場合、画面がちらつくことがあります。

- ビデオ出力方式にかかわらず、ビデオケーブルをカメラに接続しているときは、液晶モニターは点灯しません。

## 言語（LANG）

メニューやメッセージの表示言語を、以下の15種類から選ぶことができます。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **De Deutsch** | ドイツ語 | **It Italiano** | イタリア語 | **Sv Svenska** | スウェーデン語 |
| **En English** | 英語 | **Nl Nederlands** | オランダ語 | **繁 中文（繁體）** | 繁体中国語 |
| **Es Español** | スペイン語 | **Pl Polski** | ポーランド語 | 简 中文（简体） | 簡体中国語 |
| **Fi Suomi** | フィンランド語 | **Pt Português** | ポルトガル語 | **日 日本語** | 日本語 |
| **Fr Français** | フランス語 | **Ru Русский** | ロシア語 | **한 한글** | 韓国語 |

## 画像コメント

あらかじめコメントを登録しておき、撮影する画像に添付することができます。添付されたコメントは、PictureProjectや別売のCapture NX (P.157) の撮影情報表示エリアに表示されます。

### コメントの入力

コメントを登録します。[コメント入力]を選んでマルチセレクターの右を押すと、画像コメントの入力画面（下記ヒント参照）が表示されます。36文字までのコメントを入力し、ボタンを押すと、コメントが登録されます。

### コメントの添付

登録したコメントを画像に添付したい時は、[コメント添付]を選んでマルチセレクターの右を押し、チェックボックスをオン☑にします。[設定終了]を選んで OK ボタンを押すと、設定が有効になり、その後撮影した画像にはすべてコメントが添付されます。

**ヒント　画像コメント入力画面の操作方法**

**キーボードエリア**
マルチセレクターで文字を選び、OK ボタンを押すと、コメントエリアに文字が入力されます。

**コメントエリア**
入力した文字が表示されます。コマンドダイヤルを回すと、カーソルが左右に移動します。

- 入力した文字は、カーソルがある位置に挿入されます。
- 入力できるのは36文字までです。37文字以上入力すると、コメントエリアからあふれた文字が削除されます。
- 文字を削除したいときは、削除する文字の上にカーソルを移動し、ボタンを押します。その文字が削除され、後ろの文字が繰り上がります。
- コメントの登録をキャンセルしたいときは、MENU ボタンを押してください。

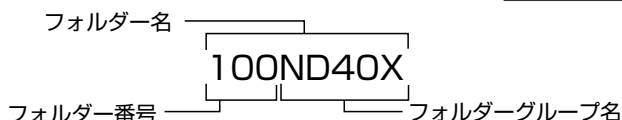
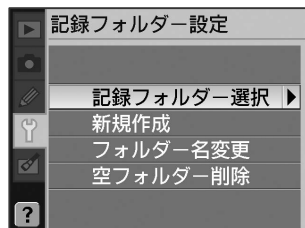
## USB設定

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続するときのUSB通信方式を設定します。

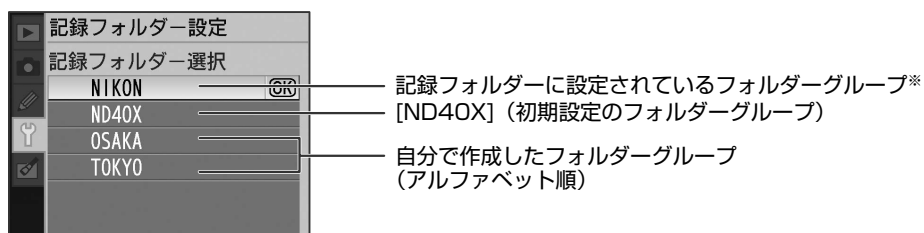
- 付属のPictureProjectソフトウェアを使って画像をパソコンに転送するときは、お使いのOS（オペレーションシステム）に合わせて正しい通信方式を選んでください。詳しくは「【接続編】画像をパソコンに転送する」（P.73）をご覧ください。
- PictBridge規格対応プリンターに直接接続してプリントするときは、[MTP/PTP]にしてください。
- 別売のCamera Control Pro（P.157）をお使いになるときは、[MTP/PTP]にしてください。

## 記録フォルダー設定

画像を記録するフォルダーを選んだり、新しく作成することができます。

フォルダー名は3ケタの数字（フォルダー番号）と5ケタの英数字（フォルダーグループ名）で構成されています。

### 記録フォルダー選択

[記録フォルダー選択]を選んでマルチセレクターの右を押すと、下のような[記録フォルダー選択]画面が表示され、画像を記録するフォルダーグループを選ぶことができます。

フォルダー選択画面の見方は以下の通りです。

※ 記録フォルダーに設定したフォルダーグループは、[空フォルダー削除]で削除したり、SDカードを交換した場合でもそのまま表示されます。このフォルダーグループを選んだままで撮影を行うと、同じ名称のフォルダーグループが、再び作成されます。

#### ✔ グループ内に複数のフォルダーがある場合のご注意

使用中のフォルダー内の画像ファイルが999コマに達するか、ファイル番号が9999に達した時に撮影を行うと、同じグループ名で番号が更新されたフォルダーが自動的に作成されます。
グループ内に複数のフォルダーがある場合、[記録フォルダー選択]でそのグループを選ぶと、グループ内でフォルダー番号が最大のフォルダーが選ばれます。たとえば、101ND40X、102ND40Xというフォルダーがある場合、[記録フォルダー選択]で[ND40X]を選ぶと、102ND40Xに画像が記録されます。

## 新規作成

新しいフォルダーグループを作成します。[新規作成]を選んでマルチセレクターの右を押すと、フォルダー名編集画面（下記ヒント参照）が表示されます。5文字までのフォルダーグループ名を入力し、 ボタンを押すと、フォルダーグループが作成されます。

## フォルダー名変更

[フォルダー名変更]を選ぶと、フォルダーグループ名の一覧が表示されます。名称を変更したいフォルダーグループを選んでマルチセレクターの右を押すと、グループ名編集画面（下記ヒント参照）が表示されます。5文字までのグループ名を入力し、 ボタンを押すと、グループ名が変更され、同時にそのグループ内のすべてのフォルダーのフォルダー名が変更されます。ただし、フォルダー番号は変更されません。

## 空フォルダー削除

画像が1コマも記録されていないフォルダーグループがすべて削除されます。

### ヒント　グループ名編集画面の操作方法

**キーボードエリア**
マルチセレクターで文字を選び、 ボタンを押すと、グループ名エリアに文字が入力されます。

**グループ名エリア**
入力した文字が表示されます。コマンドダイヤルを回すと、カーソルが左右に移動します。

- 入力した文字は、カーソルがある位置に挿入されます。
- 入力できるのは5文字までです。6文字以上入力すると、グループ名エリアからあふれた文字が削除されます。
- 文字を削除したいときは、削除する文字の上にカーソルを移動し、 ボタンを押します。その文字が削除され、後ろの文字が繰り上がります。
- フォルダーグループの新規作成やグループ名の変更を中止したいときは、 ボタンを押して、メニューに戻ってください。

## 連番モード

- [OFF]（初期設定）のときは、SDカードや画像を記録するフォルダーを変更するたびに、ファイル番号が「0001」に戻ります。連番モードを[ON]から[OFF]に変更しても、カメラはファイル番号を記憶しています。次に[ON]に切り換えたときは、以前記憶した番号からの連番でファイル名が付けられます。
- [ON]にすると、SDカードを交換したり、画像を記録するフォルダーを変更しても、以前からの続きのファイル番号を付けることができます。複数のカードを使って撮影してもファイル番号が重複しないため、撮影後の画像ファイルを管理しやすくなります。
- [リセット]を選んで OK ボタンを押すと、カメラが記憶しているファイル番号をリセットします。リセット後に撮影を行うと、新しいフォルダーが作成され、「0001」からの連番でファイル番号が付けられます。ただし、記録フォルダーに設定されているフォルダーに画像ファイルが無い場合は、フォルダーは作成されず、「0001」からの連番で画像が記録されます。

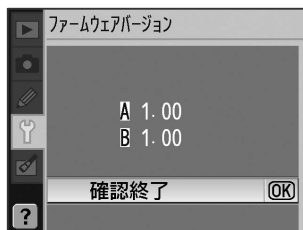
### ファイル番号についてのご注意

- ファイル番号が9999に達したときに撮影を行うと、自動的に新規フォルダーが作成され、連番モードの設定にかかわらずファイル番号が0001番に戻ります。
- フォルダー番号が999に達しているときに、ファイル番号が9999に達するか、このフォルダー内のファイル数が999個に達した場合は、それ以上フォルダーを作成することができず、シャッターがきれなくなります。また、液晶モニターには「メモリーカード空き容量不足」の警告メッセージが表示され、ファインダー内下部に Ful が点滅表示されます。この場合は、[連番モード]を[リセット]した後、SDカードをフォーマットするか、交換してください。

## クリーニングミラーアップ

撮像素子上のローパスフィルターの汚れを調べたり、クリーニングするために、ミラーを上げた状態で固定します。詳しくは「付録：ローパスフィルターのお手入れ」（P.160）をご覧ください。

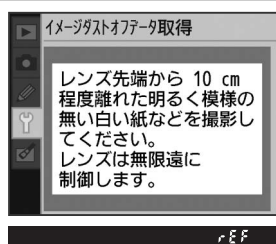
## ファームウェアバージョン

カメラを制御する「ファームウェア」のバージョンを表示します。

## イメージダストオフデータ取得

別売のCapture NX（P.157）の「イメージダストオフ機能」を使うためのデータを取得します。イメージダストオフとは、カメラのローパスフィルターに付いたゴミによる影響を、RAW画像から取り除く機能です。詳しくは、Capture NXの使用説明書をご覧ください。

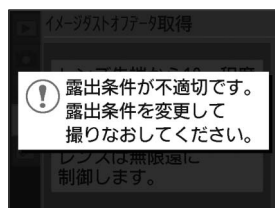
### イメージダストオフデータ取得の手順

**1** 上の画面で［する］を選んで OK ボタンを押す

- 右の画面が表示されます。
- データ取得を取り消したいときは、MENU ボタンを押してください。
- ファインダー内下部に、イメージダストオフデータ取得モード表示が表示されます。

## 2 レンズ先端から10cm程度離れた、明るく白い無地の被写体を画面いっぱいにとらえ、シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスのときは、カメラが自動的に無限遠にピントを合わせます。
- マニュアルフォーカスのときは、手動で無限遠に合わせてください。

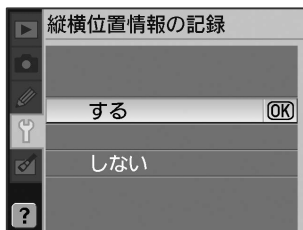
## 3 シャッターボタンを押し込んで撮影する

- シャッターボタンを押すと、液晶モニターが消灯します。
- 被写体が明るすぎたり暗すぎたために、データが取得できなかった場合は、右の画面が表示され、ステップ1の状態に戻ります。被写体の明るさを変えて、もう一度撮影してください。

### ☑ イメージダストオフデータ取得についてのご注意

- 非CPUレンズをお使いの場合は、[イメージダストオフデータ取得]を選ぶことはできません。
- お使いになるCPUレンズは、焦点距離が50mm以上のものをおすすめします（P.146）。
- ズームレンズは望遠側にしてください。
- 取得したイメージダストオフデータは、データ取得後にレンズや絞り値を変更して撮影した画像にも適用できます。
- イメージダストオフデータを画像処理ソフトウェアなどで開くことはできません。
- イメージダストオフデータをカメラで再生すると、右の画面が表示されます。ヒストグラム、ハイライトは表示できません。

## 縦横位置情報の記録

撮影時のカメラの縦横位置情報（姿勢）を画像に記録するかどうかを設定します。

- [する]（初期設定）のときは、液晶モニターやPictureProject、別売のCapture NX（P.157）で画像を再生するときに、記録した縦横位置情報を利用して、自動的に画像を回転表示します。

  記録されるカメラの姿勢情報は、以下の３種類です。

- [しない]にすると、姿勢情報は記録されず、再生時には常に横位置で表示されます。

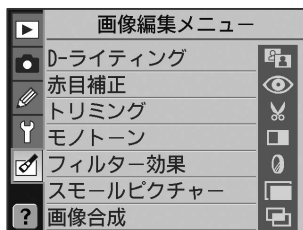
### 縦横位置情報の記録についてのご注意

- 連写モード（P.42）では、最初の１コマを撮影した縦横位置が記録されます。連写中に構図を変えても、縦横位置情報には反映されません。
- カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

### 関連ページ

縦横位置情報を利用して画像を回転表示するかどうかを設定する　→　縦位置自動回転（P.93）

# 撮影した画像を編集する — 画像編集メニュー

[画像編集メニュー]では、SDカード内の撮影済み画像に、様々な特殊効果を加えたり、サイズを縮小するなどの編集を行うことができます。画像編集を行った場合は必ず、元の画像とは別に、新しい画像として記録されます。画像編集メニューには、以下の項目があります。

- セットアップメニューの[メニュー表示切り換え]（P.117）を[マイメニュー]にしたときは、登録されているメニュー項目だけが表示されます。
- カメラにSDカードが入っていない場合やSDカードに画像が記録されていない場合は、画像編集メニューは表示されません。
- メニューの操作方法についてはP.88をご覧ください。

| | | |
|---|---|---|
| D-ライティング | 逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を明るく補正することができます。 | P.134 |
| 赤目補正 | 「赤目現象」のために人物の瞳の部分が赤くなってしまった画像を、補正することができます。 | P.135 |
| トリミング | 画像の必要な部分だけを切り抜くことができます。 | P.136 |
| モノトーン | モノトーンの画像（1色の明暗だけで表現された画像）を作成します。 | P.137 |
| フィルター効果 | 画像全体の色調を演出できます。 | P.138 |
| スモールピクチャー | SDカード内の画像から、サイズを小さくした別の画像を作ります。 | P.139 |
| 画像合成 | 2コマのRAW画像を合成して、1コマの画像にします。 | P.141 |

### 画像編集についてのご注意

- 画像編集によって作成した画像に、さらに画像編集を行うこともできますが、画像が粗くなったり、退色したりする場合があります。ただし、以下の画像編集は行えません。
  - 同じ画像編集を繰り返し行うこと
  - [スモールピクチャー]、[トリミング]で作成した画像に対してさらに画像編集を行うこと
  - [モノトーン]で作成した画像に対して、さらに[D-ライティング]、[赤目補正]、[フィルター効果]の画像編集を行うこと
- 撮影メニュー[仕上がり設定]（P.97）を[白黒]にして撮影した画像に対して、[D-ライティング]、[赤目補正]、[モノトーン]、[フィルター効果]の画像編集を行うことはできません。
- D40x以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、D40xでは再生または編集できないことがあります。

### 画質モードと画像サイズについて

- [D-ライティング]、[赤目補正]、[モノトーン]、[フィルター効果]で作成した画像は、元画像と同じ画質モード（P.40）と画像サイズ（P.40）で記録されます。ただし、元画像の画質モードが[RAW]または[RAW+BASIC]の場合、画質モードが[FINE]、画像サイズが[L]のJPEG画像が作成されます。
- [トリミング]で作成した画像については、P.136をご覧ください。
- [スモールピクチャー]で作成した画像の画質モードは、[FINE]になります。

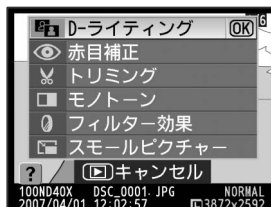
## 画像編集メニューの操作手順

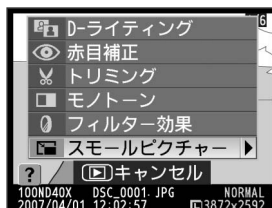
画像編集を行うには、
① 画像を選んでからメニュー項目を選ぶ
② メニュー項目を選んでから画像を選ぶ
の２通りの手順があります。ただし、［画像合成］（P.141）は手順②しか利用できません。

**手順①：画像を選んでからメニュー項目を選ぶ場合**

1

1コマ表示モード（P.65）で編集したい画像を選ぶ

2

画像編集メニューが表示される

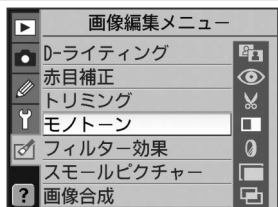
3

メニュー項目を選ぶ

4

選んだ項目の編集画面が表示される

- 編集画面の操作方法については、各項目の説明をご覧ください。
- メニュー項目によっては、さらに詳細なメニューが表示される場合があります。この場合は手順３～４を繰り返してください。
- 画像編集を途中でやめるには、◙ ボタンを押してください。１コマ表示モードに戻ります。

## 手順②：メニュー項目を選んでから画像を選ぶ場合

1

画像編集メニューでメニュー項目を選ぶ

2

画像の選択画面が表示される

3

画像を選ぶ

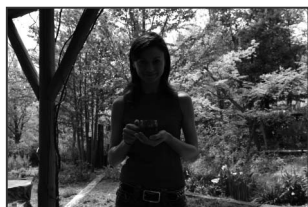
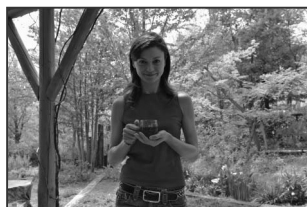
- ボタンを押している間、選んだ画像が拡大表示されます。

4

選んだ項目の編集画面が表示される

- 編集画面の操作方法については、各項目の説明をご覧ください。
- 画像編集を途中でやめるには、MENU ボタンを押してください。画像編集メニューに戻ります。

## D-ライティング

D-ライティングでは、画像の暗い部分だけを明るく補正することができます。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなってしまった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなってしまった画像などに効果的です。

D-ライティング前

D-ライティング後

編集画面には、D-ライティングの効果の適用前と適用後のプレビュー画像が表示されます。

- マルチセレクターを上または下に押すと、効果の度合いを[強め]、[標準]、[弱め]の3段階から選ぶことができます。効果の度合いは、設定画面のプレビュー画像で確認できます。
- OK ボタンを押すと編集した画像が記録され、1コマ表示モードに戻ります。

## 赤目補正

フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって人物の瞳の部分が赤くなってしまった画像を、補正することができます。

編集画面では、プレビュー画像が表示され、以下の操作ができます。

<table>
<tr><td>拡大率を上げる</td><td></td><td>ボタンを押すごとにプレビュー画像の拡大率が上がります。</td><td rowspan="3">プレビュー画像の拡大表示中にこれらの操作を行うと、画面の右下に画像全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が黄色い枠で囲んで示されます。数秒すると消えますが、再度操作すると表示されます。</td></tr>
<tr><td>拡大率を下げる</td><td></td><td>プレビュー画像の拡大再生中は、ボタンを押すごとに拡大率が下がります。</td></tr>
<tr><td>画面をスクロール（移動）させる</td><td>OK</td><td>プレビュー画像の拡大再生中は、画面をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。マルチセレクターを押し続けると、高速で移動します。</td></tr>
<tr><td>画像を保存する</td><td>OK</td><td colspan="2">補正した画像が記録され、1コマ表示モードに戻ります。</td></tr>
</table>

### ✓ 赤目補正についてのご注意

赤目補正を行う場合は、次のことにご注意ください。

- 画像によっては、望ましい結果が得られない場合があります。
- ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合があります。

赤目補正を行う場合は、画像を保存する前に、プレビュー画像で効果をよく確認してください。

### ✓ 赤目補正できない画像について

以下の画像の場合、赤目補正はできません。

- フラッシュを使わずに撮影した画像の場合、画像編集メニューで［赤目補正］を選べません。
- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正できません。

## トリミング

画像の必要な部分だけを切り抜きます。

編集画面では、トリミング画像のプレビューが表示され、以下の操作ができます。

| | | |
|---|---|---|
| **画像の拡大率を上げる**<br>（切り抜く範囲を狭くする） | 🔍 | 🔍 ボタンを押すごとにプレビュー画像の拡大率が上がります。<br>• トリミングで切り抜く範囲は狭くなります。 |
| **画像の拡大率を下げる**<br>（切り抜く範囲を広くする） | 🔍 | プレビュー画像の拡大再生中は、🔍 ボタンを押すごとに拡大率が下がります。<br>• トリミングで切り抜く範囲は広くなります。 |
| **画面をスクロール（移動）させる** | OK | トリミングで切り抜く範囲を移動します。画面をスクロールさせて、切り抜きたい部分をプレビュー画像に表示します。 |
| **トリミングを実行して画像を保存する** | OK | トリミングした画像が記録され、1コマ表示モードに戻ります。 |

### トリミング画像の画質モードと画像サイズについて

トリミング画像の画質モード（P.40）は、元画像の画質モードが[RAW]、[RAW+BASIC]のときは[FINE]になり、[FINE]、[NORMAL]、[BASIC]のときは元画像と同じ画質モードになります。画像サイズ（P.40）は切り抜く範囲に応じて、以下の中から自動的に決定されます。

・2560×1920 ・1920×1440 ・1280×960
・960×720 ・640×480

## モノトーン

モノトーンの画像（1種類の色の明暗だけで構成される画像）を作成します。

[モノトーン]を選ぶと、右の詳細メニューが表示され、以下の色調を選ぶことができます。

| 白黒 | モノクロになります。 |
|---|---|
| セピア | セピア色（褐色）のモノトーンになります。 |
| クール | ブルー系のモノトーンになります。 |

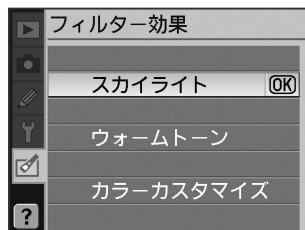
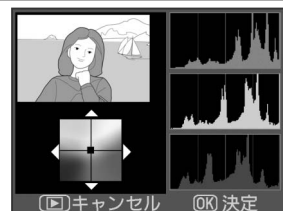
編集画面には、プレビュー画像が表示されます。

- [セピア]または[クール]を選んだ場合は、マルチセレクターを上または下に押すことで色の濃さを調整（3段階）することができます。調整した色の濃さはプレビュー画像に反映されます。

- OK ボタンを押すと編集した画像が記録され、1コマ表示モードに戻ります。

## フィルター効果

画像全体の色調を演出できます。

[フィルター効果]を選ぶと、右の詳細メニューが表示され、以下のフィルター効果を選ぶことができます。

| | | |
|---|---|---|
| **スカイライト** | スカイライトフィルターと同様に、画像の青みを抑える効果があります。 |   編集画面には、プレビュー画像が表示されます。 |
| **ウォームトーン** | 画像を暖色にする効果があります。 | |
| **カラーカスタマイズ** | 右のような画面が表示され、マルチセレクターの上下左右を押すたびに、画像全体の色調が以下のように変わります。<br>緑が強くなる<br>青が強くなる　赤が強くなる<br>ピンクが強くなる |   色調を操作すると、プレビュー画像と画像右側のR（赤色）、G（緑色）、B（青色）に分かれたヒストグラム(P.68)に反映されます。 |

- OK ボタンを押すと編集した画像が記録され、1コマ表示モードに戻ります。

## スモールピクチャー

小さいサイズの画像（スモールピクチャー）を作成します。

[スモールピクチャー]では、作成する画像の大きさ（ピクセル数）を、[640×480]、[320×240]、[160×120]の3種類から選べます。

1コマ表示モードで画像を選んでから[スモールピクチャー]を実行する手順は、P.132と同様の操作ですが、MENU ボタンを押して画像編集メニューを選ぶと、複数の画像のスモールピクチャーを作成できます。

### 複数の画像を選んでスモールピクチャーを作成する手順

**1**

画像編集メニューで[スモールピクチャー]を選んで、マルチセレクターの右を押す

- 上のような画面が表示されます。

**2**

[画像サイズの設定]を選ぶ

**3**

画像サイズの選択画面が表示される

**4**

作成したいサイズを選ぶ

**5**

サイズが決定し、上の画面に戻る

**6**

[画像選択]を選ぶ

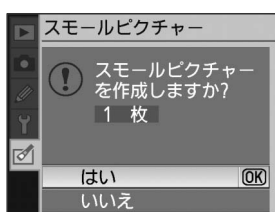
## 7

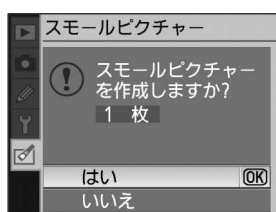
画像選択画面が表示される

## 8

マルチセレクターの左右を押してスモールピクチャーを作成する画像を選び、上下を押して アイコンを表示させる

- ボタンを押している間、選択中の画像が拡大表示されます。
- [スモールピクチャー]メニューでは、複数の画像のスモールピクチャーを一括で作成することができます。

## 9

確認画面が表示される

## 10

[はい]を選ぶ

## 11

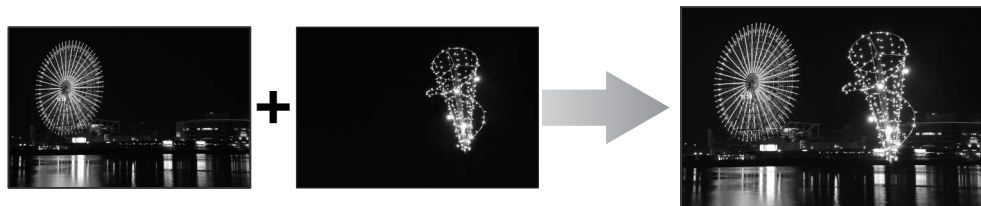
スモールピクチャーが記録され、1コマ表示モードに戻る

- キャンセルして画像編集メニューに戻るには、 ボタンを押してください。

### スモールピクチャーについてのご注意

- スモールピクチャーは1コマ表示モード、サムネイル表示モードや、画像選択画面で、グレーの枠付きで表示されます。
- スモールピクチャーは拡大表示できません。

## 画像合成

SDカードに記録されているRAW画像２コマを重ね合わせて１コマの画像に合成することができます。

画像合成の手順は以下の通りです。

**1** 画像編集メニューで[画像合成]を選んで、マルチセレクターの右を押す

- 右のような画面が表示され、[画像 1]欄がハイライト表示されます。

**2** OK ボタンを押す

- SDカードに記録されているRAW画像が一覧表示されます。

**3** マルチセレクターの右または左を押して合成する画像の１コマ目を選ぶ

- ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示することができます。

**4** OK ボタンを押す

- 選んだ画像が１コマ目に設定され、[画像 1]欄にプレビューが表示されます。

## 5 マルチセレクターの上または下を押して[画像1]のゲインを設定する

- 合成画像の明るさが適正になるように、ゲイン（出力）を設定します。
- ゲインは0.1～2.0の範囲で、0.1刻みで設定できます。
- 各数値は初期設定の1.0（補正なし）を基準にした比率です。たとえば0.5にするとゲインは約半分になります。
- [プレビュー]欄で、合成後のイメージを確認できます。

## 6 マルチセレクターの右または左を押して[画像2]を選び、[画像1]と同様に、2コマ目を選び、ゲインを設定する

## 7 画像1、画像2の設定が終わったら、マルチセレクターの右または左を押して[プレビュー]欄に移動する

## 8 マルチセレクターの上または下を押して[合成]を選び、OK ボタンを押す

- 合成画像の確認画面が表示されます。
- 画像の選択やゲインの設定をやり直したいときは、ボタンを押してください。手順7の画面に戻ります。
- 合成画像を確認せずに画像を保存したいときは、[保存]を選んで OK ボタンを押してください。

## 9 もう一度 OK ボタンを押す

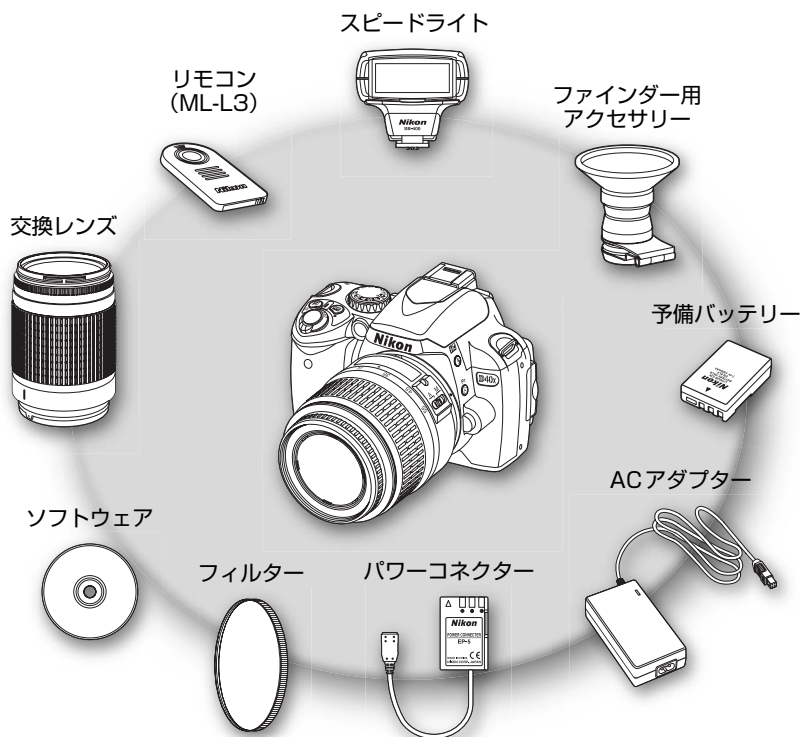
- 合成画像が保存され、1コマ表示モード（P.65）で表示されます。

### 画像合成についてのご注意

- 合成できる画像は、D40xで撮影したRAW画像だけです。機種の異なるカメラやRAW以外の画質モードで撮影した画像は、画像のサムネイル一覧に表示されず、選ぶことができません。
- 合成画像の画質モード（P.40）と画像サイズ（P.40）は、合成時のカメラの設定になります（合成画像はすべての画質モード、画像サイズで保存できます）。画像合成を行う前に、これらの設定をご確認ください。合成した画像をさらに別のRAW画像と合成したいときは、画質モードをRAWに設定してください。
- 合成画像のホワイトバランス、仕上がり設定、撮影データ（撮影日時、測光モード、シャッタースピード、絞り値、露出モード、露出補正値、焦点距離、縦横位置情報など）は、[画像1]で選んだ画像の内容を引き継ぎます。

# 付録

## 使用できるアクセサリー

アクセサリーを活用して、撮影の幅を広げることができるのも、デジタル一眼レフカメラの楽しみのひとつです。D40xには、以下のようなニコン製アクセサリーが用意されています。

### アクセサリーについてのご注意

D40xには、ニコン製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサリーは、カメラの故障や不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリー使用によるカメラの不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、D40xに使用できる別売アクセサリーについての最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。

## 装着できるレンズ

このカメラでピント合わせをオートフォーカスで行うには、AF-Sレンズが必要です。また、AF-Iレンズをお持ちの場合は、AF-Iレンズでもこのカメラでオートフォーカス撮影ができます。AF-S、AF-Iレンズはオートフォーカス用のモーターを内蔵したレンズです。AF-SやAF-I以外のオートフォーカス(AF)レンズを装着しても、このカメラではオートフォーカス撮影できません。装着可能なレンズおよびこのカメラで使用可能な機能については次ページの表をご覧ください。

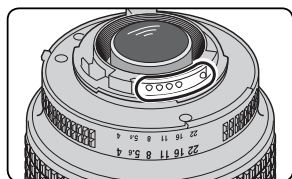
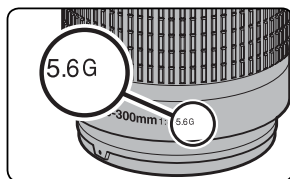
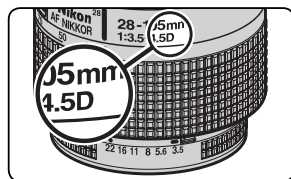
### ヒント AF-Sレンズ、AF-Iレンズの見分け方

AF-S、AF-Iは、レンズ名の次の部分に明示されています。

AF-S DX ズームニッコールED 18－55mm F3.5－5.6GII

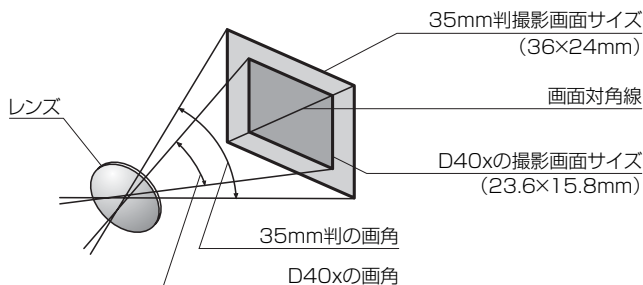
レンズ名のこの部分がAF-SまたはAF-Iであることをご確認ください。

### ヒント CPUレンズ、Gタイプレンズ、Dタイプレンズの見分け方

CPUレンズにはCPU信号接点があります。Gタイプレンズには「G」マークが、Dタイプレンズには「D」マークが付いています。Gタイプレンズには、絞りリングがありません。

CPUレンズ

Gタイプレンズ

Dタイプレンズ

### ヒント レンズの画角と焦点距離について

D40xには、さまざまなニコン一眼レフカメラ用レンズを装着することができます。ただし、これらのレンズをD40xに装着したときの画角は、レンズに表記されている焦点距離の1.5倍のレンズに相当する画角になります。これは、35mm判カメラの撮影画面サイズ（36×24mm）に対して、D40xの撮影画面（約23.6×15.8mm）が小さいためです。このため、同じレンズで撮影しても、D40xと35mm判カメラでは、画角（撮影される範囲）が異なることにご注意ください。

付録 使用できるアクセサリー

## 装着できるCPUレンズ一覧

| | | フォーカスモード | | | 撮影モード | | 測光モード | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | オートフォーカス | フォーカスエイド | マニュアル | **M**以外 | **M** | マルチパターン測光 | 中央部重点／スポット測光※1 |
| Gタイプ、Dタイプレンズ | AF-Sレンズ、AF-Iレンズ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | AF-Sレンズ、AF-Iレンズを除く※2 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| PCマイクロニッコール85mm F2.8D※3 | | × | ○※4 | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| AF-S ／ AF-Iテレコンバーター | | ○※5 | ○※5 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Gタイプ・Dタイプ以外のAFレンズ（F3AF用を除く） | | × | ○※6 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| AI-Pニッコール | | × | ○※7 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1　CPUレンズ装着時は、フォーカスエリア選択によりスポット測光エリアを移動可（P.59）。
※2　VRレンズのVR（手ブレ補正）機能に対応。
※3　カメラの測光モードおよび調光制御機能は、あおり操作（シフトまたはティルト）中、または開放絞り以外では、正しく機能しません。
※4　あおり操作を行っていない場合のみ可。
※5　合成絞りがF5.6 以上明るい場合に使用可。
※6　AF 80-200mm F2.8S、AF 35-70mm F2.8S、AF 28-85mm F3.5-4.5S（New）、AF 28-85mm F3.5-4.5Sレンズで、ズームの望遠側かつ至近距離で撮影した場合、ファインダースクリーンのマット面の像とフォーカスの合焦表示が合致しない場合があります。この場合は、ファインダースクリーンのマット面を利用して、マニュアルフォーカスでピントを合わせて撮影してください。
※7　開放絞りがF5.6以上明るいレンズのみ使用可。

### 使用できないCPUレンズについて

IXレンズは装着できません。

### ヒント　仕上がり設定の効果

仕上がり設定の効果を充分に得るには、GまたはDタイプのレンズをお使いになることをお勧めします。

### ヒント　AF-S ／ AF-Iテレコンバーターについて

AF-S ／ AF-Iテレコンバーターは、AF-SレンズとAF-Iレンズ専用のテレコンバーターです。使用可能なレンズは、以下の通りです。

AF-S VR マイクロED 105mm f/2.8G IF ※1
AF-S VR ED 200mm f/2G IF
AF-S VR ED 300mm f/2.8G IF
AF-S ED 300mm f/2.8D II IF
AF-S ED 300mm f/2.8D IF
AF-I ED 300mm f/2.8D IF
AF-S ED 300mm f/4D IF ※2
AF-S ED 400mm f/2.8D II IF
AF-S ED 400mm f/2.8D IF
AF-I ED 400mm f/2.8D IF
AF-S ED 500mm f/4D II IF ※2
AF-S ED 500mm f/4D IF ※2
AF-I ED 500mm f/4D IF ※2
AF-S ED 600mm f/4D II IF ※2
AF-S ED 600mm f/4D IF ※2
AF-I ED 600mm f/4D IF ※2
AF-S VR ED 70-200mm f/2.8G IF
AF-S ED 80-200mm f/2.8D IF
AF-S VR ED 200-400mm f/4G IF ※2

※1: AF撮影はできません。
※2: AF-Sテレコンバーター TC-17E II/TC-20E II との組み合わせでは、AF撮影はできません。

## 装着できる非CPUレンズ一覧

| | フォーカスモード | | | 撮影モード | | 測光モード | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | オートフォーカス | フォーカスエイド | マニュアル | **M**以外 | **M** | マルチパターン測光 | 中央部重点／スポット測光 |
| Ai-S、Ai、シリーズEレンズ、改造Aiレンズ | × | ○※1 | ○ | × | ○※2 | × | × |
| メディカル120mm F4 | × | ○ | ○ | × | ○※3 | × | × |
| レフレックスレンズ | × | × | ○ | × | ○※2 | × | × |
| PCニッコール | × | ○※4 | ○ | × | ○※2 | × | × |
| Ai-S、Aiテレコンバーター | × | ○※5 | ○ | × | ○※2 | × | × |
| ベローズPB-6※6 | × | ○※1 | ○ | × | ○※2 | × | × |
| オート接写リング（PK-11A、12、13、PN-11） | × | ○※1 | ○ | × | ○※2 | × | × |

※1　開放絞りがF5.6以上明るいレンズのみ使用可。
※2　露出インジケーターは使用不可。
※3　シャッタースピード1/125秒以下で使用可。露出インジケーターは使用不可。
※4　あおり操作を行っていない場合のみ可。
※5　合成絞りがF5.6 以上明るい場合に使用可。
※6　縦位置にして装着してください（装着後、横位置に戻すことは可能です）。

### ✓ 非CPUレンズについてのご注意

非CPUレンズ装着時は、撮影モード**M**で撮影してください。**M**以外では、シャッターがきれません。カメラの露出計や、コマンドダイヤルによる絞りの設定、i-TTLモードでのフラッシュ撮影、などの各機能は使うことができません。絞りの設定や確認は、レンズの絞りリングで行ってください。

### ✓ 使用できない非CPUレンズについて

以下の非CPUレンズは装着できません。無理に装着しようとすると、カメラやレンズを破損するのでご注意ください。

・AFテレコンバーター TC-16AS
・Ai改造をしていないレンズ（Ai方式以前の連動爪を使用するタイプ）
・フォーカシングユニットAU-1を必要とするレンズ
（400mm F4.5、600mm　F5.6、800mm F8、1200mm F11）
・フィッシュアイ（6mm F5.6、7.5mm F5.6、8mm F8、OP10mm F5.6）
・旧21mm F4
・K2リング
・ED180-600mm F8（製品No.174041～174180）
・ED360-1200mm F11（製品 No.174031～174127）
・200-600mm F9.5（製品 No.280001～300490）
・F3AF用（80mm F2.8、200mm F3.5、テレコンバーター TC-16S）
・PC28mm F4（製品 No.180900以前の製品）
・PC35mm F2.8（製品 No.851001～906200）
・旧PC35mm F3.5
・旧レフレックス1000mm F6.3
・レフレックス1000mm F11（製品 No.142361～143000）
・レフレックス2000mm F11（製品 No.200111～200310）

## ☑ 内蔵フラッシュ撮影に制限のあるレンズについてのご注意

- 以下のAFレンズではフラッシュの光がさえぎられるため、内蔵フラッシュ撮影が可能な焦点距離や撮影距離に制限があります。

| レンズ | 内蔵フラッシュ撮影が可能な条件 |
|---|---|
| AF-S DX ED 12-24mm F4G | 焦点距離20mmのとき：撮影距離3m以上<br>焦点距離24mmのとき：撮影距離1m以上 |
| AF-S ED 17-35mm F2.8D | 焦点距離24mmのとき：撮影距離2m以上<br>焦点距離28mmのとき：撮影距離1m以上<br>焦点距離35mmでは撮影距離制限なし |
| AF-S DX ED 17-55mm F2.8G（IF） | 焦点距離28mmのとき：撮影距離1.5m以上<br>焦点距離35mmのとき：撮影距離1m以上<br>焦点距離45mm以上は撮影距離制限なし |
| AF ED 18－35mm F3.5-4.5D | 焦点距離24mmのとき：撮影距離1m以上<br>焦点距離28mm以上は撮影距離制限なし |
| AF 20-35mm F2.8 D | 焦点距離24mmのとき：撮影距離2.5m以上<br>焦点距離28mmのとき：撮影距離1m以上<br>焦点距離35mm以上は撮影距離制限なし |
| AF-S VR ED 24-120mm F3.5-5.6G | 焦点距離24mmのとき：撮影距離1m以上<br>焦点距離28mm以上は撮影距離制限なし |
| AF-S ED 28-70mm F2.8 D | 焦点距離35mmのとき：撮影距離1.5m以上<br>焦点距離50mm以上は撮影距離制限なし |
| AF-S VR ED 200-400mm F4G | 焦点距離250mmのとき：撮影距離2.5m以上<br>焦点距離350mm以上のとき：撮影距離2m以上 |
| AF-S DX ED 18-70mm F3.5-4.5G | 焦点距離18mmのとき：撮影距離1m以上<br>焦点距離24mm以上は撮影距離制限なし |
| AF-S DX ED 18-135mm F3.5-5.6G | 焦点距離18mmのとき：撮影距離1m以上<br>焦点距離24mm以上は撮影距離制限なし |
| AF-S DX VR ED 18-200mm F3.5-5.6G | 焦点距離24mmのとき：撮影距離1m以上<br>焦点距離35mm以上は撮影距離制限なし |

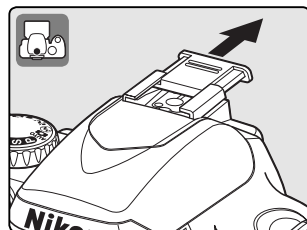
## ☑ 赤目軽減（P.47）についてのご注意

レンズの種類によっては、AF補助光ランプの光がさえぎられ、フラッシュ撮影時に充分な赤目軽減効果が得られない場合があります。

## ☑ AF補助光撮影（P.33）に制限のあるレンズについてのご注意

- 以下のレンズではAF補助光を使ってのオートフォーカス撮影はできません。
  - ・AF-S VR ED 70-200mm F2.8G
  - ・AF-S ED 80-200mm F2.8D
  - ・AF-S VR ED 200-400mm F4G
  - ・AF-S VR ED 200mm F2G
  - ・AF-S VR ED 300mm F2.8G
- 以下のレンズでは、撮影距離1m以内でAF補助光がレンズによってさえぎられる場合があります。この場合、AF補助光を使ってのオートフォーカス撮影はできません。
  - ・AF-S ED 17-35mm F2.8D
  - ・AF-S VR ED 24-120mm F3.5-5.6G
  - ・AF-S ED 28-70mm F2.8D
  - ・AF-S DX ED 17-55mm F2.8G (IF)
  - ・AF-S DX VR ED 18-200mm F3.5-5.6G

## 装着できるスピードライト（外付けフラッシュ）

内蔵フラッシュの代わりに別売のスピードライトを使うことができます。装着するときは、アクセサリーシューカバーを取り外してください。なお、スピードライト装着時は、内蔵フラッシュは発光しません。

D40xは「ニコン クリエイティブライティングシステム（CLS）※」に対応しています。スピードライトSB-400、SB-600、SB-800などと組み合わせることで、i-TTL 調光、発光色温度情報の伝達など、さまざまな機能が利用できます。また、別売のスピードライトSB-800やワイヤレススピードライトコマンダー SU-800を装着すると、離れた場所にあるスピードライトSB-600、SB-R200や別のSB-800を遠隔操作で発光できます。詳しくは各スピードライトやワイヤレススピードライトコマンダーの使用説明書をご覧ください。

※ CLSは、ニコン製のスピードライトとカメラの組み合わせで実現する、最新のスピードライト制御システムです。スピードライトの発光量に応じた発光色温度情報をカメラに伝達してホワイトバランスを適正に調整する「発光色温度情報伝達」など、様々な機能が利用できます。

### SB-400

- ニコンスピードライトSB-400はガイドナンバー 21（照射角18mm時、ISO100・m、20℃）の高性能スピードライトです。
- フラッシュヘッドが上方向90°までの範囲で回転し、バウンス撮影ができます。

### SB-800

- ニコンスピードライトSB-800はガイドナンバー 38(照射角35mm時、ISO100・m、20° C)の高性能スピードライトです。
- フラッシュヘッドが上方向90°から下方向7°、左方向180°から右方向90°の範囲で回転し、バウンス撮影や近接撮影ができます。
- レンズの焦点距離に応じて照射角を変化させるオートズーム機能(24－105mm)を備えています。また、内蔵ワイドパネルを使用すると、照射角が14mm、17mmになります。
- 周囲が暗い場合でも操作しやすいように、LCDと各操作スイッチにイルミネーターを備えています。
- SB-800のカスタム設定により、各機能の設定が効率よく行えます。

## SB-600

- ニコンスピードライトSB-600はガイドナンバー30(照射角35mm時、ISO100・m、20° C)の高性能スピードライトです。
- フラッシュヘッドが上方向90°、左方向180°から右方向90°の範囲で回転し、バウンス撮影や近接撮影ができます。
- レンズの焦点距離に応じて照射角を変化させるオートズーム機能(24－85mm)を備えています。また、内蔵ワイドパネルを使用すると、14mmの照射角度になります。
- 周囲が暗い場合でも操作しやすいように、表示パネルおよび操作スイッチにイルミネーターを備えています。
- SB-600のカスタム設定により、各機能の設定が効率よく行えます。

## SB-R200

- ニコンワイヤレスリモートスピードライトSB-R200は、ガイドナンバー10(ISO100・m、20℃)のリモート発光用スピードライトです。
- D40xでSB-R200を使うには、コマンダー機能のあるスピードライトSB-800またはワイヤレススピードライトコマンダーSU-800が必要です。
- アタッチメントリングSX-1やアダプターリングを使ってレンズ先端に装着したり、スピードライトスタンドAS-20でカメラから離して設置したり、手持ちで照明するなど、i-TTL調光による多彩な近接(クローズアップ)撮影やリモート撮影が可能です。

## SU-800

ワイヤレススピードライトコマンダーSU-800は、CLS対応カメラに装着してSB-800、SB-600、SB-R200の発光制御を行うコマンダーで、ライティングをリモート(補助灯)のみで行うコマンダー撮影が行えます(SU-800には発光機能はありません)。

## SB-400、SB-800、SB-600、SB-R200との組み合わせで使用できる機能

別売のスピードライトSB-400、SB-800、SB-600、SB-R200を使用する場合、スピードライトとレンズの組み合わせによって次の機能が使用できます。

| | | | 1灯のみで使用 | | | アドバンストワイヤレスライティング | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 主灯/コマンダーとして使用 | | 補助灯として使用 | | |
| スピードライト | | | SB-400 | SB-800 | SB-600 | SB-800 | SU-800※1 | SB-800 | SB-600 | SB-R200 |
| 発光モード | i-TTL | i-TTL-BL調光 | ○※2 | ○※2 | ○※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | スタンダードi-TTL調光 | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| | AA | 絞り連動外部自動調光 | | ○※3 | | ○※4 | ○ | ○※4 | | |
| | A | 外部自動調光 | | ○※3 | | ○※4 | | ○※4 | | |
| | GN | 距離優先マニュアル発光 | | ○ | | | | | | |
| | M | マニュアル | ○※5 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | RPT | リピーティングフラッシュ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 機能 | | マルチエリアアクティブ補助光※6 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 発光色温度情報伝達 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | REAR | 後幕シンクロ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 👁 | 赤目軽減発光 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | オートズーム | | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | 感度自動制御（カスタムメニュー10） | ○ | ○ | ○ | | | | | |

※1　SU-800 本体に発光機能はありません。表中の○は、SU-800がコマンダーとして補助灯を制御できる機能です。
※2　スポット測光時は選ぶことができません。
※3　**AA**モードと**A**モードの選択は、SB-800のカスタム設定で行います。ただし**AA**モード設定時でも、非CPUレンズ装着時は、自動的に**A**モードになります。
※4　SB-800のカスタム設定にかかわらず、優先的に**AA**モードになります。ただし非CPUレンズ装着時は、自動的に**A** モードになります。
※5　カメラ側で設定できます（P.113）。
※6　非CPUレンズ装着時は機能しません。

## その他のスピードライトとの組み合わせで利用できる機能

以下のスピードライトで撮影する時は、外部自動調光（A）あるいはマニュアル発光撮影となります。これらのスピードライトをお使いの場合、スピードライトの充電状態はスピードライト側で確認してください。なお、シャッタースピード1/200以下の低速でお使いください。

| スピードライト | | | SB-80DX<br>SB-28DX | SB-50DX※1 | SB-28<br>SB-26<br>SB-25<br>SB-24 | SB-30<br>SB-27※2<br>SB-22S<br>SB-22<br>SB-20<br>SB-16B<br>SB-15 | SB-23<br>SB-29※3<br>SB-21B※3<br>SB-29S※3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 機能 | A | 外部<br>自動調光 | ○ | | ○ | ○ | |
| | M | マニュアル | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | マルチ<br>フラッシュ | ○ | | ○ | | |
| | REAR※4 | 後幕<br>シンクロ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1 撮影モードを**PSAM**に設定し、内蔵フラッシュを収納した状態にして内蔵フラッシュが光らないようにしてください。内蔵フラッシュが自動的に上がって光ることがあるため、撮影モードのデジタルイメージプログラムは、使用しないでください。

※2 SB-27はD40xと組み合わせると自動的にTTLモードに設定されますが、TTLモードでは使うことができません。SB-27を強制Aモードに設定しなおしてください。

※3 SB-29S・29・21Bでオートフォーカスができるレンズは、AF-S VR マイクロニッコール ED 105mm F2.8G (IF) レンズのみです。

※4 カメラ側のフラッシュモードで設定してください。

### スピードライトSB-400、SB-800、SB-600装着時の感度自動制御について

カスタムメニュー[10：感度自動制御]（P.110）を[する]にしたときや、撮影モード でISO感度を[AUTO]（オート）にしたときは、フラッシュの光量が適正となるように感度自動制御が機能します。ただし[感度自動制御]を[する]にしていても、次のような場合は手前の被写体が露出アンダーになることがあります。

・低速シャッタースピードでフラッシュ撮影（スローシンクロ）を行う場合
・日中の明るい場所でフラッシュ撮影（日中シンクロ）を行う場合
・背景が明るい場合

このような場合には、以下の操作を行うことでフラッシュの照射光が届きやすくなります。

・撮影モードを**A**（絞り優先オート）などにして絞りを開く
・スローシンクロを解除する

## ✔ 撮影モード でのスピードライト使用についてのご注意

スピードライト装着時は、内蔵フラッシュは発光せず、常に外付けのスピードライトが発光します。フラッシュモード（P.47）は以下のように変更されます。

| 内蔵フラッシュ使用時 | | 外付けのスピードライト使用時 |
|---|---|---|
| AUTO 通常発光オート | → | 通常発光 |
| AUTO 赤目軽減オート | → | 赤目軽減 |
| AUTO SLOW 通常発光オート＋スローシャッター | → | SLOW 通常発光＋スローシャッター |

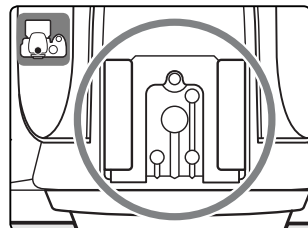
| 内蔵フラッシュ使用時 | | 外付けのスピードライト使用時 |
|---|---|---|
| AUTO SLOW 赤目軽減オート＋スローシャッター | → | SLOW 赤目軽減＋スローシャッター |
| 発光禁止 | → | 通常発光 |

- 撮影モード で外付けのスピードライトを使用すると、通常発光モードになります。赤目軽減モードに変更することもできます。
- 撮影モード の場合、外付けスピードライトは発光しません。
- スピードライトSB-800、SB-600または、ワイヤレススピードライトコマンダー SU-800装着時に外付けスピードライトで調光補正を行った場合、情報画面の上部に マークが点灯します。

### ヒント　ガイドナンバーとは

フラッシュの光量を示す値で、大きいほど光が遠くまで届きます。「ガイドナンバー＝絞り値×撮影距離(m)」(ISO感度が100の場合)という関係があります。SB-400はガイドナンバーが21(ISO感度100、20°C)なので、ISO 感度が100で絞り値がf5.6 なら、21 ÷ 5.6 ＝約3.7mまでフラッシュの光が届くことになります。また、実効ガイドナンバーはISO感度が2倍になると約1.4倍(√2倍)になります。たとえば、D40x でISO 感度200でSB-400 を使用すると、絞り値がf5.6なら21 ÷ 5.6 × 1.4 ＝約5.3mまで光が届きます(18mm レンズの画角をカバーする照射角、ISO感度200、20°Cの場合)。

### ヒント　アクセサリーシュー

このカメラはアクセサリーシューを装備しています。スピードライトSB-400、SB-800・SB-600・80DX・28DX・28・27・23・22S・29Sなどを、アクセサリーシューに差し込むだけでコードレスで接続できます。また、セーフティロック機構（ロック穴）を備えているので、セーフティロックピン付きのスピードライト（SB-800、SB-600など）を取り付けると、スピードライトが不用意に外れることを防止できます。

### ヒント　ホットシューアダプター AS-15

別売のホットシューアダプター AS-15を装着すると、シンクロターミナルが利用できます。

### スピードライト使用時のご注意

- 詳しくはスピードライトの使用説明書をご覧ください。
  ニコンクリエイティブライティングシステム対応のスピードライトの使用説明書にカメラ分類表が記載されている場合は、「クリエイティブライティングシステム対応デジタル一眼レフ」に該当する箇所をお読みください。なお、D40xはSB-80DX、SB-28DX、SB-50DXの使用説明書に記載されているデジタル一眼レフカメラには該当しません。
- 同調シャッタースピードは1/200秒以下（低速側）です。
- i-TTLや外部自動調光モードで、フル発光により露出アンダーになる可能性のある場合には、発光直後にファインダー内下部の⚡が約3秒間点滅し、露出アンダー警告を行います。
- i-TTLモード時のISO感度連動範囲はISO100～1600です。
- ISO感度を1600より高くしたときは、距離や絞りによっては適切な発光量にならない場合があります。
- スピードライトSB-400、SB-800、SB-600使用時で、赤目軽減発光を行うフラッシュモードの場合は、外部スピードライト側で赤目軽減発光が行われます。
- スピードライトSB-800、SB-600、SU-800（クローズアップ機能設定時除く）との組み合わせで被写体が暗い場合は、カメラのAF補助光（P.33）が発光せず、スピードライトまたはスピードライトコマンダーのAF補助光が発光します。
- SB-800、SB-600以外のスピードライトの組み合わせでは、オートパワーズーム機能は使用できません。
- 撮影モードによっては、ISO感度（P.49）の設定によって、カメラが自動で設定する開放側の限界絞りが、以下のように制御されます。

  撮影モード AUTO 🚫⚡ 🏔 👤 🏃 🌃👤 P：

| ISO感度 | 100 | 200 | 400 | 800 | 1600 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開放側の限界絞り（F） | 4 | 4.8 | 5.6 | 6.7 | 8 |

  撮影モード 🌷：

| ISO感度 | 100 | 200 | 400 | 800 | 1600 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開放側の限界絞り（F） | 5.6 | 6.7 | 8 | 9.5 | 11 |

  ※ 感度1段に対して絞りは1/2段変化します。制御される絞りよりも開放絞りが暗い場合は、装着レンズの開放絞りによって制御されます。
- i-TTLモード時に、調光コードSC-17、SC-28、SC-29を使ってカメラからスピードライトを離して撮影する場合、i-TTL-BL調光では適正露出を得られない場合があります。この場合は、スタンダードi-TTL調光に切り換えて撮影してください。また、あらかじめテスト撮影を行ってください。
- i-TTLモード時に、発光面に内蔵パネル以外の部材（拡散板など）を装着しないでください。カメラ内の演算に誤差が生じ、適正露光にならない場合があります。
- スピードライトSB-400、SB-800、SB-600を使うときは、測光モードを ⊡（スポット測光）にすると、スタンダードi-TTL調光になります。
- 非CPUレンズ装着時は、i-TTL調光およびAA（絞り連動外部自動調光）は行えません。

### 他社製フラッシュについてのご注意

他社製のフラッシュ（カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるものや、アクセサリーシュー部の接点をショートさせてしまうもの）は装着しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラやフラッシュのシンクロ回路を破損することがあります。

## その他の使用できるアクセサリー

| | |
|---|---|
| ファインダー用アクセサリー | • 接眼補助レンズ<br>遠視、近視の方のための補助レンズで、接眼部に差し込むだけで簡単に取り換えができます。－5、－4、－3、－2、0、＋0.5、＋1、＋2、＋3m－1の9種類があります（いずれもD40xの視度調節レバーが基準位置（－1m－1）の場合の値です）。D40xの視度調節機能（－1.7～＋0.5m－1）を超える視度補正が必要なときにお使いください。視度補正の効果は個人差が大きいので、店頭で実際に取り付けてお選びください。なお、接眼補助レンズをお使いになるときは、接眼目当ては装着できません。<br>• マグニファイヤー DG-2<br>ファインダー中央部の像を拡大します。接写や複写、超望遠レンズでの撮影など、より厳密なピント合わせが必要なときに使います。装着には、別売のアイピースアダプターが必要です。<br>• アイピースアダプター<br>上記DG-2をD40xに取り付けるためのアダプターです。<br>• アングルファインダー DR-6<br>カメラの接眼部に取り付けると、撮影レンズと直角の方向（水平方向に向けたカメラの真上など）からファインダー内の画像を確認できます。 |
| フィルター | • ニコンフィルターには、大きく分けてねじ込み式、組み込み式、後部交換式の3方式があります。他社製の特殊フィルターなどをお使いの場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドができない場合がありますのでご注意ください。<br>• カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター（Polar）はお使いになれません。円偏光フィルター（C-PL）をお使いください。<br>• フィルターをレンズ保護のために常に装着しておくときは、L37C、またはNCフィルターをおすすめします。<br>• 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影するときは、フィルターによって画像上にゴーストが発生する恐れがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。<br>• 露出倍数のかかるフィルター（Y48、O56、R60、X0、X1、C-PL（円偏光フィルター）、ND4S、ND8S、A2、A12、B2、B8、B12）では、［測光モード］（P.59）を［中央部重点測光］にして撮影することをおすすめします。［マルチパターン測光］では、充分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。 |

## 推奨SDカード

以下のSDメモリーカードの動作を確認しています。

・以下の容量のSDカードであれば、内部データ転送速度にかかわらず使用できます。

| ニコン製 | 1GB |
|---|---|
| SanDisk製 | 64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB※1、4GB※2 |
| 東芝製 | 64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB※1、4GB※2 |
| Panasonic製 | 64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB※1、4GB※2 |
| LEXAR MEDIA社製 | 128MB、256MB、512MB、1GB / 512MB、1GB、2GB※1（プラチナⅡ）/1GB、2GB※1（プロフェッショナル） |

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

• 上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。最新の動作確認済みSDカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

### SDカードについてのご注意

• 必ずD40xでフォーマット（初期化）してからお使いください。
• フォーマット中や画像の記録・削除中、パソコンとの通信時などに、次のことは行わないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  ・カードの着脱をする　　・カメラの電源をOFFにする
  ・バッテリーを取り出す　・ACアダプターを抜く
• 端子部に手を触れたり、金属を接触させたりしないでください。
• 無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
• 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
• 熱、水分、直射日光を避けてください。

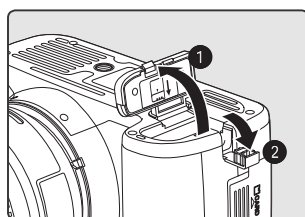
# D40x用別売アクセサリー

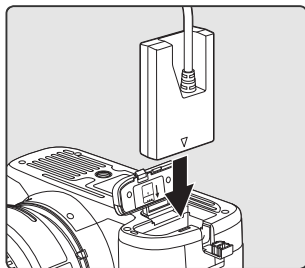
| | |
|---|---|
| バッテリー | • Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL9<br>付属のバッテリーと同じものを、予備バッテリーとしてお求めいただけます。 |
| パワーコネクター / ACアダプター | • パワーコネクター EP-5<br>• ACアダプター EH-5※<br>ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給できます。D40xは、カメラ本体とACアダプターを接続するためにパワーコネクター EP-5が必要です。カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する方法については、下記の「カメラとパワーコネクター、ACアダプターの接続方法」をご覧ください。<br>※ 日本国内専用電源コード（AC 100V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。 |
| ボディキャップ BF-1A | レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ミラーやファインダースクリーンなどへのゴミやホコリの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。 |
| ビデオケーブル | • ビデオケーブルEG-D100<br>ビデオケーブルでカメラをテレビやビデオに接続することによって、撮影した画像をテレビで見ることや、ビデオデッキで録画することができます。 |
| リモコンML-L3 | ワイヤレスでシャッターをきることができ、記念写真などに便利です。また、手ブレを防止するケーブルレリーズの代わりとしても利用できます。<br>リモコン用電池（CR2025型3Vリチウム電池）の交換方法<br>① ② ③ ④ ⑤ |
| ニコンデジタルカメラ専用ソフトウェア | • Capture NX<br>画像を詳細に編集できる、画像編集用ソフトウェアです。ホワイトバランスや色収差の補正など様々な機能を備えています。必ず最新版※にバージョンアップしてお使いください。<br>• Camera Control Pro<br>パソコンからカメラをコントロールして撮影することができるソフトウェアです。撮影した画像はパソコンのハードディスクへ直接保存できます。必ず最新版※にバージョンアップしてお使いください。<br>※ ご使用のパソコンがインターネットに接続されていれば、ソフトウェアの起動時にニコンメッセージセンター（Nikon Message Center）が自動的に更新情報をチェックします。 |

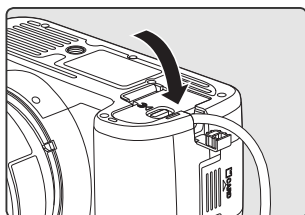
D40xに使用できる別売アクセサリーについての最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。

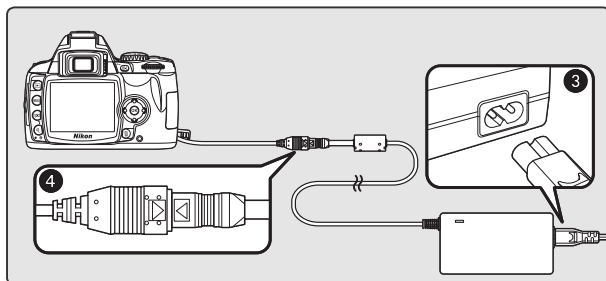
## カメラとパワーコネクター、ACアダプターの接続方法

カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する前に、カメラ本体の電源がOFFになっていることを確認してください。

**1** カメラのバッテリーカバー（①）とパワーコネクターカバー（②）を開ける

## 2 パワーコネクター EP-5を入れる

- パワーコネクターは、接点の向きに注意しながら入れてください。

## 3 カメラのバッテリーカバーを閉じる

- パワーコネクターのコードがパワーコネクターを開けた部分から出るように注意して、バッテリーカバーを閉じます。

## 4 パワーコネクターとACアダプターを接続する

- 電源コードのACプラグを、EH-5のACプラグ差し込み口に差し込みます(③)。
- パワーコネクター EP-5のDCプラグコネクターにEH-5のDCプラグを差し込みます(④)。

**ヒント　パワーコネクターとACアダプター使用時の液晶モニター表示について**

パワーコネクター EP-5とACアダプター EH-5使用時には、液晶モニター上の (バッテリー残量表示)が に変わります。

# カメラとレンズのお手入れ

## 保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出しください。バッテリーを取り出す前に、電源がOFFになっていることをご確認ください。

カメラを保管するときは、以下のような場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所

## クリーニングについて

| | |
|---|---|
| **カメラ本体** | ほこりや糸くずをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使った後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。<br>**ご注意：カメラ内部にゴミやほこり、砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。** |
| **レンズ・ミラー・ファインダー** | ほこりや糸くずは、ブロアーで払います。スプレー缶式のブロアーの場合は、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズ・ミラー・ファインダーを傷つける恐れがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、ガラスを傷つけないように注意して拭きます。 |
| **液晶モニター** | ほこりや糸くずは、ブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがあるのでご注意ください。 |

### ✔ 液晶モニターが破損したときのご注意

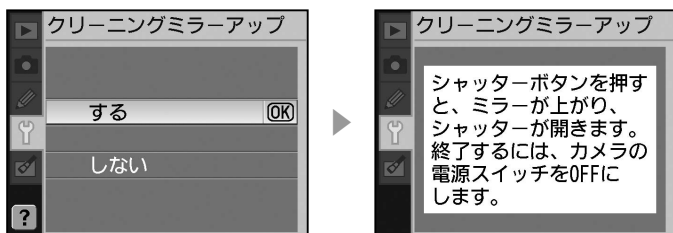
液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片でけがをしないようにご注意ください。また、中の液晶が皮膚や口、目に付かないようにご注意ください。

## ローパスフィルターのお手入れ

撮像素子の表面にあるローパスフィルターにゴミやほこりが付いていると、画像に影が写り込むことがあります。ローパスフィルターは以下の手順でクリーニングすることができますが、非常に傷つきやすいため、ニコンサービスセンターにクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。

作業中のバッテリー切れを防ぐため、フル充電したバッテリー、または別売のパワーコネクター EP-5とACアダプター EH-5（P.157）をお使いください。

**1** セットアップメニュー（P.128）の[クリーニングミラーアップ]で[する]を選んで OK ボタンを押す

- 以下のようなメッセージが表示されます。

※ バッテリー残量表示が［電池マーク］以下の場合、このメニュー項目は操作できません。

### 作業中のシャッター幕の破損を防ぐために

カメラのシャッター幕は非常に破損しやすい部品です。シャッター幕は、カメラに電源の供給がなくなると、自動的に閉じる構造になっています。作業中に不意にシャッター幕が閉じて破損することを防ぐために、以下の点にご注意ください。

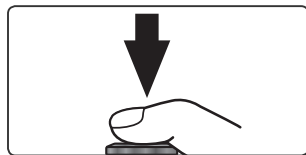
- 作業中に電源をOFFにしないでください。
- 作業中にバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。
- ミラーアップ中にバッテリーの残量が少なくなった場合、電子音が鳴り、AF補助光が点滅してお知らせします。約2分経過するとシャッター幕が閉じてミラーが下がるので、ただちに作業を終了してください。

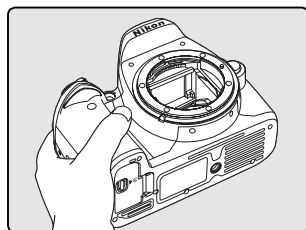
### 定期点検、オーバーホールのおすすめ

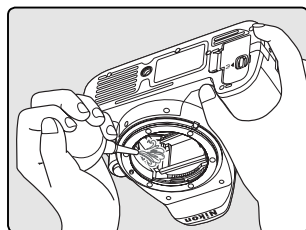
カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールされることをおすすめします（有料）。

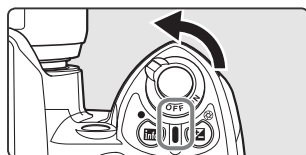
- とくに業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

## 2 シャッターボタンを押し込む

- ミラーが上がり、シャッターが開いた状態になります。

## 3 レンズを取り外してローパスフィルターに光が当たるようにカメラを持ち、ゴミが付いていないかどうかを点検する

- ゴミやほこりが付いていない場合は、ステップ5にお進みください。

## 4 ローパスフィルターに付いたゴミをブロアーで払う

- ブラシの付いていないブロアーをお使いください。ブラシでローパスフィルターの表面に傷が付くことがあります。
- ブロアーで取り除けない汚れがある場合は、ニコンサービスセンターにクリーニングをお申し付けください。絶対に、手でこすったり、布で拭き取ったりしないでください。

## 5 電源をOFFにし、付属のボディーキャップをつける

- ミラーが下がり、シャッター幕が閉じます。

### ✓ 撮像素子表面のゴミ付着についてのご注意

ニコンデジタルカメラは撮像素子表面に付着するゴミについて、当社の品質基準に基づいて製造、出荷しています。しかし、D40xはレンズ交換方式のため、レンズ交換の際にカメラ内にゴミが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子表面に付着したゴミが写り込む場合があります。カメラ内へのゴミの侵入を防止するため、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、レンズを外してカメラを保管するときは、必ず付属のボディーキャップを装着してください。その際、ボディーキャップのゴミも必ず除去してください。撮像素子表面に付着したゴミは、上記の手順でクリーニングしていただくか、ニコンサービスセンターにクリーニングをお申し付けください。なお、ゴミの写り込みは、別売のCapture NX（P.157）や市販の画像加工アプリケーションなどで修正できます。

# カメラと付属品の取り扱い上のご注意

## カメラとレンズの取り扱い上のご注意

● **強いショックを与えないでください**

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● **水にぬらさないでください**

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ると部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● **急激な温度変化を与えないでください**

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

● **強い電波や磁気の発生する場所で撮影しないでください**

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しない場合があります。

● **長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください**

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● **カメラ本体のお手入れについて**

カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。

● **ミラーやレンズの手入れ方法について**

ミラーやレンズは傷が付きやすいので、ゴミやホコリが付いているときは、ブロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶方式のブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにご使用ください（中の液体が気化されずに吹き出し、ミラーやレンズを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● **ローパスフィルターの手入れ方法について**

ローパスフィルターのクリーニングの方法についてはP.160をご覧ください。

● **レンズの信号接点について**

レンズの信号接点を汚さないようにご注意ください。

● **シャッター幕に触れないでください**

シャッター幕は非常に薄いため、押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や変形、破損などの原因となります。

● **風通しのよい場所に保管してください**

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。ナフタリンや樟脳の入ったタンスの中、磁気を発生する器具のそば、極度に高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

**● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管してください**

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液漏れなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

**● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください**

カメラの電源がONの状態で、バッテリーの取り出しやACアダプターの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

**● 液晶モニターについて**

- 液晶モニターの特性上、常時点灯あるいは非点灯の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。予めご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

## バッテリーの取り扱いについて

### ● 接点の汚れについて

バッテリーの接点が汚れている場合は、乾いた布などで拭いてください。

### ● バッテリーに関する使用上のご注意

バッテリーの使用方法を誤ると液漏れにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。

- ・バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れてください。
- ・バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるのでご注意ください。
- ・必ず指定のバッテリーをお使いください。
- ・バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしないでください。
- ・カメラから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付けてください。

### ● 撮影の前にバッテリーをあらかじめ充電してください

撮影の際は、バッテリーの充電を行ってください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていないので、ご注意ください。

### ● 予備バッテリーを用意してください

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

### ● 低温時には充分に充電されたバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意してください

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時には充分に充電されたバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

### ● バッテリーの残量について

電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON ／ OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。電池残量がなくなったバッテリーは、充電してご使用ください。

### ● バッテリーのリサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは廃棄せず、再利用のためリサイクルにご協力ください。端子にテープなどを貼り付けて絶縁させてから、ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

Li-ion

# 故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービスセンターにお問い合わせになる前に、以下の項目をご確認ください。

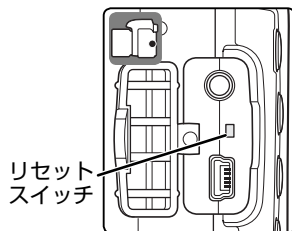
## 表示関連

| 症状 | ここをご確認ください | ページ |
|---|---|---|
| ファインダー内がはっきり見えない | 視度調節レバーで調節してください。調節後も見え方が不充分な場合は、別売の接眼補助レンズをお使いください。 | P.20、155 |
| ファインダー内や情報画面、液晶モニターの表示が、すぐに消えてしまう | カスタムメニュー[15：パワーオフ時間]で、表示が消えるまでの時間を設定することができます。 | P.114 |
| カメラが作動しない | 下記の「デジタルカメラの特性について」をご覧ください。 | — |
| ファインダー内の表示が薄い、表示が遅い | 低温や高温のときは液晶表示の濃度が変わったり、応答速度が遅くなる場合があります。 | — |

### デジタルカメラの特性についてのご注意

きわめてまれに、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことによって、カメラが作動しなくなることがあります。この場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し（ACアダプター使用時はいったん外してから付け直し）、もう一度電源をONにしてください。このときバッテリーが熱くなっていることがあるので、取り扱いには充分にご注意ください。

状態が改善されない場合は、電源をOFFにしてからリセットスイッチ（右図）を押してください。このときカメラの内蔵時計はリセットされます。また、カメラが作動しなくなった時のデータが失われるおそれがあります。

さらに不具合が続く場合は、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

## 撮影関連（全撮影モード共通）

| 症状 | ここをご確認ください | ページ |
|---|---|---|
| 電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる | SDカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。 | — |
| シャッターがきれない | •レンズの絞りリングは最小絞り（最も大きい値）になっていますか？<br>•SDカードがロックされていませんか？<br>•残量のあるSDカードが入っていますか？<br>•内蔵フラッシュの充電中はシャッターがきれません。<br>•ピント表示●は点灯していますか？<br>•CPUレンズが装着されていますか？　非CPUレンズは撮影モード**M**以外ではお使いになれません。 | P.11<br>P.19<br>P.22<br>P.25<br>P.24、37<br>P.10、145 |
| ファインダーで見た視野と、撮影される画像の範囲が違う | このカメラのファインダー視野率は上下左右とも約95%です。このため、ファインダーで見た視野よりも、やや広い範囲が撮影されます。 | P.183 |
| ピントが合わない | •AF-Sレンズ、AF-Iレンズ以外の場合、オートフォーカス撮影はできません。<br>•[フォーカスモード]が[MF]（マニュアルフォーカス）になっていませんか？<br>•以下のような被写体では、オートフォーカスではピントが合わせづらい場合があります。マニュアルフォーカス、フォーカスロックを利用して撮影してください。明暗差がはっきりしない／遠くのものと近くのものが混在する／連続した繰り返しパターン／輝度差が著しく異なる／背景に対して主要被写体が小さい／絵柄が細かい | P.145<br>P.33、108<br>P.37 |
| 一部のメニュー項目が表示されない | セットアップメニュー[メニュー表示切り換え]を[フルメニュー]にしてください。 | P.117 |
| 画像サイズが変更できない | [画質モード]が[RAW]、[RAW＋BASIC]のときは、画像サイズを変更できません。 | P.40、99 |
| フォーカスエリアを選択できない | •[AFエリアモード]が[至近優先ダイナミック]のときは、選択できません。<br>•画像を再生またはメニューを表示していませんか？画像の再生中やメニューの表示中にはフォーカスエリアを選択できません。 | P.34、108<br>— |
| 画像の記録に時間がかかる | 撮影メニュー[ノイズ低減]が[する]になっていませんか？ | P.105 |
| 画像がざらつく | •ISO感度が高くなっていませんか？<br>•シャッタースピードが約8秒よりも低速な場合は、ノイズが発生しやすくなります。撮影メニュー[ノイズ低減]を[する]にして撮影すれば、ざらつきを低減できます。 | P.49、110<br>P.105 |

| 症状 | ここをご確認ください | ページ |
|---|---|---|
| AF補助光ランプが光らない | •撮影モード 、 では、AF補助光は点灯しません。<br>•[フォーカスモード]が[AF-C]と[MF]のとき、または[AF-A]で自動的にAF-Cが選ばれたときは、AF補助光は点灯しません。<br>•中央以外のフォーカスエリアが選択されているときは、AF補助光は点灯しません。<br>•カスタムメニュー[9：内蔵AF補助光の照射]が[照射しない]になっていませんか？<br>•AF補助光ランプを連続して使うと、保護機能が働いて一時的に点灯が制限されます。少し時間をおくと再び点灯するようになります。また、短時間に何回も使うと、AF補助光ランプが熱くなることがあるのでご注意ください。 | P.27、28<br>P.33<br><br>P.33<br>P.110<br>— |
| リモコンの送信ボタンを押しても撮影できない | •リモコンの電池残量はありますか？<br>•リモコンモードに設定されていますか？<br>•送信ボタンを押す前にカスタムメニュー[17：リモコン待機時間]を過ぎると、リモコンモードはリセットされます。<br>•極端な逆光状態では、リモコン撮影ができない場合があります。 | P.157<br>P.43<br>P.115<br>— |
| 画像にゴミが写り込む | •レンズが汚れていませんか？<br>•ローパスフィルターにゴミが付着していませんか？ | P.159<br>P.160 |

## 撮影関連（撮影モード AUTO ）

| 症状 | ここをご確認ください | ページ |
|---|---|---|
| 選択または設定できないメニュー項目がある | 撮影モードによっては、設定できない機能があります。この場合、その項目は選択できません。 | P.175 |

## 撮影関連（撮影モードＰ Ｓ Ａ Ｍ）

| 症状 | ここをご確認ください | ページ |
|---|---|---|
| シャッターがきれない | •非CPUレンズを装着している場合は、撮影モード **M** で撮影してください。<br>•撮影モード **M** でシャッタースピードを bulb または - - に設定し、そのまま撮影モードを **S** に変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影してください。 | P.57、147<br>P.55、57～58 |
| 画像の一部が赤っぽくなる | シャッタースピードを bulb または - - にした場合など、長時間露出で撮影すると、画像の一部が赤っぽくなることがあります。この現象は、撮影メニュー［ノイズ低減］を［する］にすることで低減できます。 | P.57～58、105 |
| 設定できるシャッタースピードの範囲が狭い | フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます。 | P.181 |
| シャッターボタンを半押ししても、フォーカスがロックされない | [フォーカスモード]が[AF-C]のときは、AE-L/AF-L ボタンを押してフォーカスをロックしてください。 | P.33、37 |

| 症状 | ここをご確認ください | ページ |
| --- | --- | --- |
| 画像の色合いがおかしい | •[ホワイトバランス]は正しく設定されていますか？<br>•撮影メニュー[仕上がり設定]は正しく設定されていますか？ | P.64、100<br>P.97 |
| ホワイトバランスのプリセットデータが取得できない | 被写体が明るすぎるか、暗すぎます。 | P.102 |
| ホワイトバランスのプリセットデータとして設定できない画像がある | D40x以外のカメラで撮影した画像は、プリセットデータとして設定することはできません。 | P.104 |
| 仕上がり設定の効果が安定しない | [仕上がり設定→カスタマイズ]で、各項目を個別に設定してください。その際、[輪郭強調]と[階調補正]は[オート]以外にしてください。 | P.97 |
| 測光モードが変更できない | AEロック中は測光モードを変更できません。 | P.59、60 |
| 連写できない | 内蔵フラッシュが発光する撮影条件では、連写できません。 | P.42、46 |

## 再生関連

| 症状 | ここをご確認ください | ページ |
| --- | --- | --- |
| RAW画像が表示されない | 撮影メニュー[画質モード]を[RAW＋BASIC]にして撮影したときは、BASIC画像しか再生されません。 | P.41 |
| すべての画像が表示されない | 再生メニュー[再生フォルダー設定]を[全てのフォルダー]にしてください。なお、[全てのフォルダー]にした後に撮影すると、[再生フォルダー設定]は自動的に[記録中のフォルダー]に変更されます。 | P.93 |
| 画像再生時に、画像の一部がチカチカと点滅する | 画像情報のハイライト表示になっています。 | P.67 |
| 画像再生時に、画像と重なって文字が表示される | 画像情報の撮影情報表示になっています。 | P.66 |
| 画像再生時に、グラフが表示される | 画像情報のヒストグラム表示になっています。 | P.68 |
| 画像の縦位置・横位置が正しく表示されない | •再生メニュー[縦位置自動回転]が[しない]になっていませんか？<br>•セットアップメニュー[縦横位置情報の記録]が[しない]になっていませんか？<br>•連写したときの縦横位置は、最初の1コマを撮影した構図で固定されます。<br>•カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。 | P.93<br>P.130<br>P.130<br>P.130 |
| 画像が削除できない | •SDカードがロックされていませんか？<br>•画像にプロテクトが設定されていませんか？ | P.19<br>P.71 |

| 症状 | ここをご確認ください | ページ |
|---|---|---|
| [撮影画像がありません]と表示される | SDカードを交換直後に画像を再生するときは、再生メニュー[再生フォルダー設定]を[全てのフォルダー]にしてください。 | P.93 |
| 撮影後に画像が表示されない | カスタムメニュー[7：撮影直後の画像確認]が[しない]になっていませんか？ | P.109 |
| 画像が編集できない | D40xでは編集できない画像です。 | P.131 |
| プリント指定ができない | •SDカードがロックされていませんか？<br>•SDカードの残量が不足していませんか？ | P.19<br>P.85 |
| ダイレクトプリントができない | セットアップメニュー[USB設定]が[MTP/PTP]になっていますか？ | P.78、124 |
| RAW画像をプリントできない | RAW画像はパソコンに転送してから、PictureProjectやCapture NXなどのソフトウェアを使ってプリントしてください。 | P.73、157 |
| 画像がテレビに映らない | セットアップメニュー[ビデオ出力]が正しく設定されていますか？ | P.122 |
| 画像をパソコンに転送できない | セットアップメニュー[USB設定]が正しく設定されていますか？ | P.74、124 |
| Capture NXで画像が表示されない | ソフトウェアのバージョンが最新になっていますか？ | P.41、157 |
| Camera Control Proでカメラを操作できない | •セットアップメニュー[USB設定]が[MTP/PTP]になっていますか？<br>•ソフトウェアのバージョンが最新になっていますか？ | P.75、124<br>P.157 |

## その他

| 症状 | ここをご確認ください | ページ |
|---|---|---|
| 撮影日時が正しく表示されない | カメラの内蔵時計は合っていますか？　カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。 | P.14、121 |
| 表示されているメニュー項目が選択できない | 一部のメニュー項目は、カメラの設定などの条件によって選択できない場合があります。 | P.175 |
| 一部のメニュー項目が表示されない | セットアップメニュー[メニュー表示切り換え]を[フルメニュー]にしてください。 | P.117 |

# 警告メッセージ

液晶モニターとファインダーに表示される主な警告メッセージの意味は以下の通りです。

| 液晶モニター | ファインダー | 対処方法 | ページ |
| --- | --- | --- | --- |
| レンズの絞りリングを最小絞り（一番大きい数字）にしてください | FEE（点滅） | レンズの絞りリングを最小絞り（最も大きい値）にしてください。 | P.11 |
| 撮影できません。バッテリーを交換してください。 | （点滅） | 残量のあるバッテリーに交換してください。 | P.12、21 |
| この電池は使用できません。専用電池に交換してください。 | （点滅） | D40xの専用バッテリー（EN-EL9）に交換してください。 | P.2、12、157 |
| 起動エラーが発生しました。復旧には電源スイッチをOFFにして再度ONにしてください。 | （点滅） | 電源を一度切ってから、バッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。 | P.5、12 |
| レンズ未装着 | F - - ／?（点滅） | • レンズを装着してください。<br>• 非CPUレンズを装着しているときは、撮影モード **M** で撮影してください。 | P.10<br>P.147 |
| レンズを取り付けてください。 | F - - ／⚡（点滅） | | |
| Sモード時Bulb制御不可。 | bulb（点滅） | • シャッタースピードを変えてください。 | P.55 |
| | - -（点滅） | • 撮影モード **M** で撮影してください。 | P.57 |
| フラッシュがTTLモードになっています。フラッシュをTTLモード以外に設定するか、CPUレンズに交換してください。 | ⚡（点滅） | • スピードライトの調光モードをTTLモード以外に変更してください。<br>• CPUレンズに交換してください。 | P.113<br>P.145 |
| — | ⚡（点滅） | フラッシュがフル発光しました。撮影に必要な光量が不足している可能性があります。撮影距離、絞り、調光範囲、ISO感度などをご確認ください。 | P.48、154、181 |

**ヒント　警告表示について**

ファインダー内下部や液晶モニターで ?（警告表示）が点滅している場合に ボタンを押すと、警告の内容を確認することができます。

| 液晶モニター | ファインダー | 対処方法 | ページ |
|---|---|---|---|
| — | ⚡/? (点滅) | • フラッシュをお使いください。<br>• 撮影距離、絞り、調光範囲、ISO感度などをご確認ください。<br>• 外付けフラッシュ（スピードライト）SB-400の位置がバウンス位置になっています。バウンスで撮影するときは、そのまま撮影を続けてください。その他のフラッシュの場合、この警告は表示されません。<br>• レンズの焦点距離が短すぎるため、画像の周辺が暗くなります。レンズの焦点距離を長くしてください。この警告は、外付けフラッシュ（スピードライト）SB-400使用時のみ表示されます。 | P.46<br>P.48、154、181<br>P.149<br>P.149 |
| このメモリーカードは初期化（フォーマット）されていません。フォーマットしてください。 | [For] (点滅) | SDカードをカメラでフォーマットしてください。 | P.18 |
| メモリーカード空き容量不足 | FuL (点滅) | • 必要な画像をパソコンに転送してから不要な画像を削除してください。<br>• 必要な画像をパソコンに転送してから［連番モード］を［リセット］し、SDカードをフォーマットしてください。<br>• SDカードを交換してください。 | P.72、73、93<br>P.127<br>P.17 |
| メモリーカードが書き込み禁止になっています。 | CHA (点滅) | SDカードの書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。 | P.19 |
| このメモリーカードは壊れている可能性があるため、使用できません。カードを交換してください。 | [CHA] (点滅) | • D40x用のSDカードであることをご確認ください。<br>• SDカードを初期化し直してください。状況が改善しない場合は、SDカードが壊れている可能性があります。ニコンサービスセンターにご相談ください。<br>• 新規フォルダー作成時にこのメッセージが表示された場合は、不要な画像を削除してください。<br>• SDカードを交換してください。 | P.156<br>P.18<br>P.72、93<br>P.17 |
| メモリーカード未挿入 | [-E-] | SDカードを正しく挿入してください。 | P.17 |
| 日時未設定 | ? (点滅) | 日時を設定してください。 | P.14、121 |
| — | ● (点滅) | 構図を変えるか、マニュアル（手動）でピントを合わせてください。 | P.24、38 |
| 被写体が明るすぎます | H I | • ISO感度を低くしてください。<br>• シャッタースピードをより高速側にしてください。<br>• 絞りを絞り込んでください（より大きい数値にする）。<br>• 別売のND（光量調節用）フィルターをお使いください。 | P.49<br>P,52<br>P.52<br>P.155 |

| 液晶モニター | ファインダー | 対処方法 | ページ |
|---|---|---|---|
| 被写体が暗すぎます | Lo | • ISO感度を高くしてください。<br>• フラッシュをお使いください。<br>• シャッタースピードをより低速側にしてください。<br>• 絞りを開けてください（より小さい数値にする）。 | P.49<br>P.46<br>P.52<br>P.52 |
| 撮影画像がありません。 | — | • 画像が記録されているSDカードに交換してください。<br>• [再生フォルダー設定]を[全てのフォルダー]にしてください。 | P.17<br>P.93 |
| このファイルは表示できません。 | — | • パソコンで編集した画像など、DCF規格の画像ファイルではないため、再生できません。<br>• 画像ファイルに異常があるため再生できません。 | —<br>— |
| バッテリーが残り少なくなりました。ただちに作業を終了し、電源スイッチをOFFにしてください。 | — | クリーニングを中止し、電源をOFFにしてください。 | P.160 |
| 何らかの異常を検出しました。復旧にはシャッターボタンをもう一度押してください。 | Err<br>（点滅） | • もう一度シャッターボタンを押してください。<br>• 警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービスセンターにご相談ください。 | P.24<br>P.195 |
| 起動エラーが発生しました。サービスセンターにお問い合わせください。 | Err<br>（点滅） | ニコンサービスセンターにご相談ください。 | P.195 |

# 資料集

以下のようなカメラの機能、各種データについてまとめています。



| | |
|---|---|
| コマンドダイヤル操作で設定できる機能 | P.173 |
| 撮影モード別：設定できる機能一覧 | P.175 |
| 撮影モード別：初期設定一覧 | P.177 |
| 画質モード・画像サイズと記録・連続撮影可能コマ数 | P.179 |
| 撮影モードPのプログラム線図 | P.180 |
| フラッシュ撮影時の発光量制御について | P.180 |
| 内蔵フラッシュ撮影時のシャッタースピード制限 | P.181 |
| 内蔵フラッシュの調光範囲 | P.181 |
| このカメラの準拠規格 | P.181 |
| ホワイトバランスの色温度 | P.182 |



## コマンドダイヤル操作で設定できる機能

コマンドダイヤルを単体で回すか、ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して設定できる機能をまとめました。

プログラムシフト、シャッタースピード、絞りの設定、露出補正、調光補正は、撮影設定変更画面やメニュー画面を表示しなくても、ファインダーを見ながらコマンドダイヤルとボタンの操作だけで設定できるので、便利です。

| 露出関連 | | |
|---|---|---|
| | プログラムシフト<br>（撮影モードが**P**のとき） | |
| | シャッタースピードの設定<br>（撮影モードが**S**または**M**のとき） | |
| | 絞りの設定<br>（撮影モードが**A**のとき） | |
| | 絞りの設定<br>（撮影モードが**M**のとき） | |
| | 露出補正<br>（撮影モードが**P**、**S**、**A**のとき） | |

付録　資料集

| フラッシュ関連 | | |
|---|---|---|
|  | フラッシュモード<br>（撮影モードが AUTO、、、、、**P**、**S**、**A**、**M**のとき） |  |
|  | 調光補正<br>（撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**のとき） |  |
| 11：[/**Fn** ボタンの機能]（P.112）を［セルフタイマー］（初期設定）以外にすると、次の設定がコマンドダイヤルで変更できます | | |
|  | ［動作モード設定］ | 動作モード |
| | ［画質モード/画像サイズ設定］ | 画質モード |
| | ［ISO感度設定］ | ISO感度 |
| | ［ホワイトバランス設定］ | ホワイトバランス |

## 撮影モード別：設定できる機能一覧

それぞれの撮影モードごとに、設定できる機能とできない機能をまとめました。表の見方は以下の通りです。

- ● ：設定できます。ツーボタンリセットで初期設定に戻ります。
- ◎ ：設定できます。カスタムメニュー[R：カスタムのリセット]（P.107）で初期設定に戻ります。
- ○ ：設定できます。撮影モードを切り換えると初期設定に戻ります。
- △ ：設定できます。設定を元に戻さない限り、初期設定には戻りません。
- 無印 ：設定できません。

| 撮影メニュー | AUTO | | | | | | | | P | S | A | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 仕上がり設定（P.97） | | | | | | | | | △ | △ | △ | △ |
| 画質モード（P.40） | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 画像サイズ（P.40） | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| ホワイトバランス（P.64、100） | | | | | | | | | ● | ● | ● | ● |
| ISO感度（P.49） | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| ノイズ低減（P.105） | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ |

| カスタムメニュー | AUTO | | | | | | | | P | S | A | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1：電子音設定（P.107） | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 2：フォーカスモード（P.33、108） | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ |
| 3：AFエリアモード（P.34、108） | ●<br>○<br>◎ | ●<br>○<br>◎ | ●<br>○<br>◎ | ●<br>○<br>◎ | ●<br>○<br>◎ | ●<br>○<br>◎ | ●<br>○<br>◎ | ●<br>○<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ |
| 4：動作モード（P.42、108） | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ |
| 5：測光モード（P.59、108） | | | | | | | | | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ |
| 6：カード無し時レリーズ（P.109） | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 7：撮影直後の画像確認（P.109） | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 8：フラッシュ調光補正（P.63、109） | | | | | | | | | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ | ●<br>◎ |
| 9：内蔵AF補助光の照射（P.110） | ◎ | ◎ | ◎ | | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

| カスタムメニュー | AUTO | | | | | | | | P | S | A | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10：感度自動制御 (P.110) | | | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 11：/Fn ボタンの機能 (P.112) | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 12：AE-L/AF-L ボタンの機能 (P.112) | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 13：半押しAEロック (P.113) | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 14：内蔵フラッシュ発光 (P.113) | | | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 15：パワーオフ時間 (P.114) | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 16：セルフタイマー時間 (P.115) | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 17：リモコン待機時間 (P.115) | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

| その他の設定 | AUTO | | | | | | | | P | S | A | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| プログラムシフト (P.54) | | | | | | | | | ●<br>○ | | | |
| AEロック (P.60) | ●※1 | ●※1 | ●※1 | ●※1 | ●※1 | ●※1 | ●※1 | ●※1 | ● | ● | ● | |
| 露出補正 (P.62) | | | | | | | | | ● | ● | ● | ●※2 |
| フラッシュモード (P.47) | ●<br>○ | | ●<br>○ | ●※3<br>○ | ●<br>○ | ●※3<br>○ | ●<br>○ | ●<br>○ | ● | ● | ● | ● |

※1　AEロックは作動しますが、マルチパターン測光での撮影となり、充分な効果が得られないため、おすすめできません。

※2　撮影モード **M** では、露出インジケーター表示が変わるだけで、設定したシャッタースピードと絞り値は変わりません。

※3　別売のスピードライトを装着した場合に設定できます。

## 撮影モード別：初期設定一覧

ご購入時のカメラの設定についてまとめました。

| 再生メニュー | AUTO | | | | | | | | P | S | A | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 再生フォルダー設定 | 記録中のフォルダー | | | | | | | | | | | |
| 縦位置自動回転 | する | | | | | | | | | | | |

| 撮影メニュー | AUTO | | | | | | | | P | S | A | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 仕上がり設定 | —— | | | | | | | | 標準 | | | |
| 画質モード | NORMAL | | | | | | | | | | | |
| 画像サイズ | サイズL | | | | | | | | | | | |
| ホワイトバランス | オート | | | | | | | | | | | |
| ISO感度 | オート | | | | | | | | 100 | | | |
| ノイズ低減 | しない | | | | | | | | | | | |

| カスタムメニュー | AUTO | | | | | | | | P | S | A | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1：電子音設定 | ON | | | | | | | | | | | |
| 2：フォーカスモード | AF-A | | | | | | | | | | | |
| 3：AFエリアモード | 至近優先ダイナミック | | | | | ダイナミック | シングル | 至近優先ダイナミック | | | | |
| 4：動作モード | 単写 | | | | | | | | | | | |
| 5：測光モード | マルチパターン測光 | | | | | | | | | | | |
| 6：カード無し時レリーズ | レリーズ禁止 | | | | | | | | | | | |
| 7：撮影直後の画像確認 | する | | | | | | | | | | | |
| 8：フラッシュ調光補正 | —— | | | | | | | | 0.0 | | | |
| 9：内蔵AF補助光の照射 | ON | | | OFF固定 | ON | OFF固定 | ON | | | | | |
| 10：感度自動制御 | —— | | | | | | | | しない | | | |
| 11：⏲/Fn ボタンの機能 | セルフタイマーモード | | | | | | | | | | | |
| 12：AE-L/AF-Lボタンの機能 | AE/AF同時ロック | | | | | | | | | | | |
| 13：半押しAEロック | しない | | | | | | | | | | | |

| カスタムメニュー | AUTO | | | | | | | | P | S | A | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14：内蔵フラッシュ発光 | —— | | | | | | | | TTLモード | | | |
| 15：パワーオフ時間 | 標準 | | | | | | | | | | | |
| 16：セルフタイマー時間 | 10秒 | | | | | | | | | | | |
| 17：リモコン待機時間 | 1分 | | | | | | | | | | | |

| セットアップメニュー | AUTO | | | | | | | | P | S | A | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| メニュー表示切り換え | シンプルメニュー | | | | | | | | | | | |
| 情報画面デザイン | グラフィック | | | | | | | | グラフィック | | | |
| 情報画面の自動表示 | 自動表示しない | | | | | | | | 自動表示しない | | | |
| ワールドタイム | 販売地域によって異なります | | | | | | | | | | | |
| 液晶モニターの明るさ | 0 | | | | | | | | | | | |
| ビデオ出力 | 販売地域によって異なります | | | | | | | | | | | |
| 言語（LANG） | 販売地域によって異なります | | | | | | | | | | | |
| 画像コメント | 添付しない | | | | | | | | | | | |
| USB設定 | Mass Storage | | | | | | | | | | | |
| 連番モード | OFF | | | | | | | | | | | |
| 縦横位置情報の記録 | する | | | | | | | | | | | |

| その他の設定 | AUTO | | | | | | | | P | S | A | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| フォーカスエリア | —— | | | | | 中央 | | —— | | | | |
| フォーカスロック | OFF（解除） | | | | | | | | | | | |
| プログラムシフト | —— | | | | | | | | OFF（解除） | —— | | |
| AEロック | OFF（解除） | | | | | | | | | | | |
| 露出補正 | —— | | | | | | | | OFF（0.0） | | | |
| フラッシュモード | ※1 | — | ※1 | — | ※1 | — | ※1 | ※2 | 通常発光 | | | |

※1　通常発光オート
※2　通常発光オート＋スローシャッター

付録　資料集

## 画質モード・画像サイズと記録・連続撮影可能コマ数（P.22、39）

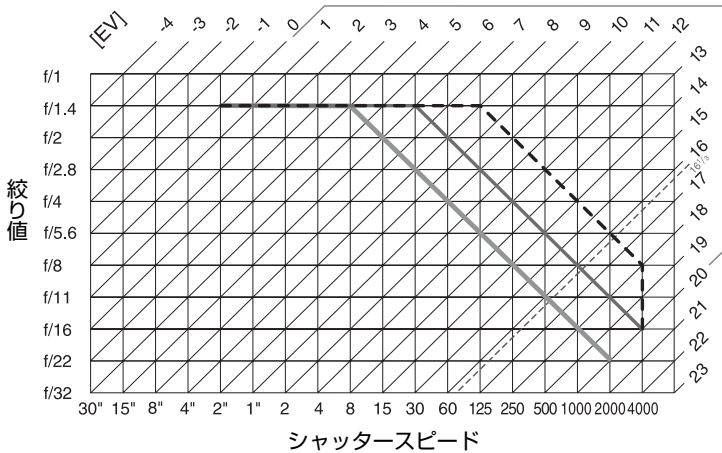
画質モードと画像サイズの組み合わせによって、1GBのSDカードで撮影できるおおよそのコマ数、および連写できるコマ数は次のようになります。※1 ただし、カードの種類や撮影条件によって、記録可能コマ数は増減することがあります。

| 画質モード | 画像サイズ | 1コマあたりのファイルサイズ※2 | 記録可能コマ数 | 連続撮影可能コマ数※3 |
|---|---|---|---|---|
| RAW | — | 約9.0MB | 79 | 6 |
| FINE | L | 約4.8MB | 129 | 100 |
| | M | 約2.7MB | 225 | 100 |
| | S | 約1.2MB | 487 | 100 |
| NORMAL | L | 約2.4MB | 251 | 100 |
| | M | 約1.3MB | 431 | 100 |
| | S | 約0.6MB | 888 | 100 |
| BASIC | L | 約1.2MB | 487 | 100 |
| | M | 約0.7MB | 839 | 100 |
| | S | 約0.3MB | 1.5K※4 | 100 |
| RAW+ BASIC | —／L | 約10.1MB※5 | 70 | 6 |

※1 Panasonic製Pro HIGH SPEED SDカードを使用した場合。
※2 記録される平均的な1コマあたりのファイルサイズです。
※3 SDカードへの記録が終わったコマ数分だけ、引き続き次の撮影が行えます。
※4 「K」は1000倍を意味しており、この場合だと約1500コマを意味します。
※5 RAW画像とBASIC画像の合計です。

## 撮影モード Pのプログラム線図（P.54）

以下のグラフは、撮影モード **P**の露出制御プログラム（ISO100の場合）を表しています。

f（レンズの焦点距離）≦55mmの場合（灰色の太線）
55mm＜f≦135mmの場合（実線）
135mm＜fの場合（破線）

- ISO感度に応じた測光範囲によって、EV値の両端に制限があります。
- マルチパターン測光では、ISO100の場合16 1/3を超えるEV値は、すべて16 1/3として制御されます。

## フラッシュ撮影時の発光量制御について（P.63、113）

CPUレンズをお使いの場合、内蔵フラッシュの発光量は、以下の2種類の制御方式のどちらかで決定されます。通常はi-TTL-BL調光ですが、[測光モード]（P.59）を[スポット測光]にした場合は、スタンダードi-TTL調光になります。

| | |
|---|---|
| **i-TTL-BL調光** | マルチパターン測光による測光情報を元に、メインの被写体と背景のバランスを考慮して発光量を決定します。 |
| **スタンダードi-TTL調光** | 背景の明るさを考慮せず、メインの被写体を基準にして発光量を決定します。メインの被写体の明るさを重視する場合や、露出を補正する場合に適しています。 |

別売スピードライトSB-400、SB-800、SB-600をお使いの場合も、内蔵フラッシュと同様に、通常はi-TTL-BL調光に、[測光モード]（P.59）を[スポット測光]にすると、スタンダードi-TTL調光になります。

## 内蔵フラッシュ撮影時のシャッタースピード制限（P.46）

| モード | | シャッタースピード |
|---|---|---|
| AUTO | オート | 1/200～1/60秒 |
| | ポートレート | 1/200～1/60秒 |
| | こどもスナップ | 1/200～1/60秒 |
| | クローズアップ | 1/200～1/125秒 |
| | 夜景ポートレート | 1/200～1秒 |

| モード | シャッタースピード |
|---|---|
| P | 1/200～1/60秒 |
| S | 1/200～30秒 |
| A | 1/200～1/60秒 |
| M | 1/200～30秒、bulb |

## 内蔵フラッシュの調光範囲（P.46）

調光範囲（光が届く距離）はISO感度と絞り値によって異なります。

| | ISO感度 | | | | | 調光範囲（m） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 100 | 200 | 400 | 800 | 1600 | |
| 絞り値 | 1.4 | 2 | 2.8 | 4 | 5.6 | 約1～7.5 |
| | 2 | 2.8 | 4 | 5.6 | 8 | 約0.7～5.4 |
| | 2.8 | 4 | 5.6 | 8 | 11 | 約0.6～3.8 |
| | 4 | 5.6 | 8 | 11 | 16 | 約0.6～2.7 |
| | 5.6 | 8 | 11 | 16 | 22 | 約0.6～1.9 |
| | 8 | 11 | 16 | 22 | 32 | 約0.6～1.4 |
| | 11 | 16 | 22 | 32 | — | 約0.6～0.9 |
| | 16 | 22 | 32 | — | — | 約0.6～0.7 |

## このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF) Version 2.0：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif Version 2.21：(Exif＝Exchangeable image file format for digital still cameras)：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接印刷するための標準規格です。

## ホワイトバランスの色温度（P.64、100）

各ホワイトバランスと、それぞれのホワイトバランスを微調整した場合の色温度は以下の通りです。写真用カラーメーターで測定した色温度値とカメラの設定色温度は異なる場合があります。

| | 微調整なし | 微調整した場合の色温度 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | －3 | －2 | －1 | ＋1 | ＋2 | ＋3 |
| AUTO オート | 約3500～8000K | 基準となるホワイトバランスに応じて、微調整時の色温度は変化します | | | | | |
| 電球 | 約3000K | 約3300K | 約3200K | 約3100K | 約2900K | 約2800K | 約2700K |
| 蛍光灯※ | 約4200K | 約7200K | 約6500K | 約5000K | 約3700K | 約3000K | 約2700K |
| 晴天 | 約5200K | 約5600K | 約5400K | 約5300K | 約5000K | 約4900K | 約4800K |
| フラッシュ | 約5400K | 約6000K | 約5800K | 約5600K | 約5200K | 約5000K | 約4800K |
| 曇天 | 約6000K | 約6600K | 約6400K | 約6200K | 約5800K | 約5600K | 約5400K |
| 晴天日陰 | 約8000K | 約9200K | 約8800K | 約8400K | 約7500K | 約7100K | 約6700K |
| PRE プリセット | — | 微調整はできません | | | | | |

※「**蛍光灯**」の微調整値は、以下のように、蛍光灯の種類に対応した色温度になっています。

| | 色温度 | 適した蛍光灯 |
|---|---|---|
| ＋3 | 約2700K | 野球場、体育館などのナトリウム灯の混合光など |
| ＋2 | 約3000K | 電球色蛍光灯 |
| ＋1 | 約3700K | 温白色蛍光灯 |
| ±0 | 約4200K | 白色蛍光灯 |
| －1 | 約5000K | 昼白色蛍光灯 |
| －2 | 約6500K | 昼光色蛍光灯 |
| －3 | 約7200K | 高色温度の水銀灯など |

# 主な仕様

| 項目 | | | 仕様 |
|---|---|---|---|
| 型式 | | | レンズ交換式一眼レフレックスタイプデジタルカメラ |
| 有効画素数 | | | 10.2 メガピクセル |
| 撮像素子 | | | 23.6×15.8mmサイズ<br>総画素数：10.75 メガピクセル |
| | 記録画素数 | | 3872×2592 ピクセル（L）、2896×1944 ピクセル（M）、1936×1296 ピクセル（S） |
| レンズマウント | | | ニコンFマウント（AF接点付き） |
| 交換レンズ | | | |
| | IXニッコールを除くGタイプ、Dタイプレンズ | AF-Sレンズ、AF-Iレンズ | 全機能を使用可能 |
| | | AF-Sレンズ、AF-Iレンズを除く | オートフォーカスを除く機能を使用可能 |
| | PCマイクロニッコール85mm F2.8D | | オートフォーカスと撮影モードの一部を除く機能を使用可能 |
| | GまたはD タイプ以外のAFレンズ（F3AF 用を除く） | | オートフォーカスと3D-RGBマルチパターン測光Ⅱを除く機能使用可能 |
| | AI-Pニッコール | | オートフォーカスと3D-RGBマルチパターン測光Ⅱを除く機能使用可能、開放F値がF5.6より明るい場合フォーカスエイド可能 |
| | 非CPUレンズ | | 撮影モード **M**、マニュアルフォーカスで使用可能（露出計は使用不可）、開放F値がF5.6より明るい場合フォーカスエイド可能 |
| 実撮影画角 | | | レンズ表記の約1.5倍の焦点距離レンズに相当 |
| ファインダー | | | ペンタミラー式一眼レフレックスファインダー |
| | 視度調節機構 | | $-1.7\sim+0.5m^{-1}$ |
| | アイポイント | | 18 mm（$-1.0m^{-1}$のとき） |
| | ファインダースクリーン | | B型クリアマットスクリーンV（フォーカスフレーム付） |
| | ファインダー視野率 | | 上下左右とも約95％（対実画面） |
| | ファインダー倍率 | | 約0.80倍（50mm F1.4レンズ・∞・$-1.0m^{-1}$のとき） |
| ミラー | | | クイックリターン式 |
| レンズ絞り | | | 瞬間復元式、電子制御式 |
| フォーカスエリア | | | 3カ所から1カ所を選択可能 |

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| レンズサーボ | オートフォーカス：シングルAFサーボ（AF-S）、コンティニュアスAFサーボ（AF-C）、AFサーボモード自動切り換え（AF-A）を選択可能、被写体条件により自動的に予測駆動フォーカスに移行<br>マニュアルフォーカス可能 |

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| オートフォーカス | | TTL位相差検出方式、マルチCAM530オートフォーカスセンサーモジュールにより検出、AF補助光（約0.5～3m）付 |
| | 検出範囲 | －1～＋19EV( ISO100 換算、20℃ ) |
| | AFエリアモード | シングルエリアAFモード、ダイナミックAFモード、<br>至近優先ダイナミックAFモード |
| | フォーカスロック | AE/AFロックボタン、またはシングルAFサーボ(AF-S)時にシャッターボタン半押しにて可能 |

| 項目 | | | 仕様 |
|---|---|---|---|
| 露出 | | | |
| | 測光方式 | | TTL開放測光方式 |
| | | マルチパターン測光 | 420分割RGBセンサーにより、Gタイプ、Dタイプレンズ使用時は3D-RGBマルチパターン測光IIが、その他のCPUレンズ使用時はRGBマルチパターン測光IIが可能 |
| | | 中央部重点測光 | φ8mm相当を測光（中央部重点度約75％） |
| | | スポット測光 | 約φ3.5mm相当を測光（全画面の約2.5％）、フォーカスエリアに連動して測光位置可動 |
| | | 測光範囲 | 0～20EV（マルチパターン測光、中央部重点測光）<br>2～20EV（スポット測光）<br>(ISO100換算、20℃、F1.4レンズ使用時) |
| | | 露出計連動 | CPU連動方式 |
| | | 撮影モード<br>(デジタルイメージプログラム/<br>露出モード) | 12種：AUTO：オート、：発光禁止オート、：ポートレート、：風景、：こどもスナップ、：スポーツ、：クローズアップ、：夜景ポートレート、**P**：マルチプログラムオート（プログラムシフト可能）、**S**：シャッター優先オート、**A**：絞り優先オート、**M**：マニュアル |
| | | 露出補正 | ±5段の範囲で1/3段ステップで補正可能 |
| | | AEロック | AE/AFロックボタンによる輝度値ロック方式 |

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| シャッター | | 電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター |
| | シャッタースピード | 30～1/4000秒（1/3段ステップ）、バルブ、<br>タイム（別売リモコンML-L3使用時） |

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| ISO感度(推奨露光指数) | ISO100～1600、ISO1600に対し1段まで増感可能（1段ステップ） |

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| ホワイトバランス | オート（420分割RGBセンサー、撮像素子併用によるホワイトバランス）、マニュアル6種（それぞれ補正が可能）、プリセット可能 |

| 内蔵フラッシュ | | 撮影モード ：<br>オートポップアップ方式による自動発光<br>撮影モード **P S A M**：<br>押しボタン操作による手動ポップアップ方式 |
|---|---|---|
| | ガイドナンバー | 約12（マニュアルフル発光時約13）（ISO 100・m、20℃） |

| 調光 | | |
|---|---|---|
| | シンクロ同調 | X接点（半導体方式）、1/200秒以下の低速シャッタースピードでフラッシュと同調 |
| | 調光方式 | 420分割RGBセンサーによる次のTTL調光制御：<br>- 内蔵フラッシュ、SB-800、SB-600、SB-400のいずれかと、CPUレンズとの組み合わせ時は、i-TTL-BL調光。同じ条件で測光モードをスポット測光にした場合、スタンダードi-TTL調光<br>絞り連動自動調光：SB-800とCPUレンズとの組み合わせ時<br>外部自動調光：SB-800、SB-80DX、SB-28DX、SB-28、SB-27、SB-22Sなどとの組み合わせ時<br>距離優先マニュアル調光：SB-800との組み合わせ時 |
| | フラッシュモード | 撮影モード ：<br>「通常発光オート」、「赤目軽減オート」（別売スピードライト使用時は「通常発光」、「赤目軽減」）<br>撮影モード ：<br>「赤目軽減オート＋スローシャッター」、「通常発光オート＋スローシャッター」（別売スピードライト使用時は「赤目軽減＋スローシャッター」、「通常発光＋スローシャッター」）<br>撮影モード ：<br>別売スピードライト使用時に「通常発光」、「赤目軽減」<br>撮影モード **P A**：<br>「通常発光」、「赤目軽減」、「赤目軽減＋スローシャッター」、「通常発光＋スローシャッター」、「後幕発光＋スローシャッター」<br>撮影モード **S M**：<br>「通常発光」、「赤目軽減」、「後幕発光」 |
| | 調光補正 | －3～＋1段の範囲で1/3段ステップで補正可能 |
| | レディーライト | 内蔵フラッシュ、SB-800、SB-600、SB-400など使用時に充電完了で点灯、フル発光による露出警告時は点滅 |
| | アクセサリーシュー | ホットシュー付：シンクロ接点、通信接点、GND、セーフティロック機構（ロック穴）付 |
| | ニコン クリエイティブライティングシステム | 内蔵フラッシュ、SB-800、SB-600、SB-400との組み合わせにより発光色温度情報伝達に対応<br>SB-800、SU-800をコマンダーとしたアドバンストワイヤレスライティングに対応 |

| 記録 | | |
|---|---|---|
| | 記録媒体 | SDメモリーカード、SDHC対応 |
| | 記録画像ファイル形式 | DCF2.0（Design rule for Camera File system）準拠、DPOF（Digital Print Order Format）準拠 |
| | 圧縮 | • 12ビットRAW圧縮（約50～70%圧縮）<br>• JPEG-Baseline準拠 |

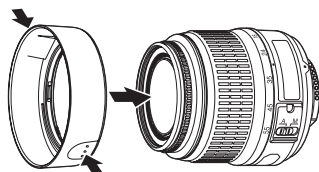
| セルフタイマー | 作動時間2、5、10、20秒に設定可能 |
|---|---|
| 液晶モニター | 2.5型低温ポリシリコンTFT液晶、約23万ドット、明るさ調整可能 |
| ビデオ出力 | NTSC、PALから選択可能 |
| 外部インターフェース | Hi-Speed USB |
| 三脚ネジ穴 | 1/4（ISO1222規格） |
| ファームウェアバージョンアップ | ユーザーによるファームウェアバージョンアップ可能 |
| 表示言語 | ドイツ語、英語、スペイン語、フィンランド語、フランス語、イタリア語、オランダ語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、スウェーデン語、繁体中国語、簡体中国語、日本語、韓国語 |
| 電源 | • Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL9：電圧DC 7.4V［クイックチャージャー MH-23］使用<br>• ACアダプター EH-5（パワーコネクター EP-5と組み合わせて使用）（別売） |
| 寸法（W×H×D） | 約126×94×64mm |
| 質量 | 約495g（バッテリー、SDカード、ボディーキャップを除く） |

| 動作環境 | | |
|---|---|---|
| | 温度 | 0～40℃ |
| | 湿度 | 85%以下（結露しないこと） |

| クイックチャージャー MH-23 | |
|---|---|
| 電源 | AC 100～240V（50/60Hz） |
| 充電出力 | DC 8.4V、0.9A |
| 適応電池 | Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL9 |
| 充電時間 | 約90分 |
| 使用温度 | 0～40℃ |
| 寸法（W×H×D） | 約82.5×28×65mm |
| 電源コード | 長さ約1.8m、日本国内専用AC100V 対応 |
| 質量 | 約80g（電源コードを除く） |

| Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL9 | |
|---|---|
| 形式 | リチウムイオン充電池 |
| 定格容量 | 7.4V、1000mAh |
| 寸法（W×H×D） | 約36×14×56mm |
| 質量 | 約51g（端子カバーを除く） |

| レンズ AF-S DX ズームニッコールED 18－55mm F3.5－5.6GII | |
|---|---|
| 型式 | ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DX ニッコールズームレンズ（ニコンデジタル一眼レフカメラ［ニコンDXフォーマット］専用） |
| 焦点距離 | 18－55mm |
| 最大口径比 | 1:3.5－5.6 |
| レンズ構成 | 5群7枚（EDレンズ1枚、非球面レンズ1枚） |
| 画角 | 76°－28° 50′ |
| 焦点距離目盛 | 18、24、35、45、55mm |
| 撮影距離情報 | カメラボディーへの撮影距離情報出力可能 |
| ズーミング | ズームリングによる回転式 |
| ピント合わせ | 超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能 |
| 最短撮影距離 | 0.28m（ズーム全域） |
| 絞り羽根枚数 | 7枚（円形絞り） |
| 絞り方式 | 自動絞り |
| 絞りの範囲 | 焦点距離18mm時 F3.5－22、55mm時 F5.6－38（D40xとの組み合わせではF36まで） |
| 測光方式 | 開放測光 |
| アタッチメントサイズ | 52mm（P＝0.75mm） |
| 寸法 | 約70.5（最大径）×74mm（バヨネット基準面からレンズ先端まで） |
| 質量 | 約205g |
| レンズフード（別売） | フード HB-33<br>＜レンズフードの取り付け方＞ |

付録 主な仕様

### ✓ 仕様についてのご注意

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温（20℃）、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

### ✓ 撮影可能コマ数（電池寿命）についてのご注意

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL9（1000 mAh）による撮影可能コマ数（電池寿命）
- 1コマ撮影モード：約520コマ（CIPA基準準拠※1）
- 連写モード：約2000コマ（当社試験条件※2）

※1） 初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影レンズを無限遠から至近に1往復フォーカシング動作をさせて1コマ撮影する。レリーズ2回につき1回内蔵フラッシュを発光させる。
※2） 画質モードBASIC、画像サイズM、シャッタースピード1/250秒、シャッターの半押しを3秒間持続後、撮影レンズを無限遠から至近間を3往復フォーカシング動作させ6回連続レリーズした後、液晶モニターを5秒間点灯させ、消灯後半押しタイマーがオフになるまで放置。以後同じ動作を繰り返す。
※ 充電状態、使用環境によって電池寿命が異なります。
※ 装着レンズはAF-S DXズームニッコールED 18－55mm F3.5－5.6GII

以下の場合はバッテリーの消耗が速くなります。
- 液晶モニターを使用した場合
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードRAW、RAW＋BASICで撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）機能をONにした場合

バッテリーの性能を最大限に発揮させるため、次のことにご注意ください。
- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使わないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。
- バッテリーの特性上、カメラで表示される電池残量の減り方は、周囲の温度などによって変化します。

### ✓ 使用説明書の再発行についてのご案内

使用説明書を紛失した場合は、新しい使用説明書をニコンサービスセンターでお求めください（有料）。

# 索引

## 記号


→ オート（撮影モード）
→ 発光禁止オート（撮影モード）
→ ポートレート（撮影モード）
→ 風景（撮影モード）
→ こどもスナップ（撮影モード）
→ スポーツ（撮影モード）
→ クローズアップ（撮影モード）
→ 夜景ポートレート（撮影モード）
→ 再生
MENU → メニュー
→ サムネイル表示モード
? → ヘルプ
→ 拡大表示
→ 撮影設定変更画面
info → 情報画面
AE-L AF-L → フォーカスロック、AEロック
→ プロテクト
→ 露出補正
→ 絞り
→ フラッシュ、フラッシュモード
→ 調光補正
→ セルフタイマー撮影
Fn → ファンクションボタン


## 英数


A → 絞り優先オート（撮影モード）
AE-L/AF-Lボタンの機能（カスタムメニュー） 112
AEロック 7、60、112
AF-A、AF-C、AF-S → フォーカスモード
AFエリアモード（カスタムメニュー） 34、108
AF補助光 3、33、110
AFロック → フォーカスロック
BASIC → 画質モード
Bulb → 長時間露光
Camera Control Pro 157
Capture NX 157
D-ライティング（画像編集メニュー） 134
DPOF 76、81、84、181
Exif Version 2.21 181
FINE → 画質モード
ISO感度 8、49、105、110、112
ISO感度（撮影メニュー） 49、105
JPEG 40、179
M → マニュアル（撮影モード）
Mass Storage → USB設定

MTP/PTP → USB設定
NEF 40
NORMAL → 画質モード
P → プログラムオート（撮影モード）
PictBridge 77、181
PictureProject 73、76
PC → パソコンとの接続
RAW → 画質モード
S → シャッター優先オート（撮影モード）
SDカード 4、17、22、118、156、179
SDメモリーカード → SDカード
TTLモード → 内蔵フラッシュ発光
USB 3、73～75、77、78、124
USB設定（セットアップメニュー） 124
1コマ表示モード 29、65
2秒リモコン → 動作モード

## あ

赤目軽減 47
赤目補正（画像編集メニュー） 135
イメージダストオフデータ取得（セットアップメニュー） 128
色合い調整 → 仕上がり設定
印刷 → プリント
インターバル設定 → スライドショー
インデックス印刷 → ダイレクトプリント
液晶モニター 4、8、29、65～72、122、159、163
液晶モニターの明るさ（セットアップメニュー） 122
オート（撮影モード） 6、21～25
オートフォーカス 10、33～37

## か

カード無し時レリーズ（カスタムメニュー） 109
カードの初期化（セットアップメニュー） 18、118
階調補正 → 仕上がり設定
拡大表示 70
画質モード（撮影メニュー） 40、99
カスタムのリセット（カスタムメニュー） 107
カスタムメニュー 106～115
画像合成（画像編集メニュー） 141
画像コメント（セットアップメニュー） 123
画像サイズ（撮影メニュー） 40、99
画像ファイル 41、179
画像編集メニュー 131
カラー設定 → 仕上がり設定
感度 → ISO感度
感度自動制御（カスタムメニュー） 110
記録可能コマ数 7、8、22、179
記録フォルダー設定（セットアップメニュー） 125

クリーニングミラーアップ（セットアップメニュー） 128、160
クローズアップ（撮影モード） 6、28
言語（LANG）（セットアップメニュー） 122
構図 23
こどもスナップ（撮影モード） 6、27
コンティニュアスAFサーボ（AF-C） → フォーカスモード

## さ

再生 29、65～72、86
再生フォルダー設定（再生メニュー） 93
再生メニュー 92～95
彩度設定 → 仕上がり設定
削除（再生メニュー） 93
削除 29、72、93
撮影情報 66
撮影設定変更画面 31
撮影直後の画像確認（カスタムメニュー） 109
撮影メニュー 96～105
撮影モード 6
撮影モードダイヤル 3、6
サムネイル表示モード 69
仕上がり設定（撮影メニュー） 97
至近優先ダイナミック → AFエリアモード
時刻 14、121
視度調節 4、20
絞り 7、8、52～58
絞り優先オート（撮影モード） 6、56
シャッタースピード 7、8、52～58
シャッター優先オート（撮影モード） 6、55
瞬時リモコン → 動作モード
情報画面 8、21、31、119
情報画面デザイン（セットアップメニュー） 119
情報画面の自動表示（セットアップメニュー） 121
初期化 → カードの初期化
初期設定 50、107、177
シングル → AFエリアモード
シングルAFサーボ（AF-S） → フォーカスモード
シンプルメニュー → メニュー表示切り換え
ズーム 23
スピードライト 149～154
スポーツ（撮影モード） 6、28
スポット測光 59
スモールピクチャー（画像編集メニュー） 139
スライドショー（再生メニュー） 94
セットアップメニュー 14、18、116～130
セルフタイマー時間（カスタムメニュー） 115
セルフタイマー撮影 43

測光モード（カスタムメニュー） 59、108
外付けフラッシュ発光 113

**た**

ダイナミック → AFエリアモード
ダイレクトプリント 77
縦位置自動回転（再生メニュー） 93
縦横位置情報の記録（セットアップメニュー） 130
単写 → 動作モード
中央部重点測光 59
調光範囲 181
調光補正 7、8、63、109
長時間露光（バルブ） 58
テレビ 86
電源 5、12、157
電子音設定（カスタムメニュー） 107
動作モード（カスタムメニュー） 42、108
トリミング（画像編集メニュー） 136

**な**

内蔵AF補助光の照射（カスタムメニュー） 110
内蔵フラッシュ発光（カスタムメニュー） 113
ノイズ低減（撮影メニュー） 105

**は**

ハイライト表示 67
パソコンとの接続 73～75
発光禁止オート（撮影モード） 6、27
バッテリー ix～x、2、9、12、164、187
バルブ → 長時間露光
パワーオフ時間（カスタムメニュー） 114
範囲指定（ダイレクトプリント） 80
半押し 22、24
半押しAEロック（カスタムメニュー） 113
半押しタイマー 22
ピクトブリッジ → PictBridge
非CPUレンズ 147
ヒストグラム表示 68
日付 14、66、121
ビデオ出力（セットアップメニュー） 122
ピント 10、24、33、36、37、38
ファームウェアバージョン（セットアップメニュー） 128
ファインダー 4、7、20、155、159
ファイル名 41、66、127
ファンクションボタン 112、174
フィルター効果（画像編集メニュー） 138
風景（撮影モード） 6、27
フォーカスエイド 38、146、147

フォーカスエリア　7、8、23、34、35、108
フォーカスモード（カスタムメニュー）　33、108
フォーカスロック　36～37、112
フラッシュ　3、25、46～48、149～154
フラッシュ調光補正（カスタムメニュー）　63、109
フラッシュモード　8、46～48
プリセットホワイトバランス　64、101～104
プリンター　→　ダイレクトプリント
プリント　76～85、95
プリント指定（再生メニュー）　84～85、95
フルメニュー　→　メニュー表示切り換え
プログラムオート（撮影モード）　6、54
プログラムシフト　7、54
プロテクト　71
ヘルプ　5
ポートレート（撮影モード）　6、27
ホワイトバランス（撮影メニュー）　64、100～104

**ま**

マイメニュー　→　メニュー表示切り換え
マニュアル（撮影モード）　6、57
マニュアル発光モード　→　内蔵フラッシュ発光
マニュアルフォーカス　33、38
マルチパターン測光　59
メニュー　14、18、88～143
メニュー表示切り換え（セットアップメニュー）　117
メモリーカード　→　SDカード
モノトーン（画像編集メニュー）　137

**や**

夜景ポートレート（撮影モード）　6、28

**ら**

リモコン撮影　43
リモコン待機時間（カスタムメニュー）　115
輪郭強調　→　仕上がり設定
レディーライト　7、25
レンズ　10～11、23、38、145～148、188
連続撮影可能コマ数　7、42、179
連写　→　動作モード
連続撮影　→　動作モード
連番モード（セットアップメニュー）　127
ローパスフィルター　160～161
露出インジケーター　7、8、57～58
露出補正　7、8、62

**わ**

ワールドタイム（セットアップメニュー）　121

# アフターサービスのご案内

## ■ この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理についてご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。

●お願い

- 次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上、お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

## ■ 修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご参照ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は、最寄りの販売店またはニコンサービスセンターにご相談ください。

## ■ 補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後7年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後でも修理可能な場合がありますので、ご購入店またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

## ■ インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社のホームページでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行
FAX:03－5977－7499

# 【お問い合わせ承り書】

太枠内のみご記入ください

| お問い合わせ日： | | 年　　月　　日 |
|---|---|---|
| お買い上げ日： | | 年　　月　　日 |
| 製品名： | シリアル番号： | |
| フリガナ<br>お名前： | | |
| 連絡先ご住所：□自宅　　□会社<br>〒<br><br>TEL:<br>FAX: | | |
| ご使用のパソコンの機種名：<br>メモリー容量：<br>OSのバージョン：<br>その他接続している周辺機器名：<br>ご使用のアプリケーションソフト名：<br>ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名： | ハードディスクの空き容量：<br>ご使用のインターフェースカード名： | |
| 問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：<br>（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください） | | |


※このページはコピーしてお使いください。

## 製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

<ニコンカスタマーサポートセンター>

全国共通
☎0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS 等をご使用の場合は、**(03)5977-7033** におかけください。
**FAX** でのご相談は、**(03) 5977-7499** におかけください。


音声によるご案内に従い、ご利用窓口の番号を入力してください。お問い合わせ窓口の担当者がご質問にお答えいたします。

## 修理サービスのご案内

修理サービスのご案内を下記URLにて行っております。
インターネットを利用して修理サービスの申し込みができます。
「修理見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/service/repair/index.htm

<インターネットを利用できない方のお問合せ>


ニコンカメラ販売(株)　サービス部　電話　(045) 500–3050
営業時間　9:30～17:30　(土·日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを除く毎日)



株式会社ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Thailand
*6MBA8810-03*